東日本大震災復興支援

第70回国民体育大会

紀の国わかやま国体

バドミントン競技会

とどけよう スポーツの力を東北へ!



2015 紀の国わかやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

期日 平成２７年１０月２日（金）～ ５日（月）

場所 岩出市立市民総合体育館

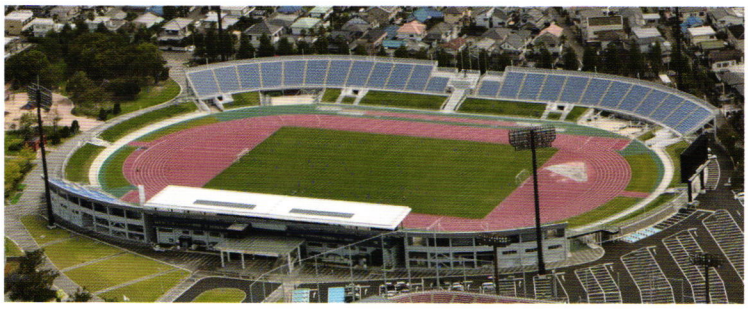
主催 公益財団法人日本体育協会・文部科学省・和歌山県
公益財団法人日本バドミントン協会・岩出市

日体協マーク

国民体育大会マーク

昭和２２年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第２回大会から使用されています。３０度右傾斜した赤色の火炎を直径の１０分の１幅の紺青色の円帯で囲んでいます。

総合開会式・総合閉会式会場



紀三井寺公園陸上競技場（和歌山市）

大会愛称・冠称

東日本大震災復興支援

2015 紀の国わかやま国体

「紀の国」は、万葉の時代より和歌山を表す言葉として使われ、今も県民に親しまれ、さまざまな場面で使用されている言葉です。
「紀の国」を付けた愛称が県民に親しまれるとともに、「紀の国」を全国に発信します。

スローガン

「躍動と歓喜、そして絆」

活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会に参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目指すことをイメージしています。

マスコット　「きいちゃん」



きいちゃん

紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。
体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Ｗと豊かな緑を表現。
生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと思っています。
頑張る人を応援し、紀の国わかやま国体を盛り上げていきます。



目　次

あいさつ	第 70 回国民体育大会会長　公益財団法人日本体育協会会長	張　　富士夫	1
あいさつ	文部科学大臣	下　村　博　文	2
あいさつ	公益財団法人日本バドミントン協会会長	綿　貫　民　輔	3
歓迎のことば	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会会長	仁　坂　吉　伸	4
歓迎のことば	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会岩出市実行委員会会長	中　芝　正　幸	5
歓迎のことば	和歌山県バドミントン協会会長	石　田　真　敏	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程…… 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程…… 8
大会役員…… 9
競技会役員…… 13
競技役員…… 15
競技補助員…… 18
競技会係員…… 19
競技会補助員…… 21
総則…… 22
第 70 回国民体育大会バドミントン競技会実施要項 …… 46
表彰式次第…… 49
表彰式会場図…… 50
競技日程…… 51
タイムテーブル…… 52
成年女子　組合せ表…… 53
少年男子　組合せ表…… 54
成年男子・少年女子　組合せ表…… 55
バドミントンを楽しく見るために…… 56
都道府県別参加人員一覧表…… 58
都道府県別出場監督・選手一覧…… 59
競技成績決定方法…… 66
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表…… 67
過去の成績一覧表…… 68
競技記録…… 90
競技会場・練習会場案内図…… 91
会場図…… 92
競技会場配置図…… 93
練習会場の使用について…… 96
練習会場使用日程表…… 97
練習会場概要図…… 98
競技上の注意…… 102
審判上の注意…… 104
昼食弁当の斡旋について…… 105
医療救護について…… 106
輸送について…… 107
関係機関連絡先一覧表…… 108
岩出市観光情報…… 109

あいさつ



第７０回国民体育大会会長
公益財団法人 日本体育協会
会 長 張 富士夫

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される奥深い歴史と文化を持ち、日本最大の半島として海と山の自然に囲まれたここ和歌山県において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、東日本大震災復興支援 第 70 回国民体育大会が開催されますことは、誠に意義深いことであります。

スポーツを通して広く国民に夢と希望を与え、明るく豊かな国づくりを目指しスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、わが国最大のスポーツの祭典として充実、発展を遂げてまいりました。

和歌山県においては、昭和 46 年の第 26 回夏・秋季大会以来、44 年ぶり２回目の開催にあたり、「紀の国わかやま国体」の愛称のもと、和歌山県ならではのまごころのこもった魅力ある国体を体現するため、県民の皆さまは大会の準備に万全を尽くされたものと存じます。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さまは、フェアプレー精神のもと日頃鍛えた力と技を存分に発揮されるとともに、和歌山県の皆さまとの出会いを大切に、交流の輪を広げ、実り多い大会となるよう切望いたします。

また、本大会に全国各地から参加された選手の皆さまの全力で競技に取り組む姿が、東日本大震災により被災された方々の力となることを、大会関係者とともに主催者の一員として強く願っております。

終わりに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただいた地元和歌山県をはじめ、関係の皆さま方のご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げ、ごあいさつといたします。

あいさつ



文部科学大臣　下　村　博　文

深き山、清き川、青く雄大な海など豊かな自然の魅力にあふれ、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など歴史と文化が息づくここ和歌山県において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、東日本大震災復興支援第 70 回国民体育大会「紀の国わかやま国体」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民に親しまれるとともに、今日に至るまで、スポーツの振興・発展に極めて重要な役割を果たしてまいりました。

和歌山県では 44 年ぶりの開催となる本大会は、「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、和歌山県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。「紀の国わかやま国体」が国民に夢と感動を与え、被災地の復興支援へとつながるすばらしい大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮されるとともに、この機会に全国の仲間や和歌山県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となることを期待しております。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで、５年を切りました。国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。大会の成功に向け、オールジャパン体制での取組に、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、「紀の国わかやま国体」の開催に当たり、県民総参加で諸準備に当たられた地元和歌山県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

あいさつ



公益財団法人日本バドミントン協会

会長　綿貫民輔

『躍動と歓喜、そして絆』のスローガンを合言葉のもと、全国から精鋭が集い、東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」バドミントン競技会が、岩出市におきまして開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであります、心からお祝い申し上げます。

ところで、今年は、スディルスカップ2015では日本チームは準優勝・銀メダルを獲得、シンガポールSS2015　男子シングルス桃田選手が優勝、女子ダブルスは高橋・松友選手が準優勝とバドミントン界はメディアを騒がせるようになり、全国のバドミントン愛好者に夢と希望、感動を与えてくれました。快挙を成し遂げることができたのは、選手はじめ関係者皆様方の弛まぬ努力と執念の賜物であります。日本チームの栄誉を称えるとともに、関係者こぞって喜びを分かち合える、ニュースが多くありました。

さて、国民体育大会においては、国内最大のスポーツイベントとして全国各都道府県代表として参加される選手並びに監督の皆様方には、熱い戦いが繰り広げられますが、多くの感激する場面は、世界トップクラス選手のプレーに変わるところなく共通するものと確信しています。日頃の厳しい練習で培われた高い技術力と精神力を存分に発揮し、誰の心に残るプレーをしてくださることを期待しております。

和歌山では、豊かで緑に恵まれた紀伊山地は、自然と一体であり、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されています。今回の国体は、世界遺産の一つである、高野山の宿坊で宿泊されるようですが、精神統一を図るため静寂のもとで、いい想い出を作れればと思います。

また、この岩出市の地において、お互いの交流を深め、友情の輪を広げていただき、合言葉のもと躍動と歓喜、そして絆を深めることを願っています。

結びに、第70回国民体育大会の開催にあたり、誠心誠意ご尽力いただきました、和歌山県及び岩出市並びに地元協会や関係各位の皆様方に心からお礼と感謝を申し上げ、あいさつといたします。



歓迎のことば



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
実行委員会会長

和歌山県知事　仁　坂　吉　伸

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から多くの選手及び役員の皆様をお迎えして、自然豊かなここ和歌山県において、東日本大震災復興支援　第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」を盛大に開催できますことは、この上ない喜びであり、和歌山県民を代表して心から歓迎申し上げます。

さて、本県において44年ぶり、二度目の開催となる今国体では、「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、「和歌山を元気にする国体」、「国体を契機としたスポーツの振興」、「活力に満ちたふるさとづくりに寄与する国体」、そしていつまでも心に残るまごころのこもったおもてなしや多種多様な地域資源で温かくお迎えする「和歌山の魅力を全国に発信する国体」という基本目標を掲げ、県民挙げて準備を進めてまいりました。

それぞれのふるさとを代表して参加される選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されますことを期待いたしますとともに、スポーツを通じた夢や感動が、東日本大震災からの復興に向けたエネルギーとなりますことを願っております。

また、この機会に、本県の豊かな自然、文化、歴史や本県が誇る海の幸、山の幸、果実などを御堪能いただき、和歌山での癒しや感動を心に刻んでいただければ幸いです。

終わりに、各都道府県選手団の皆様の御健闘、御活躍を心からお祈り申し上げますとともに、本大会の開催にあたり、多大な御支援と御協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
岩出市実行委員会会長

岩出市長　中芝正幸

東日本大震災復興支援第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」バドミントン競技会が、ここ岩出市において、全国から多くの選手・監督並びに大会関係者の皆様をお迎えし盛大に開催できますことは、誠に光栄であり、この上ない喜びでございます。岩出市民を代表し心から歓迎申し上げます。

昭和46年の第26回黒潮国体以来、44年ぶりとなる和歌山県での国体開催にあたり、「躍動と歓喜、そして絆」のスローガンの下、岩出市民一丸となり、全国からお越しになる皆様を「おもてなしの心」を持ってお出迎えできるよう準備を進めてまいりました。

ふるさとを代表される選手・監督の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい成績を収めていただけますよう期待しております。また、本大会を通じて選手団の皆様の中から、2020年東京オリンピックでご活躍される選手が、数多く輩出されることを大いに期待しております。

岩出市には、室町時代から安土桃山時代にかけて大きく発展し、学問の寺としても栄えた新義真言宗総本山根来寺があります。現存する木造建築では我が国において最大最古である国宝根来寺大塔をはじめ、国指定重要文化財や県指定文化財等、貴重な建物が立ち並び、近くには岩出市民俗資料館や県植物公園緑花センター等、文化や自然に触れていただける施設が数多くございます。この機会に是非お立ち寄りいただき、岩出市の歴史や自然にも触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり数多くのご支援とご尽力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、選手団の皆様のご健闘、ご活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



和歌山県バドミントン協会
会長　石田真敏

東日本大震災復興支援第 70 回国民体育大会（紀の国わかやま国体）バドミントン競技会がここ岩出市において盛大に開催されますことは、誠に喜ばしことであります。全国の厳しい戦いを勝ち抜き本大会に出場される選手並びに監督の皆様方に対しましては、心からの敬意を表わすとともに歓迎を申し上げます。

和歌山県においては昭和 46 年に第 26 回国民体育大会が開催されました。それゆえ、44 年ぶりに開催される本大会での熱戦には和歌山県民が大きな期待をしているところであります。

さて、選手並びに監督の皆様方におかれましては、日頃の厳しい練習で培われた心技体を競技において存分に発揮されますとともに、この「紀の国わかやま国体」の趣旨をくみ取っていただき、それぞれのふるさとの代表者として、出会いを大切に絆を深め合い、感動を分かち合っていただければ誠に幸いであります。

和歌山県では、豊かで緑に恵まれた紀伊山地の神秘的な自然と一体となり、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されています。今回の国体は、活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会の参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目視することをイメージして『躍動と歓喜、そして絆』のスローガンを合言葉のもと、私たちのふるさと和歌山で皆様が出会い絆を深めることを願っています。

また、ここ岩出市は歴史と自然にあふれながら和歌山県の北部に位置し交通の便もよく、この機会に～緑豊かで歴史文化かおるいわで～に接していただければ幸いです。

結びに、選手の皆様方のご健闘と本大会の成功を心より祈念申し上げますとともに、大会開催に関してご支援ご協力を賜りました公益財団法人日本バドミントン協会、和歌山県、岩出市の関係機関、そして役員、補助員などの関係者の皆様方に心よりの敬意と感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程



天 皇 杯　　皇 后 杯

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改訂
昭和 48 年７月 10 日一部改訂
昭和 54 年５月９日一部改訂
平成 17 年６月 16 日一部改訂
平成 22 年３月 17 日一部改訂

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。

国民体育大会会長トロフィー授与規程



大会会長トロフィー

第１条　　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は、昭和41年４月１日制定
昭和45年１月22日一部改訂
昭和48年７月10日一部改訂
昭和54年５月９日一部改訂
平成17年６月16日一部改訂
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年４月１日）から施行する。



大会役員

平成27年8月13日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	下村 博文			
会長	張 富士夫			
副会長	岡本 毅	監物 永三	岡崎 助一	泉 正文
	髙橋 道和	仁坂 吉伸		
顧問	森 喜朗	安西 孝之	猪谷 千春	帖佐 寛章
	日比野 弘	大野 敬三	有竹 隆佐	市村 仁
	宇津木 妙子	梅野 哲雄	片野 裕	勝田 隆
	葛目 憲昭	坂本 和彦	坂本 祐之輔	佐久間 重光
	竹田 恆和	樋口 久子	平田 竹男	不老 浩二
	松井 守	山下 郁夫	中村 正彦	村田 芳子
	青木 剛	松崎 康弘	谷 雅雄	木村 新
	中村 康夫	山根 明	二木 英徳	吉田 長寿
	堀内 光一郎	藤沢 信雄	鈴木 修	岡本 実
	市原 則之	大島 研一	笠井 達夫	前原 正浩
	宗像 豊巳	田中 英壽	春田 恭彦	井原 健三
	山下 泰裕	髙橋 清生	今井 茂満	石川 武夫
	田村 恒彦	福本 修二	浪越 信夫	真下 昇
	尾形 好雄	山口 徹正	宮﨑 利帳	栗原 茂夫
	建部 彰弘	片山 幸太郎	本戸 歳知	中村 ゆり子
	齋藤 良太郎	荒井 久也	野端 啓夫	早坂 義弘
	井上 弘	遠藤 容弘	岡﨑 温	永田 圭司
	浪岡 正行	宮本 英尚	村越 真	園山 和夫
	山倉 和彦	衣笠 剛	知念 かおる	伊部 廣明
	田邊 哲人	京極 努	中村 節夫	霜觸 寛
	田澤 俊明	佐藤 博俊	鈴木 斌次郎	小川 潔
	遠藤 均	堀口 卓司郎	小林 一巳	野本 彰一
	青木 寛	並木 一夫	高橋 悟	岩波 輝明
	阿部 徹	丸山 隆義	横嶋 信生	向田 和義
	宮塚 和彦	加藤 訓義	村木 啓作	東地 隆司
	中嶋 良立	山本 誠三	桂 千惠子	濱田 浩嗣
	福井 基雄	油野 利博	下岡 博司	梶川 政文
	久保田 文也	太田 光宣	原田 俊	分木 秀樹

濱田　征男　森下　博輝　東島　敏隆　荒木　健治
平田　浩一　蓑田　智通　川﨑　重雄　髙城　国昭
喜納　武信　山田　登志夫　菊山　直幸　黒川　光隆
高橋　眞琴　小野　力　森　正博　河野　一郎
森　保彦　久保　博　日枝　久　寺澤　正孝
佐藤　広　金子　正子　藤井　基之　丹羽　秀樹
赤池　誠章　山本　ともひろ　土屋　定之　前川　喜平
戸谷　一夫　藤原　誠　二階　俊博　石田　真敏
岸本　周平　門　博文　世耕　弘成　鶴保　庸介
前芝　雅嗣　宮下　和己　片山　博臣　田岡　実千年
小出　隆道　尾﨑　方哉　赤阪　岩男　大桑　堉嗣
横川　浩　鈴木　大地　大仁　邦彌　鈴木　洋一
畔柳　信雄　大久保　尚武　横田　努　木村　憲治
川淵　三郎　橋本　聖子　福田　富昭　河野　博文
小池　百合子　渡邊　佳英　表　孟宏　藤重　貞慶
木下　宗昭　松尾　新吾　千　玄室　星野　正史
宗岡　正二　徳田　寛　綿貫　民輔　柴田　猛
坂本　剛二　岡村　正　八木原　圀明　福田　康夫
島田　晴男　笹川　堯　酒井　健　高橋　義博
佐藤　浩市　武部　勤　竹田　恒正　岩城　光英
秋山　肇　小野　清子　杉山　重利　奥島　孝康
堀　達也　蝦名　武　達増　拓也　小笠原　直樹
吉村　美栄子　須佐　喜夫　角田　芳夫　福田　富一
児玉　三郎　上田　清司　森田　健作　山本　博
鴻　義久　馬場　潤一郎　石井　隆一　谷本　正憲
西川　一誠　横内　正明　阿部　守一　小野木　孝二
斉藤　斗志二　大村　秀章　竹林　武一　河本　英典
武田　暹　牧野　明次　井戸　敏三　荒井　正吾
溝口　善兵衛　越宗　孝昌　加藤　義明　村岡　嗣政
飯泉　嘉門　多田野　榮　大亀　孝裕　西山　昌男
小川　洋　山口　祥義　中村　法道　甲斐　隆博
広瀬　勝貞　佐藤　勇夫　伊藤　祐一郎　翁長　雄志

参　　与　白間　竜一郎　永山　裕二　森岡　裕策　日向　信和
藤山　将材　中　拓哉　岩井　弘次　多田　純一
奥村　規子　長坂　隆司　宇治田　栄蔵　尾﨑　太郎

	片桐　章浩	新島　雄	井出　益弘	菅原　博之
	山下　直也	森　礼子	藤本　眞利子	浦口　高典
	尾崎　要二	雑賀　光夫	岩田　弘彦	中西　峰雄
	中本　浩精	浅井　修一郎	中村　裕一	泉　正徳
	鈴木　太雄	谷口　和樹	濱口　太史	岸本　健
	山田　正彦	服部　一	川畑　哲哉	山本　茂博
	堀　龍雄	吉井　和視	松坂　英樹	坂本　登
	花田　健吉	冨安　民浩	秋月　史成	立谷　誠一
	谷　洋一	下　宏	山本　哲	竹山　早穂
	佐藤　律子	野田　弘晃	野村　富や	岩橋　良晃
	宮﨑　泉	中野　光雄	和歌　哲也	市川　靖之
	高瀬　一郎	栗山　隆博	幸前　裕之	藤本　陽司
	鎌塚　拓夫	野尻　邦彦	江川　和明	岩城　徹
	中川　伸児	田中　伸明	岡本　圭剛	室谷　匡利
	古田　雅昭	石塚　和夫	岡本　敏秀	榎本　善行
	土井　敏弘	直江　利克	尾花　正啓	岡野　充伸
	楠　義隆	田村　光穂	吉田　武弘	宇恵　元昭
	原　一起	橋戸　常年	山口　裕市	谷本　忠信
	宮本　昌昭	宮本　和幸	川口　則光	筋師　光博
	中村　典弘	藤本　禎男	髙垣　正儀	三反田　和人
	藤田　清司	井上　慎治	川村　昌彦	田畑　孝芳
	森田　敏行	妙中　清剛	竹田　純久	松岡　靖之
	小山　哲生	坂口　邦嗣	寺下　浩彰	中谷　譲二
	稲葉　眞也	成川　守彦	堰本　信子	中西　重裕
	神前　美津男	南　正晃	中嶋　淳行	桑原　一良
	村上　恒夫	野見　典展	下川　俊樹	島　正博
委員長	原　博実			
副委員長	河内　由博	先﨑　卓歩	田中　聡明	平山　直子
	若宮　茂樹			
総務委員	荒川　昇	林　辰男	西田　晴之	金沢　敬
	岩田　史昭	飯坂　尚登	石川　惠一朗	稲垣　公雄
	川原　貴	菊　幸一	坂井　利郎	三戸　一嘉
	柴田　益孝	菅原　哲朗	鈴木　浩二	友永　義治
	萩原　美樹子	松丸　喜一郎	山口　香	山本　浩
	ﾖｰｺ ｾﾞｯﾀｰﾗﾝﾄﾞ	塩澤　好和	日吉　康文	志場　紀之

委員	岩間　隆	川口　仁志	秋和　政一	土居　忠博
	藤原　惠	赤岡　重人	国久　敏弘	丹羽　治夫
	大嶋　康弘	髙橋　聖一	植田　昌利	野﨑　拓哉
	山本　伊知郎	千野　雅人	樋山　茂	小泉　芳孝
	佐久間　裕司	野村　俊郎	入澤　孝一	末柄　勝
	末木　創造	篠宮　稔	江成　元伸	松倉　信裕
	柳下　秋久	井関　律人	小松　勝彦	藤熊　昇
	伊藤　一人	松井　勲	三宅　豊	能登　則男
	中野　秀也	奥島　快男	磯村　幸二	西原　斗司男
	溝井　利和	日下　修次	木野内　毅	衛藤　敬輔
	中段　亜由美	佐藤　直亮	関根　宏一	竹中　雅彦
	東　敏昭	佐々木　健治	東野　眞理子	吉田　優子
	佐野　俊輔	佐藤　慎也	小泉　律紗	清廣　哲之
	猪村　篤	平野　博紀	川井　寿裕	日比野　幹生
	猪股　康博	片山　達也	中村　徹平	成瀬　幸宏
	田﨑　英典	奥田　敬	中村　陽介	伊藤　朱子
	市川　清治	日名子　裕康	薄葉　拓樹	下平　幸男
	﨑山　健司	岡田　明彦	粒來　幸次	稲葉　信
	田村　公一	田上　卓慶	星　香里	岡﨑　秀紀
	柴田　千尋	安田　正司	八木　浩之	松本　文弘
	佐々木　信一	齋藤　和哉	武田　浩一	直江　克也
	藪原　博	古垣　玲	山﨑　成夫	内藤　典子
	浦邊　哲	池嶋　聖也	老月　守	森山　喜博
	吉野　和雄	中澤　正徳	小野沢　弘夫	林　泰章
	古田　憲司	福永　秀樹	霊池　恵量	川原　三男
	村木　輝行	中井　敏勝	徳廣　剛	角井　弘之
	植山　勝秀	八木　康文	吉本　知之	村上　健
	小西　慎太郎	後藤　裕明	堀江　隆典	有澤　寛
	石井　孝典	石井　道代	藤村　正己	松崎　徹郎
	渡辺　浩三	近藤　正典	寺崎　雅巳	原　恒久
	宮下　守生	古木　克浩	鹿倉　貢	瑞慶覧　康博
	浅川　伸			



競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	岩出市長	中芝　正幸
会長	公益財団法人日本バドミントン協会会長	綿貫　民輔
副会長	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	福田　達夫
	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	籾井　勝人
	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	関根　義雄
	和歌山県バドミントン協会会長	石田　真敏
	紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会岩出市実行委員会事務局長	湯川　佳彦

顧問	森　喜朗	関谷　勝嗣	森田　一	林　芳正
	橋本　角市	権田　正一	原　二三雄	清水　規矩雄
	平田　登志郎	青木　昭二	毛利　清志	福田　武
	内多　小五郎	小宮　淳宏	吹田　修一	牧野　武
	村山　幸雄	濵中　誠	福岡　幸一	岡本　武利
	本郷　節生	三宅　祐司	野村　嘉明	里見　光徳
	山根　怜	佐藤　芳朗	竹林　克彦	油井　秀男
	木村　寛	遠井　稔男	岡村　英男	川島　一郎
	板垣　隆房	星野　忠男	藤本　滋	加藤　寛治
	原　紀征	鈴木　勝之	中山　紀子	藤原　航
	真壁　幹雄	野村　安忠	栗原　進	中村　弘
	鈴木　勇治	斉藤　永吉	鈴木　隆一	永井　祥一
	手塚　克彦	別井　晃	日野　昇	磯井　貞夫
	有瀬　浩一	千葉　健夫	羽隅　弘治	保坂　和也
	宮川　忠和	平林　良治	嵯峨　元	中嶋　光司
	石川　博義	末岡　熙章	金森　正	杉山　忠国
	澤　長壽	田中　田鶴子	大前　繁雄	加藤　博司
	成相　安信	岡﨑　彬	田村　興造	松浦　稔明
	西野　昌明	中村　時広	西森　潮三	浦山　茂
	中尾　昌由	里脇　清隆	坂本　康尚	近藤　稔
	相澤　潔	池田　徹	金城　芳雄	井神　慶久
	中村　嵩			
参与	築地　孝彦	三井　裕	神戸　照	木戸　純一
	濵中　勉	津田　充啓	荒尾　寔	宇治田　文彦
	北畑　達哉	下川　俊樹	福山　晴美	平松　正昭
	宮本　要代	玉田　隆紀	梅田　哲也	田中　宏幸
	西野　豊	山本　重信	三栖　慎太郎	松下　元
	田畑　昭二	吉本　勧曜	上野　耕志	市來　利恵
	増田　浩二	尾和　弘一	村中　隆子	佐谷　妙子
	北村　須美子	西口　政雄	中畑　仁志	中井　一善
	佐伯　繁樹	杉原　啓二	船戸　直哉	中西　嘉則
	秦野　吉弘	井神　吉英	田林　由加	梅田　卓
	高岸　隆行	宮本　和幸	西田　一善	鶴保　庸介

	上野　富治	堀田　泰伯	西岡　正好	矢田　民也
	松尾　哲也	田原　博	藤川　知良	上田　榮子
委員長	公益財団法人日本バドミントン協会専務理事			銭谷　欽治
副委員長	公益財団法人日本バドミントン協会総務本部本部長			佐竹　養一
	和歌山県バドミントン協会理事長			岩西　壯行
	岩出市バドミントン協会会長			寺田　信一
委員	今井　茂満	上松　芳則	小野　理	河崎　正紀
	坂上　昭	芝　スミ子	高橋　英夫	田部井　秀郎
	民谷　千寿子	能登　則男	村元　英美	森田　昇
	山薗　栄	山田　順一郎	宮崎　弘志	武藤　隆志
	武野　宗睦	鳥羽　孝幸	佐々木　朝幸	有木　伸治
	新井　正明	山本　慎二	田村　昭男	早　香代
	西山　一	大谷　哲司	小田　令子	寺村　博之
	三根　教生	堀谷　敏夫	坂田　智也	山田　和将
	北原　茂	木村　恵里	東　嘉紀	奥田　健太
	朝稲　拓也	山東　祐也	森田　昌代	杉本　猛
	土岐　宜子	岩西　俊幸	岡野　宰	高原　敏夫
	澤田　寛			
	公益財団法人　日本アンチ・ドーピング機構　検査員			



競技役員

（順不同・敬称略）

競技役員長	濵中　勉				
総務部長	岩西壯行				
競技審判部長	北原　茂				
総合成績計算委員長	能登則男				
総合成績計算委員	新井正明	東　嘉紀			
総務副部長	佐竹養一	武藤隆志	早　香代		
総務主任	鳥羽孝幸				
総務副主任	木村千治	木下加世			
総務委員	宮本正子	長田昌美	清水千香子	高木早紀子	
	有田恭子	高原敏夫	大津厚志	武村裕子	
	津名田枝子	島本知世	川西千代子	鳴神記代子	
	北畑友美子	雛子芙美代	小谷研悟	汐田裕輝	
	太田　智				
	大西結衣	林　久美	和田好晃	白波瀬信明	
	山本美和	中嶋誠子	山本節子	駒谷一恵	
	西尾智子	伊都求美	松山さやか	東　篤嗣	
	堂脇邦博	山口隆也			
競技審判副部長	山田和将	木村恵里			
競技主任	宮本義友				
競技副主任	澤田　寛				
競技委員	西　浩司	櫻井伸二	浜口佑紀央	浜口由紀	
進行主任	新井正明				
進行副主任	朝稲拓弥				
進行委員	東　嘉紀				
記録主任	東　嘉紀				
記録副主任	出口達也				
記録委員	新井正明				
放送主任	清野麻美				
放送委員	田中瑞穂	瓜田優香	十倉朱美		
シャトル主任	寺田信一				
シャトル委員	神崎治子	福田好子	木下由子	鳥井聡子	
	柏田英里	北東郁代	仲川紗季	出口智美	
招集主任	佐々木朝幸				
招集副主任	土岐宜子				
招集委員	友渕貴俊	小林玲子	山﨑友美子		
	池田真奈美				

点示主任	熊谷正弘			
点示委員	志波須美子	榎本千恵美	森山明日香	
報道主任	武藤隆志			
会場主任	鳥羽孝幸			
コート委員副主任	坂野雅人	浦田葵		
コート委員	田伏洋文	野田勇人	白水彰良	大堀弘之
	竹林正純			
練習会場主任	岩西壯行			
練習会場委員	澤田喜代美	森山明日香	小藪誠	武野千里
	小林由利枝	平岡範子	大村法由	中井徹
	谷口好広	西尾学		
得点表示主任	西起也			
得点表示委員	奥山寛文			
審判主任	木村恵里			
審判副主任	早香代	森田昌代		
審判員	阿部剛	小野寺政博	義江浩一郎	慶野誠
	多田達矢	高橋さゆり	鍋島弘之	山崎雅典
	濱田孝二	菊池卓磨		
	西川浩	上田昇	川上成彦	広瀬統
	宮崎千晶	木村藤子	宮本眞代	今井修
	菅森岳弥	福島邦夫	須田祥充	伊藤義次
	山本剛	天野治	大西富美昭	松村一三
	百野郁子	梅咲晴代	米倉恵里	生賀智恵子
	渡辺明美	大和高成	森豊幸	早川悦宏
	玉久保政巳	小林幹男	齊藤篤司	
	宮田幸司	三本杉国親	岩崎重男	鹿毛巖
	尾田理恵	佐伯綾子		
	武野宗睦	茶谷由紀子	寒川佐和子	水野智子
	前田敦子	福谷裕介	林堂哲也	甲斐義樹

線審主任	木村恵里			
線審副主任	早香代	森田昌代		
線審員	佐竹睦美	岡本美晴	伊藤栄美	山東真以
	今井智栄子	石田睦子	荒尾真理子	加藤麻紀
	西川理恵	友渕ひとみ	辻岡恵子	岩崎祥子
	松本亜紀	中村亜由美	山田泰子	西畑七絵
	乾智奈美	久保昌美	木村喜代美	川口有里
	畑めぐみ	瀬戸口美保子	国本亜希代	山角聖美
	山本智世	大谷千秋	嘉賀幸子	中川紀与子
	畑野由香	三原佳代	岩田寛子	
	岩崎真人	西本和彦	中里京子	藤野佐和子
	杉本猛	田村昭男	宮城由美子	宮城日菜子
	栗山朋子	田上一晃	田上香留	松原由幸
	山裾伸浩	松島洋介	大谷哲司	平野真敏
	山田朋広	濱口博司	和田優	徳岡昭次
	川端安夫	木村彰克	古川晃	松本和弘
	杉山陽子	下澤なつみ	稲葉朋武	浅利亜弥
	米田松元	中野俊宏		
	尾方裕樹	仮家誠	井上浩伸	山東俊介
	山東祐也	中村寛	茶谷彩有	玉井沙也加
	福岡祥平	竹田光洋	松山伸一	小坂雄史
	土岐宗資	小松恒郎	辻温子	



競技補助員

（順不同・敬称略）

和歌山県立那賀高等学校

岩本裕哉	櫻井康成	古垣好規	角直弥
岡知希	田中雄大	西岡和哉	中村日香
才力可奈子	松野花凜	小林由季	池尾美流
田中泰生	大橋由典	野田和希	北葉月
杉山陽香	内匠穂華	玉井丹梨	山本莉子
平野有沙	前七菜子	細野奈央	吉村たかね
坂本遥	長田淑花	中村つぐみ	

和歌山県立粉河高等学校

下垣内皓紀	山内勇貴	下田大雅	西川侃司
野見山康太	山中一真	木村颯汰	仲岡蒼馬
前田大斗	山本優樹	岩村直哉	武野一雌
宮本翔央	伊藤真子	田邑佳奈	岡未来
上田瑠里子	長田弥侑	表留花	前田陸
岩橋拓海	中井遼星	横山大響	垣内郁人
草田拓海	松浦大樹	青地優月	石井七星
岡久欄	奥康介	小幡玲朋	本田涼将
蟹井美樹	上床竜斗	紺田直哉	助口瑞樹
國友真琴	能木萌		

和歌山県立星林高等学校

下出貴哉	田中志勇	岩井千奈	木村光里
山田優花奈	長谷有記	廣野圭太	前田真吾
村田裕美	松岡巧真	川上藍大	福井理沙
石黒大雅	河嶋哲史	大南茜	伊東和也
濱田みゆ	川上翔太郎	北條七彩	廣井聖也
安田颯	岩崎晏弓	岩森要太	川端亨典
三宅柊那	脇村祐士朗	池田有沙	細川奈央
井上翔太	田之上勇輝	川上由羽	田津原世帆
永春杏里咲	藤井笑佳	内藤龍人	榎本圭佑
前川智紀	福島星渚	福山実咲	松本郁平

和歌山県立貴志川高等学校

小西拓実	川端大次郎	濱野靖人	大浦聖
梅本誠大	角奎哉	東久保航	前亮平
橋本和都	坂田拳梧	岡山寛輝	福本環
加藤一斗	土橋史暉	井端竜希	神﨑大輔
坂本美波	山田紗也華	渡辺佳香	幅美沙希

競技会係員

（順不同・敬称略）

【岩出市実施本部】

本部長	中畑仁志				
副本部長	平松正昭				
競技会場部長	秦野吉弘	船戸直哉	上野史士	田村善英	
（総務班）					
総務班長／総務係長	小倉一彦	井神吉英	藤平光夫		
総務係	時本忠尚	二出川隆子	森一世	岩田巡矢	
	瀧本桂士	山本貴史	細川秀成		
総合案内係長	西上貴憲	福原茂美	畑村江里		
総合案内係	岡野江身	高岡志帆	二本柳快樹	溝端由鼓	
受付案内係長	坂口誠一	中井典枝	前坂千景		
受付案内係	明渡正記	西口征秀	佐谷唯		
おもてなし係長	今井雅人	福山吉伸	山﨑慎吾	神田正剛	
おもてなし係	梅田英世	金川明史	行平登美一	西岡秀記	
	木村富美	増渕良貴	大野泰伸	宮本明典	
	田中大資	髙砂有以	北野美有	前田祐里	
	山野井祐介	中村紳之助			
環境美化係長	寺西英司	吉田賢次	牧野平任	西口朗弘	
環境美化係	川端淳平	谷口菜緒子	川﨑真由美		
（競技会支援班）					
競技会支援班長/消防警備係長	福田輝章	西美代	赤井康正		
消防警備係	佐古依華	坊木祐美	吉村陽		
医療救護係長	井辺健浩	辻茂紀	若林道子		
医療救護係	長倉喜佐子	田村紀子	塩中和歌子	古谷奏	
	長岡祐希	小倉千拡			
輸送駐車場係長	田邑隆則	溝川隆広	田原清一		
輸送駐車場係	岩見聖治	田村豊幸	阪口修次	渕田義美	
	居谷進	吉村宗紀	藤井正治	藤井隆司	
	喜多崇	坂本整哉	藤田茂和	中島章仁	
	竹内良典	小倉正裕	清滝健司	荒木直哉	
	岩村明哉	大森慎二	田村晃伸	大浦伸明	
	東山剛士	藤本崇志	中井一人	奥野祐良	
	塚本賢司				
（競技式典班）					
競技式典班長/競技会場係長	柏木香三	辻正	中井斎		
競技会場係	湯葉美奈子	味村満	窪田雅秀	福田諭	
	吉末博行	本多元成	五島隆成	出嶋麻紀子	
	時本さや子	佐谷祐二	谷口聖		
式典係長	赤田宜子	中村和美			
式典係	宮本紘子	灰野麻美亜	中埜礼奈		
練習会場係長	広岡範之	大島成樹	髙橋よしみ		
練習会場係	目崎暢也	廣田浩司	宮川尚仁	雜賀泰行	
	山本直輝	西山慶	溝端計太	清水唯文	
	角田政之				

記録速報係長	福岡伸子	安村匡弘	井谷拓三	上野大輔
記録速報係	田中駿作	髙居直人	上村和則	藤岡祥平

事務局長	湯川佳彦			
事務局	髙井克訓	幡井淳人	正木覚	西浦有美
	宮本泰宏	上野博司	堀内邦彦	堀田知穂
	古田鷹也	嶋本真幸	岩橋耕補	大塚聖哉
	永岡勇輝	池浦寿雄	安居良高	岡田展子



競技会補助員

（順不同・敬称略）

松﨑　美子　小西　睦子　種村　秀子　野口　信行　中村　亀久生
原田　政敏　福山　晴美　矢野　史子　山下　久美子　孝口　紗梨
孝口　瑛香　小川　昌子　家原　みや子　高木　裕紀子　福井　奈央子
村中　広恵　上野山　具仁子　森　恵　坂本　美和　野田　静香
宮本　萌衣　福田　光浩　山之上　信子　西村　憲男　松本　歩
小林　和子　久嶋　徹　畑　常雄　岡﨑　日登美　芝﨑　茂夫
里西　晴子　明渡　眞幸　新嵜　美鈴　山本　茂　味村　万喜子
小倉　満夫　石橋　三郎　村中　悦二　後藤　弘　中井　美登利
上森　ひふみ　上森　真智子　峯岡　吉子　田中　典子　河野　マサ子
南　佳世　澤田　早苗　楠木　真寿美　上地　理子　新名　実津代
岡　美千代　山東　正子　八幡　アヤ子　林　季予子　西岡　洋子
林　文子　宮本　房子　向井　佳代　城山　郁栄　口井　紀子
小山　明美　岩西　禮子　山本　千代子　舟戸　ノリ子　榎本　澄子
橋本　トシミ　小倉　しのぶ　岩田　敏子　髙橋　有子　鍛治　昭子
田野　憲子　田中　かな子　中惠　史代　丸木　洋子　木村　千外世
西林　雅子　福山　サト子　大塚　陽子　塩中　光子　梶本　洋子
三栖　美智子　大南　つや子　岡澤　文子　中林　潤子　大上　和美
渡邉　和子　大谷　聖子　田中　美智子　阪下　節子　若林　和子
福田　史子　楠﨑　勢津子　宮本　薫　藤井　幸子　新谷　清子
大谷　昭子　野口　真起子　藤井　清美　森澤　美保　大谷　仁美
中井　智子　吉森　冨美子　宮本　美枝子　勝谷　美枝　亀田　陽子
松尾　恵似子　金谷　多佳子　長島　千畝　岩田　和己　味村　文江
松江　雅子　増田　啓子　山本　重信　山本　孝子　宮本　水江
丸山　秀美　名津井　忠士　枝長　紀美子　大山　千津子　川﨑　禮子
津越　喜代美　中谷　侃司　西口　記生　藤原　和代　中岡　寛子
辻内　曙　上野　満智子　吉倉　髙重　石田　洋子　野尻　幸世
久保　憲己　渡部　節子　時松　順子　村山　久子　宮井　靖輝
吉村　里美　首藤　るり子　小崎　育子　井田　菊江　中　裕子
楠部　のぶ子　金岡　季久代　藤井　隆代　磯田　弘志　小池　幸光
梅田　尚美　中林　和子　河井　幸子　福元　ふみ子　尾﨑　孝子
﨑山　礼子　岩中　ミサ子　丸山　薗子　田村　広子　前田　純子
竹友　美代子　湯浅　正　湯浅　美代　瀬古　りんか　和田　彩花
溝口　凪沙　佐々木　和惠　金澤　正浩　山脇　幸弘　溝端　大二
中野　紗希　三品　壮太　平山　克典　梅田　耕平　日野　里佳子
西中　美保子　松田　征樹　勝丸　水澄　森　眞理子　川﨑　修
山根　玲奈　田中　あすか　小川　莉紗　深尾　祐有奈　中筋　恵莉子
河本　かおり　北野　久美子　井邊　和美　安居　佐知子　杉谷　裕子
柏木　秀子　東　敏子　井口　義子　石川　ゆみ子　石倉　加奈
大﨑　小百合　木村　晴美　熊谷　宜子　堂上　すみ子　西田　紀代子
西山　千鶴子　橋本　和子　藤井　貴子　前田　安子　牧野　美佐代
南　長子　湯峯　正子



総　則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするスポーツの祭典である。

和歌山県で開催する第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」は、県民が夢と感動を共有し、交流の輪を広げる「和歌山を元気にする国体」、スポーツ王国・和歌山を復活させる「国体を契機としたスポーツの振興」、心豊かでたくましい人づくりをはじめとした地域おこしを推進する「活力に満ちたふるさとづくりに寄与する国体」、いつまでも心に残るまごころのこもったおもてなしや多種多様な地域資源で温かくお迎えする「和歌山の魅力を全国に発信する国体」という４つの基本目標を掲げ、県民が一丸となって「躍動と歓喜、そして絆」が実感できる大会を開催する。

実施方針

1　実施競技

正式競技	特別競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球

2　会期及び会場地

会期	会場地	会場地数
平成27年9月26日（土） ～10月6日（火） 〔11日間〕	和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、日高町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、北山村、串本町、滋賀県大津市、兵庫県三木市、神奈川県伊勢原市	12市12町1村
※バスケットボール競技会 下記日程で実施 平成27年9月22日（火） ～26日（土）〔5日間〕	和歌山市、海南市	2市
※水泳・体操・セーリング競技会 下記日程内で実施 平成27年9月6日（日） ～13日（日）〔8日間〕	和歌山市、大阪府門真市	2市

3　競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 70 回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本体育協会ホームページ　http://www.japan-sports.or.jp/　】

(1)　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「８　参加申込方法」で定めた参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学３年生）に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育（スポーツ）協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第 68 回又は第 69 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 68 回又は第 69 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］a及びbは当該要件発生後、初めて参加する者に限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(イ)　少年種別

a　「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］aからcは当該要件発生後、初めて参加する者に限る。

d　JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア)　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ)　健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ウ)　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク　上記のほか、監督については公益財団法人日本体育協会（以下「日本体育協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

なお、第70回大会における特例として、平成27年10月1日付の登録手続きを行う者（平成27年10月1日付認定予定者）の取り扱いについては、各競技において別に定める。（34頁「第70回国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格の義務付けに係る取り扱いについて」参照）

(2)　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ア)　居住地を示す現住所

(イ)　勤務地

(ウ)　ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ｳ)　勤務地

(ｴ)　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、平成 27 年４月 30 日以前から本大会終了時（平成 27 年 10 月６日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　一家転住に係る者

b　別記４「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3)　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、平成９年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は、平成９年４月２日から平成 12 年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成 27 年４月１日を基準とする。

イ　日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（平成 12 年４月２日から平成 13 年４月１日までに生まれた者）とする。

(4)　前記の各事項に疑義のあるときは、日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1)　成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第３項〔国民体育大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

(2)　「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

(3)　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。

(4)　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。

なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

(5)　「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(6)　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

(7)　参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本体育協会宛に提出する。

別記２【「一家転住等」に伴う特例措置】

転校への特例

１　以下の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③）（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(1)　この特例の対象は、少年種別年齢域への参加者に限る。

(2)　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

(3)　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２(1)の場合は転居元、下記２(2)の場合は転居先が属する都道府県体育（スポーツ）協会（以下「都道府県体育協会」という。）及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記２(1)の場合は転居先、下記２(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

(1)　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

(2)　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、次の(1)に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第３項〔国民体育大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

(1)　対象者

ア　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

イ　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2)　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3)　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4)　国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］(1)イに定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記４【トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

(1)　第 30 回オリンピック競技大会（2012 年・ロンドン）に参加した者

(2)　平成 27 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC アスリートプログラム強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2　特例の内容

(1)　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2)　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　平成 27 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 27 年 10 月 6 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

a　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

b　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

c　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

d　当該住居に主要な家財道具が存すること

(ｲ)　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　平成 27 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 27 年 10 月 6 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(ｲ)　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③のとおりとする。

別記５【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

1　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2　特例の内容

(1)　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 平成 23 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 災害が発生しなかったと仮定した場合、平成 27 年 4 月 30 日以前から各競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 68 回及び第 69 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 平成 23 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成 27 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本体育協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 70 回大会に参加した者が、第 71 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3)　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

①　卒業中学校または卒業高等学校の所在地

②　災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

平成23年度～平成24年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

6　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1)　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	――――	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2)　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3)　参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表　　彰

(1)　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2)　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3)　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4)　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5)　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8　参加申込方法

(1)　都道府県の体育協会会長（代表者）及び各競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2)　参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

(3)　参加申込締切日

締　切　日	競　　技
①平成 27 年 8 月 20 日(木)	水泳、ボート、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ
②平成 27 年 9 月 2 日(水)	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、高等学校野球

(4)　参加申込様式は、日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5)　参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次のア～ウ宛に所定の様式にて届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局

ウ　紀の国わかやま国体各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

(1)　本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	1,500 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2,000 円

(2)　大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

平成 27 年 9 月 2 日（水）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本体育協会

11　宿泊申込

大会参加者は、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成及び視察員

(1)　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

(2)　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

(3)　上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日体協公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4)　上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、アスレティックトレーナーを帯同できる。なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日体協公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5)　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(6)　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、平成 28 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、岩手県 100 名以内、愛媛県及び福井県 60 名以内、茨城県及び鹿児島県 40 名以内とする。

(7)　都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、平成 27 年 9 月 2 日（水）までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

13　大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1)　大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2)　大会参加記念章

公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者

※　公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。

(3)　視察員章

視察員

14　参加上の注意

(1)　大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。

(2)　各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

(3)　各都道府県の代表選手は、大会期間中の競技中を除き、常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。

15　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本体育協会、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会、紀の国わかやま国体各競技会場地市町村実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1)　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載

(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載

(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(ｲ)　国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ｳ)　国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2)　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

(3)　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

16　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1)　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2)　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3)　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。なお、参加は１人１競技に限る。

(4)　ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5)　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6)　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、和歌山県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

17 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む)、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本体育協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については別途日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

18 文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、「文化プログラム実施基準」に基づくものとする。

平成 27 年 3 月 12 日現在

文化プログラム	会 場 地
和歌山城天守閣　常設展	和歌山市
茶室「紅松庵」でお抹茶体験	
名勝西之丸庭園(紅葉渓庭園) 及び御橋廊下見学	
和歌山公園動物園	
わかやまスポーツ伝承館　常設展	
第 36 回市民文化まつり	
和歌山市立こども科学館	
和歌山公園桜まつり	
県立博物館　企画展「みほとけのすがた」	
県立近代美術館　企画展「リアルのリアルのリアルの」	
紀伊風土記の丘　春期企画展「紀の川の青い石」	
県立近代美術館　コレクション展 2015-春「版画」の明治	
「花百彩」キャンペーン	
ピティナ　室内楽コンサート	
古文書から探れ！地域のみぢかな歴史	
県立博物館　特別展　「高野山開創と丹生都比売神社」(仮題)	
子どもなかよしまつり・音楽大行進	
県立図書館　室内楽定期演奏会 vol.9 田村響　ピアノ・リサイタル	
第 10 回わかやまマジカルミュージックツアー	
第 53 回和歌山県美術家協会展 和歌山展	
HOMIES 5th Anniversary	
和歌浦漁港朝市「おっとっと広場」	

文化プログラム	会場地
さだまさしコンサートツアー2015	和歌山市
県立近代美術館　企画展保田春彦・龍門「2人の軌跡展」(仮称)	
第71回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山	
県立近代美術館　コレクション展2015-夏「くりかえしの美」	
県立博物館　企画展「きのくに・漢詩の世界」(仮題)	
平成27年度歌舞伎鑑賞入門公演	
県立図書館　室内楽定期演奏会 vol.10 CALEFAX　リード・クインテット　コンサート	
和歌山市美術展覧会	
第5回関西元気文化圏推進フォーラム　ユネスコ無形文化遺産「那智田楽」熊野に息づく伝統と文化（仮題）	
「海百涼」キャンペーン	
本でたどる和歌山のスポーツ	
建築技師松田茂樹の仕事展　～地震に耐え燃えない美しい建築物を～	
プラハ放送交響楽団	
県立図書館　エントランスコンサート	
「海鼠壁の武家屋敷・旧和歌山藩士大村孫兵衛長屋門」講演会	
講演会「紀州の忍術で社会を明るく！」～「正忍記」から学ぶ現在社会を生きる知恵～	
県立近代美術館　企画展「なつやすみの美術館5」(仮称)	
近代スポーツと国民体育大会－紀の国わかやま国体・わかやま大会への道－	
県立博物館　企画展「わかやま城探検」(仮題)	
和歌山城納涼ナイター	
紀伊風土記の丘　夏期企画展「江戸時代の考古学」	
港まつり花火大会	
おどるんや～第12回紀州よさこい祭り～	
県立図書館　サマー遊ing	
紀州おどり「ぶんだら節」	
和歌山ジャズプレイヤーズ協会　定期演奏会	
レニングラード国立舞台サーカス	
UNESCO創立70周年記念　平和の鐘　打鐘会	
和歌山市民オペラ協会第20回定期公演　オペラ「夕鶴」	
孫市の街！市駅夏祭り　PASSION SUMMER22	
「食百膳」キャンペーン	
全国スポーツ写真展	
和歌山県スポーツミュージアム	
県立近代美術館　企画展～日本画の魅力～和歌山ゆかりの作家を中心に(仮称)	
第2回“おとのわ”コンサート　「世界へ～音のかけ橋」	

文化プログラム	会 場 地
わかふるコンサート万葉館お月見コンサート	和歌山市
WAKAYAMA SALONE 2015	
県立博物館　高野山開創 1200 年記念特別展　「弘法大師と高野参詣」（仮題）	
県立近代美術館　コレクション展特集展示「生誕 120 年 逸見享」	
第 3 回紀州夢祭り	
スタインウェイを弾いてみよう	
紀の国水中写真展	
第 43 回和歌山県新人演奏会	
紀の国わかやま国体・大会応援前夜祭クラシックオーケストラコンサート	
第 10 回和歌山県民俗芸能祭	
ワンコインコンサート vol.5	
紀伊風土記の丘　秋期特別展「紀伊の地、大いに震ふ」	
ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」	
第 17 回万葉薪能	
フラメンコの祭典 2015in 和歌山ポルトヨーロッパ	
親子でコンサートに行こう	
第 2 回和歌山ハワイアンフラコンサート	
紀ノ国の女王伝説・現代に甦る名草戸畔	
まちなかキャンドルイルミネーション・竹燈夜	
和歌山公園菊花展	
第 15 回マジックフェスティバル	
(一社)表千家同門会和歌山県支部設立 60 周年記念　紀州東照宮献茶式	
紀州漆器伝統産業館　常設展	海南市
海南軽トラ市	
亀池さくらまつり	
菓子祭り	
立神神社「春まつり」の大餅投げ	
きのくに海南歩っとウォーク	
馬鈴薯音楽会	
県立自然博物館特別展　「水辺で生きる昆虫」－和歌山の水生昆虫大集合－	
かいなん夢風鈴まつり	
ふるさと海南まつり	
下駄市	
下津ふるさとまつり	
海南市美術展	
みかん祭り	
泣き相撲	
海南市下津町総合文化祭	

文化プログラム	会場地
パイル織物資料館　常設展	橋本市
橋本市郷土資料館　常設展	
あさもよし歴史館　常設展	
前田邸　常設展	
利生護国寺(国指定重要文化財)	
アザレア映画鑑賞会	
第8回橋本市高野口公園桜まつり	
みどりのさくらまつり	
子安地蔵寺の藤見学	
高野口文化フェスティバル	
恋し野寄席	
恋野あじさいまつり	
紀見北8区合同夏祭り	
紀の川橋本 SUMMERBALL	
第15回橋本市教育フォーラム	
嵯峨谷の神踊り(県指定無形民俗文化財)	
光三宝荒神社の献灯祭	
隅田八幡神社の秋祭り	
橋本だんじりまつり	
橋本市歩行者天国	
高野口地区公民館文化祭	
橋本市ふる里よいとこ探し　ナチュラルブレイク	
橋本市民菊花展	
中将姫旧跡ラブリィーウォーク	
くまの古道歴史民俗資料館　常設展	有田市
有田市みかん資料館展示事業	
有田市郷土資料館　常設展・特別展	
箕島漁港とれピチ朝市	
みかんの花街道ウォーク	
中将姫来迎会式	
第27回有田市芸能大会	
第36回紀文まつり花火大会	
宮原神社秋祭	
糸我稲荷神社秋祭	
須佐神社秋祭	
第59回有田市美術展・文化祭	
御坊市花火大会	御坊市
御坊祭	

文化プログラム	会 場 地
弁慶市	田辺市
田辺のうまい昼ごはんあがら丼	
田辺市合併 10 周年記念　高野山開創 1200 年記念　第 18 回特別企画展「南方熊楠と真言密教」(仮題)	
熊野本宮大社例大祭	
合併 10 周年記念特別展　コレクションのあゆみⅠ	
七越祭	
船玉神社祭	
南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸　特別公開	
田辺市合併 10 周年記念　第 25 回南方熊楠賞授賞式	
南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸　特別開館	
田辺市合併 10 周年記念　第 41 回月例展・多屋謙吉(予定)	
田辺扇ヶ浜海水浴場海開き	
大塔鮎釣り大会	
南紀田辺ビーチサイドドルフィン in 扇ヶ浜	
田辺市立美術館　ミロ展～スペイン巨匠の版画～	
熊野古道なかへち美術館　館蔵品展　渡瀬凌雲展(仮称)	
田辺市合併 10 周年記念　第 19 回特別企画展　田辺湾の生物(仮題)	
田辺祭	
第 30 回熊野古道清姫祭り	
大塔地球元気村・大塔花火大会	
扇ヶ浜まつり	
流れ施餓鬼	
八咫の火祭り	
第 31 回紀南合唱祭	
合併 10 周年記念特別展　コレクションのあゆみⅡ	
第 43 回吹奏楽祭	
祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会！　南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸無料招待	
田辺市合併 10 周年記念・第 42 回月例展 寺石正路(予定)	
第 29 回弁慶まつり	
第 62 回田辺市美術展覧会	
第 47 回田辺花火大会	
熊野速玉大社　熊野神宝館	新宮市
新宮市立歴史民俗資料館　常設展	
新宮市立佐藤春夫記念館　常設展	
国の天然記念物　浮島の森	
第 53 回熊野徐福万燈祭	

文化プログラム	会場地
那智勝浦吹奏楽団　第20回記念定期演奏会	新宮市
平成27年度新宮秋まつり	
御船祭(熊野速玉大社例大祭)	
旧南丘家住宅　常設展示	紀の川市
名手宿本陣 常設展示	
紀伊国分寺跡歴史公園・歴史民俗資料館常設展	
紀の川市桃山まつり・桃源郷ハーフマラソン	
大正琴まつり和歌山大会	
粉河祭	
好きやっしょ紀の川！～夢花火～市民まつり	
子ども夢のくに	
紀の川市メイヤーズカップ2015	
三船神社秋祭り	
青洲まつり	
劇団「華岡青洲」公演	
岩出市民俗資料館　常設展示	岩出市
第2回ハワイアンフラダンスショー	
室井滋＆長谷川義史トークライブ	
いわで夏まつり	
緑花センター　秋の盆栽展	
大宮祭(よみさし祭)	
緑花センター　山草展	
緑花センター　小品盆栽展	
緑花センター　森のキノコ展	
みさと天文台　常設展	紀美野町
文化協会展・芸能発表会	
生石高原山開き	
レラシオン・セラミカ	
ペルセウス座流星群特別観望会	
きみの夏祭り	
小原洞窟恐竜ランド(小原鉱山跡洞窟体験)	かつらぎ町
丹生都比売神社　花盛祭(はなもりさい)	
かつらぎ町　歴史・文化講座	
かつらぎ町美術展	
星空のつどい	
第41回仲間と踊ろう郷土の夕べ	
かつらぎ夏まつり	
平成のご造営竣工記念　丹生都比売神社収蔵庫公開	

文化プログラム	会 場 地
第 31 回伊都管楽アンサンブル　定期演奏会	かつらぎ町
紙遊苑企画展「スイセン展」	九度山町
町家の人形めぐり	
こいのぼり丹生川渡し	
花盛祭	
紙遊苑企画展「民芸和凧展」	
真田祭	
九度山八景絵画展	
紙遊苑企画展「アサガオ展」	
傘鉾(県指定無形民俗文化財)	
椎出鬼の舞（県指定無形民俗文化財)	
九度山町　夏祭り	
九度山百景絵画展（第一部)	
えびすのお渡り	
九度山百景絵画展（第二部)	
丹生官省符祭り	
高野山開創 1200 年記念大法会	高野町
金堂御本尊特別開帳・金剛峯寺持仏御本尊開帳	
旧正御影供御逮夜・旧正御影供	
青葉まつり	
第 42 回万燈供養会(ろうそくまつり)	
傘鉾祭	
世界遺産高野山ツーデーマーチ	
紀州湯浅のシロウオまつり	湯浅町
七夕まつり	
湯浅まつり	
國津神社例祭（秋祭)	
幸神社例祭（秋祭)	
顯國神社例祭（秋祭)	
紀州湯浅の鯖っと鯵まつり	
ゆあさ愛あいまつり	
稲むらの火祭り	広川町
ふるさとまつり	
ちいさな駅美術館・絵本企画展	有田川町
地域交流センター(ALEC)企画展	
有田川町鉄道交流館　常設展	
吉原祭(松原王子神社の秋季祭)	美浜町
和田祭(御崎神社の秋季祭)	

文化プログラム	会場地
ひだかニッコリゆかたフェスタ	日高町
クエ・フェア	
第25回元気ゆら　ふるさとフェスティバル	由良町
衣奈祭	
由良祭	
春のおはなし会	印南町
七夕コンサート in いなみ	
いなみ盆踊り大会	
印南祭	
鹿島神社奉納花火祭り	みなべ町
須賀神社の秋祭り	
東西岩代八幡神社の秋祭り	
鹿島神社の秋祭り	
高城天宝神社の秋祭り	
みやまの里　ふじまつり	日高川町
ヤッホー選手権大会	
道成寺会式(ジャンジャカ踊り)	
上阿田木神社祭り	
日高川町ほたる観賞の夕べ	
日高川町夏まつり	
紀道まつり(紀道神社の秋祭り)	
長子祭り(長子神社の秋祭り)	
笑い祭り(丹生神社秋祭り)	
土生祭り(土生神社秋祭り)	
平草原公園桜まつり	白浜町
南方熊楠記念館　開館50周年記念特別展	
第26回白浜町美術家協会展	
海水浴場海開き(白良浜)	
第47回砂まつり大会	
有間皇子記念式典・献湯祭・温泉神社式典	
第53回和歌山県美術家協会展　白浜展	
文化講演会	
南紀白浜温泉キャンドルイルミネーション2015	
南紀白浜温泉2015年メッセージ花火	
日置川鮎釣り大会・日置川鮎まつり	
白浜花火フェスティバル	
湯のまちしらはまおどり	
白浜花火大会	

文化プログラム	会 場 地
熊野水軍埋蔵金探し	白浜町
第 6 回南紀白浜フラフェスティバル	
京都大学白浜水族館　ポストカードプレゼントキャンペーン	
日出神社御船祭	
富田川友遊フェスティバル	上富田町
イノブータン王国建国 30 周年祭　第 35 回イノブタダービー	すさみ町
勝浦漁港にぎわい広場	那智勝浦町
読書スタンプラリー	
熊野那智大社例大祭（那智の扇祭り）	
那智勝浦町花火大会	
高芝の獅子舞	
第 21 回読書マラソン大会	
あげいん熊野詣	
在米太地人会創立 100 周年記念特別展	太地町
一枚岩守り犬の夏祭り	古座川町
北山村観光筏下り	北山村
北山村追善盆踊り	
日米修好記念館　常設展示	串本町
トルコ記念館　常設展示・トルコ軍艦遭難慰霊碑	
樫野埼灯台旧官舎　常設展示	
第 53 回和歌山県美術家協会展　串本展	
河内祭の御船行事	
熊野水軍古座河内祭の夕べ	
第 11 回串本まつり	

※会場地数は、9 市 20 町 1 村

19　公開競技

公開競技は、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会公開競技実施基準」に基づく実施要項による。

公　開　競　技	会　場　地
綱引	紀の川市
ゲートボール	高野町
パワーリフティング	広川町
グラウンド・ゴルフ	すさみ町

20　デモンストレーションスポーツ

デモンストレーションスポーツは、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づく実施要項による。

デモンストレーションスポーツ	会　場　地
合氣道	田辺市
インディアカ	田辺市
ウォーキング	古座川町
ウォークラリー	由良町、太地町
エアロビック	海南市
オリエンテーリング	かつらぎ町
カローリング	海南市
近代３種	有田市
キンボールスポーツ	田辺市
ゲートゴルフ	紀美野町
3B 体操	高野町
サーフィン	和歌山市
スポーツチャンバラ	有田川町
スポーツ吹矢	湯浅町
ソフトバレーボール	橋本市
庭球野球ＴＥ－ＹＡ	橋本市
ティーボール	有田市
日本拳法	海南市
バウンドテニス	海南市
パラグライダー・ハンググライダー	紀の川市
パークゴルフ	紀美野町
ビリヤード	紀の川市
ビーチラグビー	白浜町
ビーチボールバレー	美浜町
武術太極拳	海南市
ペタンク	紀の川市
リレーション３（３人制ゲートボール）	有田川町

※会場地数は６市、10 町

21　その他

(1)　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2)　その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第 70 回国民体育大会における監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに係る取り扱いについて

監督については日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

なお、第 70 回大会における特例として、以下の者の取り扱いについて、各競技において下表のとおり定める。

・平成 27 年 10 月 1 日付の登録手続きを行う者（平成 27 年 10 月 1 日付認定予定者）

（平成２７年３月１２日現在）

競　　技	取り扱い	競　　技	取り扱い
陸上競技	○	馬術	○
水泳	×	フェンシング	○
サッカー	×	柔道	×
テニス	○	ソフトボール	×
ボート	×	バドミントン	×
ホッケー	○	弓道	×
ボクシング	○	ライフル射撃	×
バレーボール	○	剣道	○
体操	○	ラグビーフットボール	○
バスケットボール	○	山岳	○
レスリング	○	カヌー	○
セーリング	○	アーチェリー	○
ウエイトリフティング	○	空手道	○
ハンドボール	○	銃剣道	○
自転車	○	クレー射撃	○
ソフトテニス	○	なぎなた	×
卓球	○	ボウリング	○
軟式野球	○	ゴルフ	○
相撲	○		

○・・・公認スポーツ指導者資格を有する者と同等の者として扱う。



第70回国民体育大会バドミントン競技会実施要項

1　期　　日　　平成27年10月2日（金）から10月5日（月）まで（4日間）

種　別	10月2日（金）	10月3日（土）	10月4日（日）	10月5日（月）
成年男子		1　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
成年女子	1　回　戦 2　回　戦	3　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
少年男子	1　回　戦	2　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
少年女子		1　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝

2　会　　場　　岩出市　　岩出市立市民総合体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計（人）
成年男子	1	3	16	64	444
成年女子	1	3	47	188	
少年男子	1	3	32	128	
少年女子	1	3	16	64	

※ 成年選手は監督を兼任することができる。

4　競技上の規程及び方法

(1)　平成27年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程による。

(2)　各種別とも1複2単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち2試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3位決定戦を行う。

5　予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。（成年女子は全都道府県が参加）
ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	少年男子	少年女子
北　海　道	北海道	1	1	1
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	4	2
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	6	2
北　信　越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	3	2
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	2	1
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良	2	4	2
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	3	2
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	2	1
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	6	2
開　催　県	和歌山	1	1	1
計		16	32	16

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

(1)　少年種別に参加できる選手は、平成 12 年４月２日から平成 13 年４月１日までの間に生まれた中学３年生を含むものとする。

(2)　監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員制度に基づく公認バドミントン上級コーチ、公認バドミントンコーチ、公認バドミントン上級指導員、公認バドミントン指導員の有資格者であることとする。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に表彰状を授与する。

(2)　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第５位（４チーム）までに賞状を授与する。

9　参加申込み方法

(1)　所定の Web ページ（国民体育大会参加申込み受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成 27 年９月２日（水）までに申込み手続きを完了すること。

(2)　締切期限以降は、所定の Web ページ（国民体育大会参加申込み受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害等の特別な事情の場合のみ認めるものとし、その場合は、下記のア、イ、ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南一丁目１番１号　岸記念体育会館内
公益財団法人日本バドミントン協会
TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

イ　〒640-8585　和歌山県和歌山市小松原通一丁目１番地
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局
（和歌山県国体推進局競技式典課競技運営班）
TEL 073-441-2574　FAX 073-427-5377

ウ　〒649-6235　和歌山県岩出市西野 215 番地
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会岩出市実行委員会事務局
TEL 0736-62-2141　FAX 0736-63-5229

なお、公益財団法人日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦 15cm、横 30cm の範囲内に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

【例】



11　そ の 他

(1)　組合せ抽選会
日　時　　平成 27 年 9 月 4 日（金）午後 1 時
場　所　　岸記念体育会館　会議室
〒150-8050　東京都渋谷区神南一丁目 1 番 1 号
TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

(2)　審判会議
日　時　　平成 27 年 10 月 1 日（木）午後 1 時 30 分
場　所　　岩出市総合保健福祉センター
〒649-6256　和歌山県岩出市金池 92 番地
TEL 0736-61-2400　FAX 0736-61-2411

(3)　監督会議
日　時　　平成 27 年 10 月 1 日（木）午後 3 時
場　所　　岩出市総合保健福祉センター
〒649-6256　和歌山県岩出市金池 92 番地
TEL 0736-61-2400　FAX 0736-61-2411

(4)　表彰式
日　時　　平成 27 年 10 月 5 日（月）午後 2 時
場　所　　岩出市立市民総合体育館
〒649-6232　和歌山県岩出市荊本 63 番地の 2
TEL 0736-62-0370　FAX 0736-62-2421



表彰式次第

1　日　程　　平成27年10月5日（月）　午後2時

2　場　所　　岩出市立市民総合体育館　アリーナ

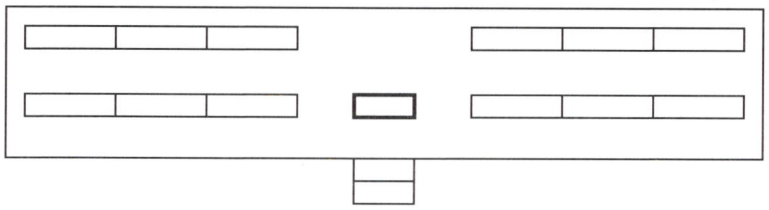
3　式次第

順序	次第	予定時刻
	競技（決勝戦）終了	13：00
	選手団集合・関係役員整列完了	13：55
1	開式通告	14：00
2	成績発表	14：01
3	表彰	14：04
4	競技会会長のあいさつ	14：34
5	歓送のことば	14：37
6	国旗儀礼	14：40
7	大会旗・協会旗・県旗・市旗儀礼	14：43
8	競技会終了宣言	14：45
9	閉式通告	14：46
	選手団解散	14：47
	関係役員解散	14：52



表彰式会場図

岩出市立市民総合体育館 アリーナ



少年女子	少年男子	成年女子	成年男子	女子総合	男女総合
1位	1位	1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位	3位	3位
4位	4位	4位	4位	4位	4位
5位	5位	5位	5位	5位	5位
6位	6位	6位	6位	6位	6位
7位	7位	7位	7位	7位	7位
8位	8位	8位	8位	8位	8位

出入口

出入口



競技日程

審判会議	10月1日（木）	１３時３０分	岩出市総合保健福祉センター
監督会議	10月1日（木）	１５時００分	岩出市総合保健福祉センター

	10月2日（金）	10月3日（土）	10月4日（日）	10月5日（月）
岩出市立市民総合体育館	成年女子 １回戦（７試合） 9:30～	少年女子 １回戦（８試合） 9:30～	少年女子 準々決勝（４試合） 9:30～	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子 ３位決定戦 9:30～
	成年女子 １回戦（８試合） 11:00～	成年男子 １回戦（８試合） 11:00～	成年男子 準々決勝（４試合） 9:30～	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子 決勝戦 11:00～
	少年男子 １回戦（８試合） 12:30～	少年男子 ２回戦（８試合） 12:30～	成年女子 準々決勝（４試合） 11:30～	
	少年男子 １回戦（８試合） 14:00～	成年女子 ３回戦（８試合） 14:00～	少年男子 準々決勝（４試合） 11:30～	
	成年女子 ２回戦（８試合） 15:30～		少年女子 準決勝（２試合） 13:30～	
	成年女子 ２回戦（８試合） 17:00～		成年男子 準決勝（２試合） 13:30～	
			成年女子 準決勝（２試合） 15:30～	
			少年男子 準決勝（２試合） 15:30～	

表彰式	10月5日（月）	14時00分	岩出市立市民総合体育館



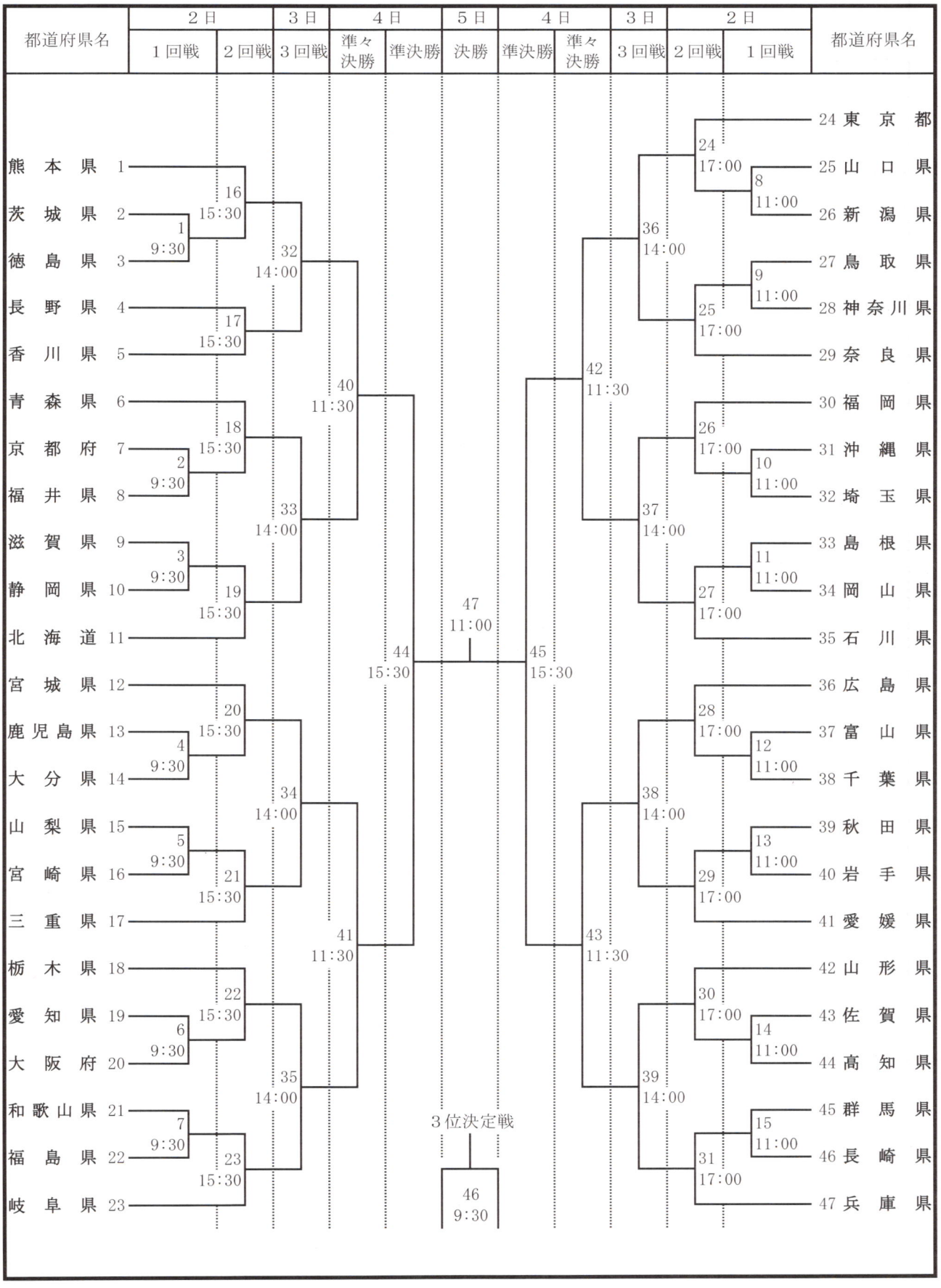
タイムテーブル

競技会場		岩出市立市民総合体育館							
月　日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8
第1日目 10月2日 （金）	09:30	W 1	W 2	W 3	W 4	W 5	W 6	W 7	
	11:00	W 8	W 9	W 10	W 11	W 12	W 13	W 14	W 15
	12:30	B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8
	14:00	B 9	B 10	B 11	B 12	B 13	B 14	B 15	B 16
	15:30	W 16	W 17	W 18	W 19	W 20	W 21	W 22	W 23
	17:00	W 24	W 25	W 26	W 27	W 28	W 29	W 30	W 31
第2日目 10月3日 （土）	09:30	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8
	11:00	M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6	M 7	M 8
	12:30	B 17	B 18	B 19	B 20	B 21	B 22	B 23	B 24
	14:00	W 32	W 33	W 34	W 35	W 36	W 37	W 38	W 39
第3日目 10月4日 （日）	09:30	G 9	G 10	G 11	G 12	M 9	M 10	M 11	M 12
	11:30	W 40	W 41	W 42	W 43	B 25	B 26	B 27	B 28
	13:30	G 13		G 14	M 13		M 14		
	15:30	W 44		W 45	B 29		B 30		
第4日目 10月5日 （月）	09:30	W 46	G 15	B 31	M 15				
	11:00	W 47	B 32		M 16		G 16		
	14:00	表　彰　式							

※　Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子
※　□　は決勝戦、＿＿＿　は３位決定戦
※　第３日目13：30からの試合の終了が遅れた場合、コートを変更して行う場合がある。
※　最終日（第４日目）テレビ放映のため、５コート空けてカメラが入るようにする。

成年女子　組合せ表

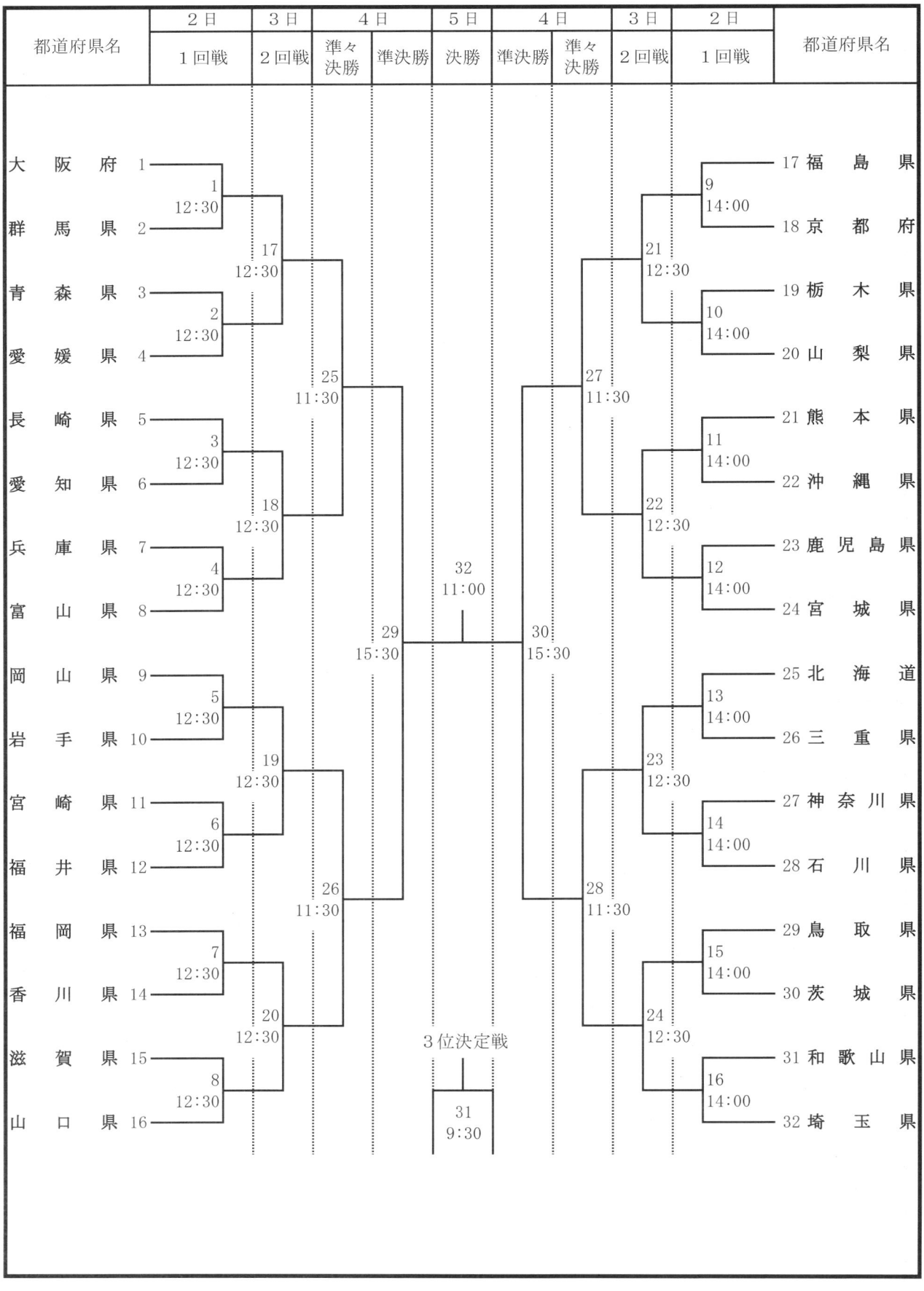
【　成年女子（W）　】





少年男子　組合せ表

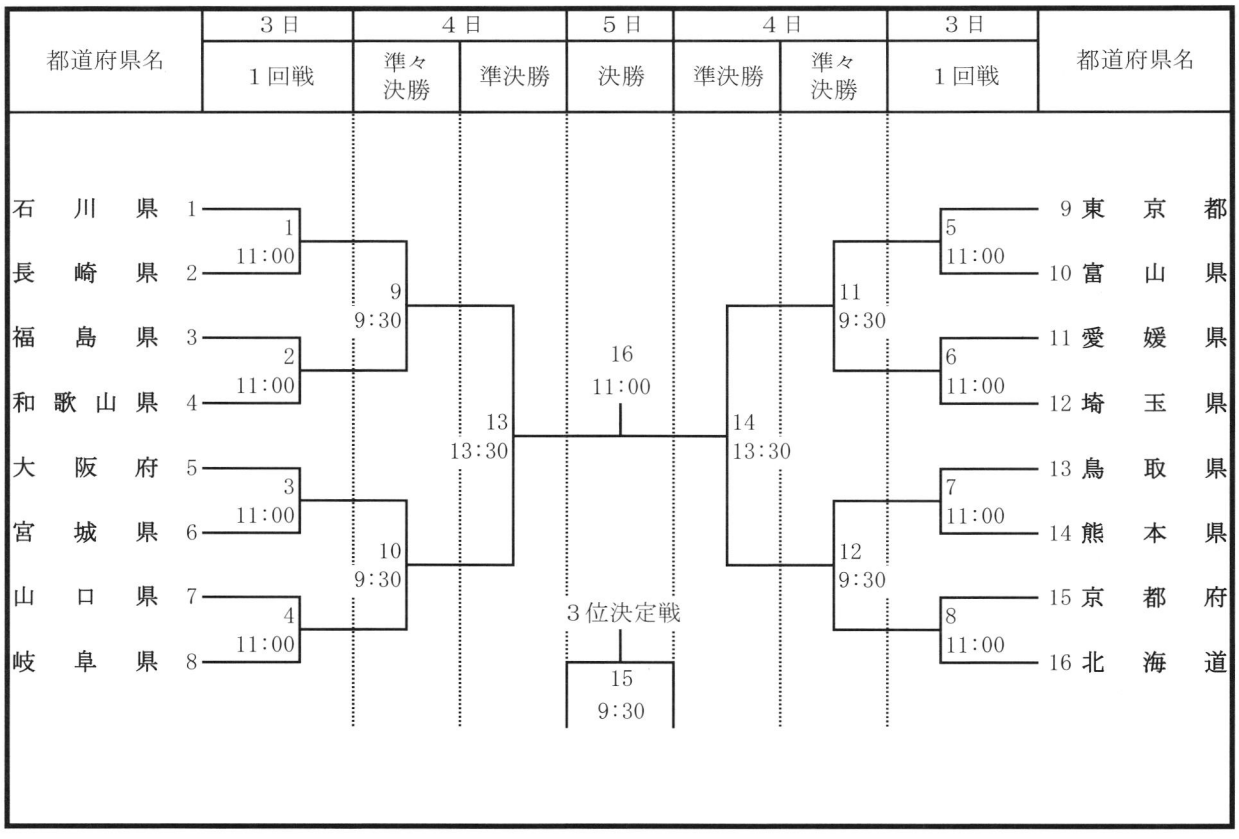
【　少年男子（B）　】



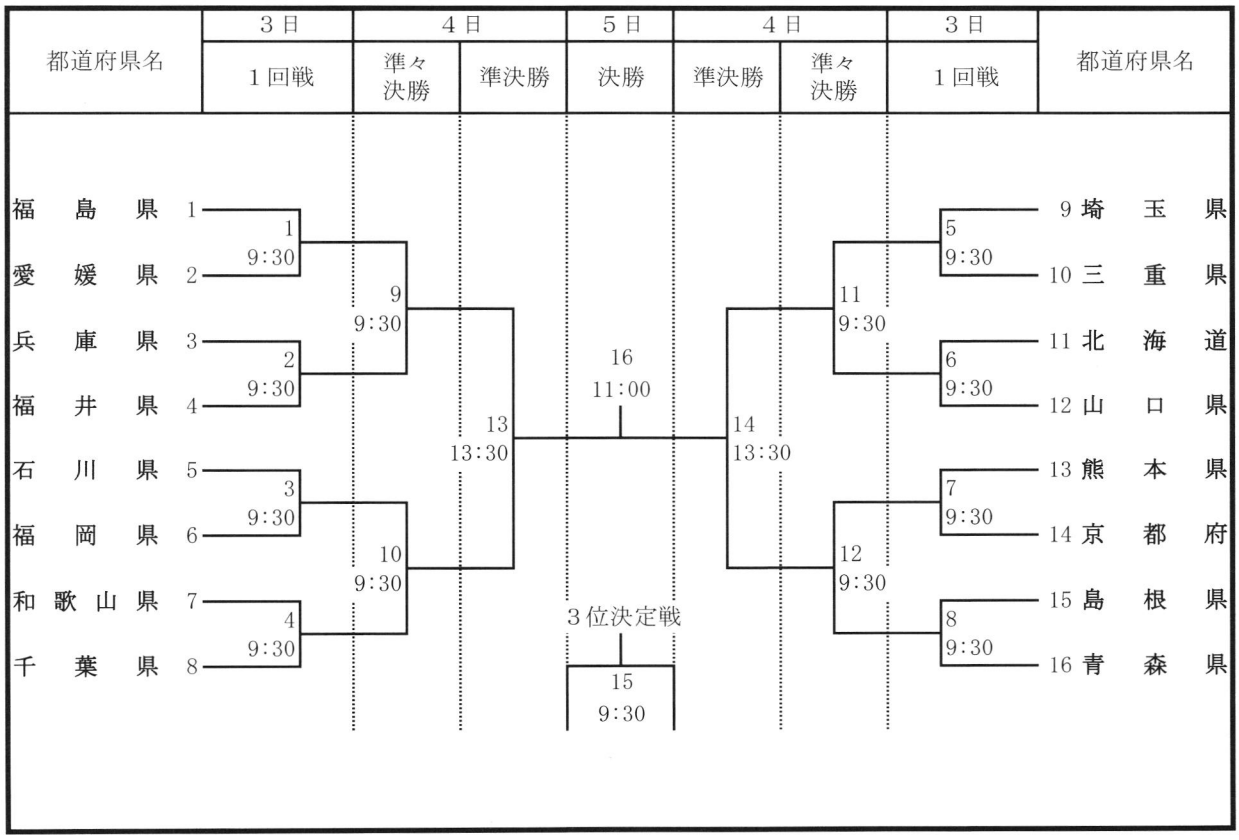


成年男子・少年女子　組合せ表

【成年男子（M）】



【少年女子（G）】



バドミントンを楽しく見るために

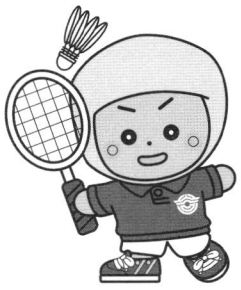


Q．バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A．ネットを挟んでラケットで羽根（シャトルコック）を打ち合うスポーツです。コートの外に落ちたり、ネットの上を越えないとき、また、床に落ちる前に身体やラケットにシャトルが触れたとき、失点（フォルト）になります。

試合には、１対１のシングルス（単）と２対２のダブルス（複）があり、ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

競技としてのバドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術を必要とし、パワーや瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で非常に激しいものです。



Q．羽根（シャトルコック）とはどんなものですか？

A．コルクの台にガチョウ、またはアヒルの羽根を 16 枚取り付けています。重さは５ｇ程しかありません。

Q．ラケットの重さや長さはどれくらいですか？

A．規定ではフレームの全長が 68 ㎝以内、幅 23 ㎝以内と決められています。重さは 80～86ｇが主流となっています。（カーボン、チタン等）

プレーヤーはそれぞれ自分に合わせてラケットを選んだり、ストリング（ガット）の張りの強さを変えたりして使っています。

Q．打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか？

A．全ての球技の中で打球の初速が最も速いことで、ギネスブックに認定されています。下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は 300 ㎞を超えます。その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。なお、世界記録はなんと 493 ㎞になります。【2013 年７月 28 日ギネス世界記録認定】

Q．新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか？

A．ラケットから離れる時の速度は速いのですが、シャトルは羽根がついているので空気抵抗を受けやすいため、打球がネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q．どうすれば得点（ポイント）になりますか？

A．試合は３ゲーム行い（１ゲーム 21 点）、２ゲーム先取したほうが勝ちとなります。

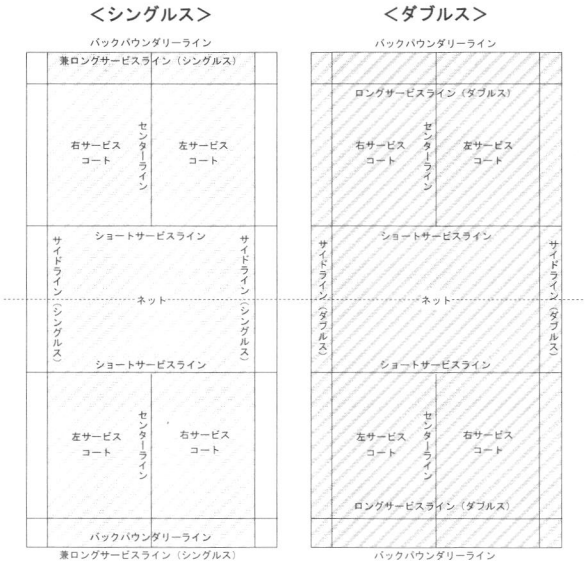
また、両者が 20 点になった場合は、その後最初に２点差をつけた方、もしくは先に 30 点に達した方が勝者となります。

Q．ラリーポイント制とは何ですか？

A．サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝ったときに得点になるのがラリーポイント制です。2006 年に開催されました兵庫国体までは、サービス権を持っているサイドがラリーに勝ったときだけ得点になりましたが、翌年の秋田国体からはラリーポイント制に変わりました。

Q．シングルスとダブルスでコートの使い方は違うのですか？

A．下の図のとおりロングサービスラインやサイドラインの位置が異なります。斜線で塗りつぶしている部分が使用する範囲になります。



国体バドミントン競技について



Q．種別はどのようなものがありますか？

A．成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q．参加都道府県はどうやって決めるのですか？

A．ブロック大会を通過したチームが本大会に出場します。

第 70 回国民体育大会では成年女子は４７都道府県が、成年男子、少年男子、少年女子は全国を９ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が参加します。成年男子と少年女子は開催県（和歌山県）を含む１６チーム、少年男子は開催県（和歌山県）を含む３２チームの参加となります。

Q．試合はどのようにして行いますか？

A．８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q．天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A．得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）7.5 点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場県を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えられません。天皇杯の対象種別は成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は成年女子・少年女子になります。



都道府県別参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	3		3	3	3	12
	岩手県	2		3	3		8
	宮城県	3	3	3	3		12
	秋田県	1		3			4
	山形県	1		3			4
	福島県	4	3	3	3	3	16
関東	茨城県	2		3	3		8
	栃木県	2		3	3		8
	群馬県	2		3	3		8
	埼玉県	4	3	3	3	3	16
	千葉県	2		3		3	8
	東京都	2	3	3			8
	神奈川県	2		3	3		8
	山梨県	2		3	3		8
北信越	新潟県	1		3			4
	長野県	1		3			4
	富山県	3	3	3	3		12
	石川県	4	3	3	3	3	16
	福井県	3		3	3	3	12
東海	静岡県	1		3			4
	愛知県	2		3	3		8
	三重県	3		3	3	3	12
	岐阜県	2	3	3			8
近畿	滋賀県	2		3	3		8
	京都府	4	3	3	3	3	16
	大阪府	3	3	3	3		12
	兵庫県	3		3	3	3	12
	奈良県	1		3			4
	和歌山県	4	3	3	3	3	16
中国	鳥取県	3	3	3	3		12
	島根県	2		3		3	8
	岡山県	2		3	3		8
	広島県	1		3			4
	山口県	4	3	3	3	3	16
四国	香川県	2		3	3		8
	徳島県	1		3			4
	愛媛県	4	3	3	3	3	16
	高知県	1		3			4
九州	福岡県	3		3	3	3	12
	佐賀県	1		3			4
	長崎県	3	3	3	3		12
	熊本県	4	3	3	3	3	16
	大分県	1		3			4
	宮崎県	2		3	3		8
	鹿児島県	2		3	3		8
	沖縄県	2		3	3		8
総計		111	48	141	96	48	444



都道府県別出場監督・選手一覧

【 成年男子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	三上　裕司	苫小牧駒澤大学(職)
	選手	竹村　純	北海道旅客鉄道株式会社
		高島　雅彦	北海道旅客鉄道株式会社
		東野　圭悟	北海道旅客鉄道株式会社
宮城県	監督	諸多　大輔	東北マークス
	選手	堀川　善生	東北マークス
		鈴木　大裕	東北マークス
		大田　圭祐	東北マークス
福島県	監督	二瓶　良	帝京安積高等学校(教)
	選手	内藤　浩司	日立情報通信エンジニアリング
		齋藤　太一	早稲田大学
		松居　圭一郎	日本体育大学
埼玉県	監督	田部井　秀郎	県立越谷南高等学校(教)
	選手	松丸　一輝	NTT東日本(株)
		堀内　研人	(株)日立情報通信エンジニアリング
		古賀　輝	早稲田大学
東京都	監督	坂本　修一	日本ユニシス株式会社
	選手	垰畑　亮太	日本ユニシス株式会社
		佐伯　祐行	日本ユニシス株式会社
		小野寺　裕介	日本ユニシス株式会社
富山県	監督	荒木　純	トナミ運輸株式会社
	選手	保木　卓朗	トナミ運輸株式会社
		小林　優吾	トナミ運輸株式会社
		下農　走	トナミ運輸株式会社
石川県	監督	長谷川　進	(有)ハセガワスポーツ
	選手	伊東　克範	(有)ハセガワスポーツ
		小林　晃	金沢学院大学(職)
		星野　健太朗	金沢市立工業高校(教)
岐阜県	監督	深田　茂雄	株式会社丸杉
	選手	間瀬　俊介	株式会社丸杉
		大森　康平	株式会社丸杉
		小髙　拓也	株式会社丸杉

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
京都府	監督	平野　耕司	ビーウエイ株式会社
	選手	常山　明良	三菱自動車京都
		疋田　聖也	三菱自動車京都
		吉川　改	三菱自動車京都
大阪府	監督	谷田　尚嗣	大阪偕星学園高等学校(教)
	選手	井谷　和弥	トリッキーパンダース
		高階　知也	トリッキーパンダース
		松本　康平	早稲田大学
和歌山県	監督	岩西　俊幸	株式会社オーエ
	選手	黒瀬　尊敏	和歌山県教育庁
		銭谷　翔	有田市役所
		山東　亮太	岩出市役所
鳥取県	監督	松本　源喜	ラケットショップフタバ
	選手	湯谷　亮介	Cheerful鳥取
		小林　寛哉	Cheerful鳥取
		森田　慎司	日本体育大学
山口県	監督	山平　直輝	宇部興産株式会社
	選手	松尾　光平	宇部興産株式会社
		米元　優樹	宇部興産株式会社
		桐田　和樹	法政大学
愛媛県	監督	髙橋　徹	松山市役所
	選手	濵中　裕太	ラケットショップハマナカ
		渡部　克栄	同志社大学
		吾野　文人	関西学院大学
長崎県	監督	茂見　祥平	諫早市立諫早中学校(教)
	選手	吉村　諒	長崎県立西陵高等学校(職)
		松村　健太	日本体育大学
		吉村　健吾	三菱自動車京都
熊本県	監督	井上　哲章	熊本県県立第一高等学校(教)
	選手	宮本　樹希	金沢南郵便局
		権藤　公平	トナミ運輸株式会社
		藤　慶行	日本大学

【　成年女子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	村井　秀樹	NTT東日本-北海道
	選手	永野　陽子	北海道旅客鉄道株式会社
		野村　有美	北翔大学
		本田　恵利奈	北翔大学
青森県	監督	工藤　峰靖	藤崎町役場
	選手	上代　沙奈絵	専修大学
		島田　きらら	早稲田大学
		酒瀬川　美波	法政大学
岩手県	監督	外川　正昭	(株)せいなん
	選手	古川　佳奈	作新学院大学
		高橋　咲	中部教育事務所
		齊藤　佳奈	北翔大学
宮城県	監督	草井　篤	株式会社七十七銀行
	選手	北　はるな	株式会社七十七銀行
		荒木　茜羽	株式会社七十七銀行
		河崎　綾佳	株式会社七十七銀行
秋田県	監督	原田　利雄	株式会社北都銀行
	選手	楠瀬　由佳	株式会社北都銀行
		米元　小春	株式会社北都銀行
		田中　志穂	株式会社北都銀行
山形県	監督	杉山　慶太	鶴岡市消防署
	選手	鈴木　花織	(株)でん六
		八木　瑞月	神奈川大学
		笹原　希	(株)槌屋
福島県	監督	大堀　麻紀	福島県バドミントン協会
	選手	大堀　彩	NTT東日本(株)
		早田　紗希	ヨネックス(株)
		東野　有紗	日本ユニシス(株)
茨城県	監督	大山　宏司	日立化成株式会社
	選手	玉木　絵里子	日立化成株式会社
		篠田　未来	日立化成株式会社
		清水　望	日立化成株式会社

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
栃木県	監督	岡崎　仁壽	栃木県立栃木農業高校(教)
	選手	林　理菜	作新学院大学
		中根　美来	作新学院大学
		河本　紗里	作新学院大学
群馬県	監督	篠田　一裕	太田市立太田中学校(職)
	選手	篠田　希望	法政大学
		清水　詩織	法政大学
		茂野　みゆき	育英メディカル専門学校
埼玉県	監督	山田　秀樹	ユニアデックス(株)
	選手	小橋　霞	青山学院大学
		川島　里羅	NTT東日本(株)
		尾崎　沙織	NTT東日本(株)
千葉県	監督	飯田　武司	中央学院高校(教)
	選手	橋本　由衣	NTT東日本(株)
		新玉　美郷	NTT東日本(株)
		渡邉　あかね	NTT東日本(株)
東京都	監督	内藤　祐輔	ヨネックス(株)
	選手	土井　杏奈	ヨネックス(株)
		鈴木　温子	ヨネックス(株)
		仲井　由希乃	再春館製薬所
神奈川県	監督	前田　吉憲	ウエンブレー
	選手	宮本　万由	日本体育大学
		長澤　明佳里	東海大学
		中西　貴映	早稲田大学
山梨県	監督	奥石　努	自営業
	選手	阿部　愛	北翔大学
		濱田　真衣	東京情報大学
		藤巻　亜里菜	作新学院大学
新潟県	監督	武石　達治	三条商業高等学校(教)
	選手	北上　詩歩	新潟医療福祉大学
		阿部　英	日本女子体育大学
		木村　未来	TDKラムダ(株)

【 成年女子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
長野県	監督	増田　昭	エムテック
	選手	東城　碧	日本大学
		山川　莉歩	日本大学
		小平　安佳里	日本大学
富山県	監督	安村　康介	トナミ運輸株式会社
	選手	市山　瑤子	北國銀行
		河合　紫乃	北國銀行
		中村　幸	早稲田大学
石川県	監督	毛利　達彦	金沢市役所
	選手	樽野　恵	NTT東日本株式会社
		星　千智	日本ユニシス株式会社
		木村　百花	日本ユニシス株式会社
福井県	監督	斉藤　郁	武生商業高等学校(教)
	選手	竹内　沙希	北國銀行株式会社
		中村　美輝	関西学院大学
		綿矢　汐里	筑波大学
静岡県	監督	山本　秀和	日産労連
	選手	太田川　真希	株式会社富士セラミックス
		芹澤　妃那子	神奈川大学
		勝俣　莉里香	法政大学
愛知県	監督	峰　登志郎	株式会社ジェイテクト
	選手	打田　しづか	日本ユニシス株式会社
		峰　歩美	株式会社再春館製薬所
		下農　麻結	東海興業株式会社
三重県	監督	松井　千夏	暁高等学校(教)
	選手	成田　渚	関西学院大学
		中村　恭子	日本体育大学
		中西　理緒	神戸学院大学
岐阜県	監督	山田　青子	有限会社トリッキーパンダース
	選手	江藤　理恵	有限会社トリッキーパンダース
		松田　蒼	有限会社トリッキーパンダース
		山口　ソヨカ	有限会社トリッキーパンダース

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	北橋　進	滋賀県立堅田高等学校(教)
	選手	北村　毬乃	同志社大学
		三津川　有美	龍谷大学
		田岸　美幸	北翔大学
京都府	監督	村尾　勉	同志社女子大学(職)
	選手	岸田　洋子	同志社大学
		深川　星慧	同志社大学
		窓場　由加奈	法政大学
大阪府	監督	藤原　瑛佳	樟蔭東高等学校(職)
	選手	下田　菜都美	龍谷大学
		樋口　帆渚実	法政大学
		森　みず穂	龍谷大学
兵庫県	監督	酒井　将之	三菱電機株式会社
	選手	大迫　晴加	三菱電機株式会社
		高木　美季	三菱電機株式会社
		木戸　美咲	三菱電機株式会社
奈良県	監督	森田　正秀	奈良県立添上高等学校(教)
	選手	山崎　絢子	なし
		田中　瑞穂	龍谷大学
		辻田　真希	龍谷大学
和歌山県	監督	奥田　健太	県立新宮高等学校(教)
	選手	小口　晃佳	紀の川市立池田小学校(教)
		武田　陽子	岩出市立岩出中学校(教)
		若田　美沙	株式会社紀陽銀行
鳥取県	監督	山本　明良	Cheerful鳥取
	選手	高橋　真理	Cheerful鳥取
		山本　理香	Cheerful鳥取
		三橋　久瑠実	Cheerful鳥取
島根県	監督	田部　実智代	株式会社山陰合同銀行
	選手	横山　めぐみ	株式会社山陰合同銀行
		久後　あすみ	株式会社山陰合同銀行
		漆崎　真子	株式会社山陰合同銀行

【　成年女子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岡山県	監督	香山　百合子	(株)岡山スポーツ会館
	選手	三宅　司	岡山ガス(株)
		小見山　彩	龍谷大学
		加藤　美幸	筑波大学
広島県	監督	菊田　健一	広島ガス株式会社
	選手	井上　静華	広島ガス株式会社
		平井　亜紀	広島ガス株式会社
		濱北　もも	広島ガス株式会社
山口県	監督	棟居　秀行	株式会社ムネスエスポーツ
	選手	原　麻衣子	株式会社西京銀行
		米元　陽花	株式会社西京銀行
		今井　優歩	株式会社西京銀行
香川県	監督	岡野　佳浩	県立善通寺養護学校(教)
	選手	東野　良美	(株)百十四銀行
		宮沢　麻耶	(株)百十四銀行
		十河　茉由	明治大学
徳島県	監督	西岡　宏記	日本青包装株式会社
	選手	宮崎　友望	徳島県鳴門病院
		久田　佳奈	武庫川女子大学
		岩崎　遙香	関西学院大学
愛媛県	監督	西原　隆	新居浜市立中萩中学校(教)
	選手	関谷　真由	愛媛県競技力向上対策本部
		新宅　春奈	株式会社テクノ・サービス
		山中　芹里	筑波大学
高知県	監督	岩本　正和	高知市消防局
	選手	結城　更	立命館大学
		結城　杏	立命館大学
		福留　千絵	甲南大学
福岡県	監督	堂本　克樹	西港自動車学校
	選手	中村　麻裕	九州国際大学
		中野　愛美	九州国際大学
		三好　奈緒	北都銀行

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
佐賀県	監督	山下　大介	Y・B・S
	選手	井上　洸	東海興業株式会社
		川原　優	慶応義塾大学
		毛利　未佳	龍谷大学
長崎県	監督	小川　量平	鶴鳴学園長崎女子高等学校(教)
	選手	松本　悠里	関西学院大学
		宮﨑　りの	トヨタ自動車
		財津　穂	日本体育大学
熊本県	監督	今井　彰宏	(株)再春館製薬所
	選手	伊東　可奈	(株)再春館製薬所
		福島　由紀	(株)再春館製薬所
		廣田　彩花	(株)再春館製薬所
大分県	監督	山崎　雅美	日田市バドミントン協会
	選手	宮内　唯	別府市バドミントン協会
		加藤　祥子	別府市バドミントン協会
		苅屋　瑠里	松山大学
宮崎県	監督	田原　順子	宮崎県バドミントン協会
	選手	田中　智子	大阪教育大学
		宮崎　みなみ	法政大学
		定宗　瑠莉	北翔大学
鹿児島県	監督	草ノ瀬　郁美	バドミントンワークス　グッドウェーブ
	選手	仮屋　志保	久留米大学
		牟田　香菜子	龍谷大学
		長野　来夢	専修大学
沖縄県	監督	里村　たか子	スポーツショップキクムラ
	選手	平敷　祥子	与那原町立与那原中学校(教)
		上村　麻衣	株式会社沖縄銀行
		金城　悠姫	学校法人SOLA沖縄学園

【 少年男子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	川畑　友和	札幌第一高等学校(教)
	選手	二谷　優吾	札幌第一高等学校
		能戸　孔太郎	札幌第一高等学校
		片桐　悠輔	旭川実業高等学校
青森県	監督	由町　弘樹	東奥学園高等学校(教)
	選手	相馬　匠	東奥学園高等学校
		三上　楓	東奥学園高等学校
		本間　稜人	東奥学園高等学校
岩手県	監督	菊地　亨	花北青雲高等学校(教)
	選手	軽石　直人	前沢高等学校
		田村　汰稀	前沢高等学校
		菊地　拓也	前沢高等学校
宮城県	監督	畑山　辰徳	聖ウルスラ学院英智高等学校(教)
	選手	野村　拓海	聖ウルスラ学院英智高等学校
		浅原　大輔	聖ウルスラ学院英智高等学校
		丸山　優斗	聖ウルスラ学院英智高等学校
福島県	監督	大堀　均	福島県立富岡高等学校(教)
	選手	渡辺　勇大	福島県立富岡高等学校
		三橋　健也	福島県立富岡高等学校
		山澤　直貴	福島県立富岡高等学校
茨城県	監督	木内　広史	常総学院高等学校(教)
	選手	岡田　幸樹	常総学院高等学校
		佐久間　亮輔	常総学院高等学校
		武藤　響	常総学院高等学校
栃木県	監督	大島　正志	栃木県立真岡女子高等学校(教)
	選手	寺田　真也	作新学院高等学校
		村井　翔	作新学院高等学校
		小沼　達哉	栃木県立宇都宮南高等学校
群馬県	監督	板垣　巌	群馬県立桐生南高等学校(教)
	選手	小高　一純	伊勢崎清明高等学校
		井上　博貴	県立桐生高等学校
		中町　和磨	県立桐生高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
埼玉県	監督	大屋　貴司	埼玉栄高等学校(教)
	選手	小川　桂汰	埼玉栄高等学校
		森岡　秀斗	埼玉栄高等学校
		渡邉　航貴	埼玉栄高等学校
神奈川県	監督	五十嵐　功	川崎市立川崎総合科学高等学校(教)
	選手	樽　魁人	横浜高等学校
		髙橋　優宜	横浜高等学校
		根本　大輝	横浜高等学校
山梨県	監督	柿崎　孝央	甲斐清和高等学校(教)
	選手	古屋　樹	甲斐清和高等学校
		輿石　悠	甲斐清和高等学校
		佐野　勇介	甲斐清和高等学校
富山県	監督	中田　真琴	高岡第一高等学校(教)
	選手	吉村　徳仁	高岡第一高等学校
		谷口　拓実	高岡第一高等学校
		真川　嵩平	高岡第一高等学校
石川県	監督	水内　浩	金沢市立工業高等学校(教)
	選手	尾崎　公哉	金沢市立工業高等学校
		土平　孟	金沢学院東高等学校
		河江　充哉	金沢市立工業高等学校
福井県	監督	牧野　智幸	勝山高等学校(教)
	選手	鍵谷　由輝	勝山高等学校
		谷口　雄祐	勝山高等学校
		鈴木　利拓	勝山高等学校
愛知県	監督	稲垣　翔悟	名古屋経済大学市邨高等学校(教)
	選手	安藤　大地	名古屋経済大学市邨高等学校
		可児　駿弥	名古屋経済大学市邨高等学校
		鈴木　康宏	名古屋経済大学市邨高等学校
三重県	監督	新門　耕一	暁高等学校(教)
	選手	山川　連	暁高等学校
		古川　築	暁高等学校
		笹渕　康孝	皇学館高等学校

【　少年男子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	仲尾　修一	比叡山高等学校(教)
	選手	杉本　陽太	比叡山高等学校
		古屋　啓一	比叡山高等学校
		藤原　圭祐	比叡山高等学校
京都府	監督	山本　裕幸	京都府立乙訓高等学校(教)
	選手	新郷　涼太	京都府立乙訓高等学校
		吉本　尚樹	京都府立乙訓高等学校
		馬場　浩市	京都府立乙訓高等学校
大阪府	監督	櫻井　勝仁	トリッキーパンダース
	選手	小倉　由嵩	東大阪大学柏原高等学校
		中村　友哉	東大阪大学柏原高等学校
		松浦　拓巳	東大阪大学柏原高等学校
兵庫県	監督	細川　泰大	神戸村野工業高等学校(教)
	選手	唐津　駿	神戸村野工業高等学校
		堀田　一輝	神戸村野工業高等学校
		友金　利玖斗	神戸村野工業高等学校
和歌山県	監督	谷口　宏紀	県立耐久高等学校(教)
	選手	山田　真也	県立耐久高等学校
		山本　純平	県立耐久高等学校
		岸部　凌	県立耐久高等学校
鳥取県	監督	本道　由幸	米子松蔭高等学校(教)
	選手	西原　正崇	米子松蔭高校
		米田　翔平	米子松蔭高校
		坂口　海斗	米子北高校
岡山県	監督	松川　大記	水島工業高等学校(教)
	選手	奥山　晃輔	水島工業高等学校
		山下　恭平	水島工業高等学校
		坂本　泰晟	水島工業高等学校
山口県	監督	松原　康則	山口県立徳山高等学校(教)
	選手	岩永　廉	山口県立柳井商工高等学校
		上阪　時歩	山口県立柳井商工高等学校
		田中　開登	山口県立柳井商工高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
香川県	監督	二宮　和敬	県立香川中央高等学校(教)
	選手	國井　颯人	県立香川中央高等学校
		伏見　勇真	県立香川中央高等学校
		竹島　徹	県立香川中央高等学校
愛媛県	監督	徳永　督	新田高等学校(教)
	選手	西野　勝志	新田高等学校
		田中　大祐	新田高等学校
		中川　正麻	新田高等学校
福岡県	監督	荒木　秀文	福岡県立山門高等学校(教)
	選手	荒木　広夢	福岡県立山門高等学校
		中里　李之	福岡県立　山門高校
		藤田　将徳	九州国際大学付属高等学校
長崎県	監督	林　貴昭	瓊浦高等学校(教)
	選手	松尾　涼平	長崎県立西陵高等学校
		鍛治屋　広空	長崎県立西陵高等学校
		村本　竜馬	瓊浦高等学校
熊本県	監督	権藤　浩二	熊本県立八代東高等学校(教)
	選手	霜上　雄一	熊本県立八代東高等学校
		野田　悠斗	熊本県立八代東高等学校
		小本　大佑	熊本県立八代東高等学校
宮崎県	監督	山内　勉	宮崎県立佐土原高等学校(教)
	選手	春成　星哉	日章学園高等学校
		森園　周冬	日章学園高等学校
		細山田　真也	日章学園高等学校
鹿児島県	監督	鬼塚　敦義	鹿児島商業高等学校(教)
	選手	田中　佑貴	鹿児島商業高等学校
		田中　陸人	鹿児島商業高等学校
		有村　康希	鹿児島工業高等学校
沖縄県	監督	赤嶺　靖	沖縄県立南風原高等学校(教)
	選手	上原　尚仁	南風原高等学校
		新里　智司	南風原高等学校
		田場　盛吾	南風原高等学校

【 少年女子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	横山　匠	札幌静修高等学校(教)
	選手	林田　彩	札幌静修高等学校
		三上　夏世	札幌静修高等学校
		佐藤　未唯	旭川実業高等学校
青森県	監督	藤田　真人	青森山田高等学校(教)
	選手	安田　美空	青森山田高等学校
		小田　菜摘	青森山田高等学校
		志田　千陽	青森山田高等学校
福島県	監督	本多　裕樹	福島県立富岡高等学校(教)
	選手	川上　紗恵奈	福島県立富岡高等学校
		仁平　菜月	福島県立富岡高等学校
		吾妻　咲弥	福島県立富岡高等学校
埼玉県	監督	上田　敏之	県立大宮東高等学校(教)
	選手	齋藤　栞	埼玉栄高等学校
		高畑　祐紀子	県立大宮東高等学校
		川島　美南	埼玉栄高等学校
千葉県	監督	高瀬　秀雄	西武台千葉高校(教)
	選手	荒木　萌恵	西武台千葉高校
		岡部　天	西武台千葉高校
		小沼　みなみ	西武台千葉高校
石川県	監督	車　浩明	石川県立金沢向陽高等学校(教)
	選手	小野　菜保	石川県立金沢向陽高等学校
		大家　夏稀	石川県立金沢向陽高等学校
		桃井　伶実	石川県立金沢向陽高等学校
福井県	監督	小林　陽年	勝山高等学校(教)
	選手	鈴木　咲貴	勝山高等学校
		山口　茜	勝山高等学校
		西江　彩花	勝山高等学校
三重県	監督	槙野　貴行	皇學館高等学校(職)
	選手	関矢　夕芽	暁高等学校
		谷水　亜里紗	皇学館高等学校
		齋藤　柚	皇学館高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
京都府	監督	竹中　育枝	龍谷大学付属平安高等学校(教)
	選手	石橋　麻美子	京都外大西高等学校
		岩﨑　楓由	京都外大西高等学校
		中島　朱音	京都外大西高等学校
兵庫県	監督	寺町　彰浩	園田学園高等学校(教)
	選手	石上　加奈子	園田学園高等学校
		横山　恵里香	園田学園高等学校
		京野　沙耶	園田学園高等学校
和歌山県	監督	坂田　智也	県立耐久高等学校(教)
	選手	荻谷　あやめ	県立耐久高等学校
		花野　里沙子	県立耐久高等学校
		山下　玄	県立耐久高等学校
島根県	監督	丸岡　智子	株式会社山陰合同銀行
	選手	三島　由里	松徳学院高等学校
		池内　萌絵	松徳学院高等学校
		宮崎　詩織	松徳学院高等学校
山口県	監督	竹光　唯至	山口県立柳井商工高等学校(教)
	選手	永田　瑞稀	山口県立柳井商工高等学校
		水津　優衣	山口県立柳井商工高等学校
		岩永　鈴	山口県立柳井商工高等学校
愛媛県	監督	久枝　ゆい	新田高等学校(教)
	選手	伊野　紫惟	新田高等学校
		蓮沼　紗季	新田高等学校
		原田　のどか	新田高等学校
福岡県	監督	明神　憲一	九州国際大学付属高等学校(教)
	選手	重田　美空	九州国際大学付属高等学校
		石橋　舞	九州国際大学付属高等学校
		松山　奈未	九州国際大学付属高等学校
熊本県	監督	井村　勝英	八代白百合学園高等学校(教)
	選手	樋口　奈津樹	八代白百合学園高等学校
		泉　映己子	八代白百合学園高等学校
		落司　実瑠	玉名女子高等学校



競技成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

2　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。



総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（天皇杯）			
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																
2	青森																
3	岩手																
4	宮城																
5	秋田																
6	山形																
7	福島																
8	茨城																
9	栃木																
10	群馬																
11	埼玉																
12	千葉																
13	東京																
14	神奈川																
15	山梨																
16	新潟																
17	長野																
18	富山																
19	石川																
20	福井																
21	静岡																
22	愛知																
23	三重																
24	岐阜																
25	滋賀																
26	京都																
27	大阪																
28	兵庫																
29	奈良																
30	和歌山																
31	鳥取																
32	島根																
33	岡山																
34	広島																
35	山口																
36	香川																
37	徳島																
38	愛媛																
39	高知																
40	福岡																
41	佐賀																
42	長崎																
43	熊本																
44	大分																
45	宮崎																
46	鹿児島																
47	沖縄																



過去の成績一覧表

第４回　昭和２４年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀 藤井光男	神奈川　岡淳一 相馬万吉	北海道　佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子	神奈川　小林歌子 中村多喜	愛知　吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和２５年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川　岡淳一 相馬万吉 大谷直次 松本武道	北海道　佐藤保 村上三郎 葛西英俊 若林守
一般女子	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知　水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道　伊藤絹代 安藤栄 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道　石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知　石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川　岡道明 村松弘喬 江井実 藤井昂一

第６回　昭和２６年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜　玉越忠治 大竹健司 下野和彦	愛知　藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知　堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川　登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道　伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知　服部興治 野口勇 立松健市	石川　東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜　後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　昭和２７年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田 敏秀 岡 道明 藤井 昂一 吉原 秀雄	北海道	石田 裕 神山 周二 葛西 英俊 野坂 豊三郎	東京	江井 実 小宮 章敬 山崎 茂 佐藤 芳朗
一般女子	石川	貝原 まさえ 登 悦子 高田 八重子 岩倉 衣絵	東京	田中 知江子 中谷 成子 佐之瀬 教子 小野寺 京子	愛知	堀江 綾子 保田 久子 伊与田 照子 水野 美根子
高校男子	東京	望月 文雄 倉田 一彦 力石 潔 鈴木 隆治	神奈川	新倉 利男 関根 秀司 内藤 広明 伏島 光則	石川	諸江 秀一 井上 晴夫 山本 圭三 上田 稔
高校女子	兵庫	広瀬 延子 西尾 貞子 小笠原 美津子 関 一子	山形	佐藤 照子 五十嵐 弘子 斎藤 久美子 佐藤 明	神奈川	大川 良子 竜野 美代子 藤田 光子 中島 緑

第８回　昭和２８年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田 敏秀 佐治 豊 川崎 順久 杉田 博	東京	藤井 光男 諸江 秀一 相川 十一郎 萩原 誠	岐阜	大竹 健司 松岡 龍三 丹波 哲昭 林 金太郎
一般女子	神奈川	遠藤 文子 小林 歌子 荒川 とみ子 小野 智子	北海道	岡元 弘子 梅津 貴久江 阿部 悦子 荒井 重子	石川	貝原 まさえ 登 悦子 島谷 須磨子 町駒 ヤス子
高校男子	北海道	片石 兼敏 加藤 正則 長谷川 龍男 井桁 啓充	石川	江尻 桂三 辻 貞三 半田外 喜男 岡崎 健一	神奈川	越川 啓 花岡 牧夫 折井 利彦 内藤 弘明
高校女子	宮城	西堀 富美子 谷津 京子 佐藤 範子 松本 幸子	香川	大西 誉子 秋山 武子 真鍋 寿子	神奈川	大川 良子 藤田 光子 竜野 美代子 波多野 澄子

第９回　昭和２９年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越 忠治 大竹 健司 松岡 龍三	愛知	野口 勇 服部 興治 稲熊 貞夫	富山	清水 正 釣谷 友一 荒木 亥久男
一般女子	宮城	西堀 富美子 佐藤 範子 谷津 京子	石川	登 悦子 貝原 まさえ 澁谷 信	愛知	保田 久子 伊与田 照子 堀江 綾子
高校男子	愛知	豊場 建 御友 昡正 伊藤 雅昭	石川	西村 嘉彦 江尻 桂三 島谷 昇	神奈川	宮沢 健一 伊豆内 宏 渡辺 潔
高校女子	福島	武田 信子 伊藤 桂子 尾形 亨子	岡山	大森 嘉美 友野 文子 三宅 基子	愛知	大沢 節子 大室 久美子 大竹 泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜	大竹健司 松岡龍三 酒井弘	富山	釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島	武田信子 伊藤桂子	神奈川	荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道	梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京	永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川	北方匡 関功 米谷外喜彦	山形	生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山	友野文子 権田節子 三宅基子	宮城	佐々木功子 三津節 菅井静子	香川	永田豊子 藤田純代 藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山	毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城	西堀冨美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山	友野文子 権田節子 光本政子	兵庫	西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 齊藤裕之	北海道	四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本竜一	山形	板垣隆房 山岸重孝 鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	小林桂子 戸田寿子 根岸純	宮城	三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京	望月文雄 力石潔 鈴木峻三	北海道	島中貞夫 星野嘉雄 神山周二
一般女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川	大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川	酒井明夫 村田和男 堀知章	島根	平野隆 森脇英裕 富田豊
高校女子	香川	田島外茂子 山下久子 宮川ツヤ子	静岡	掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川	有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道	龍瀬康彦 竹中将晃 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石 兼敏 永井 栄一 星野 忠男	神奈川	佐藤 芳朗 岡崎 恵三 遠藤 啓治	山形	板垣 隆房 出沢 勇男 北村 任
一般女子	富山	栂野尾 桂子 橘 美智子 酒井 美智子	秋田	木村 政子 横山 満子 高橋 奉子	香川	宮川 ツヤ子 福本 和子 横井 文子
教員男子	石川	北方 匡 河原山 晴夫 江尻 桂三	神奈川	杉田 博 岡田 敬三郎 秋山 捷彦	秋田	脇坂 安隆 鈴木 裕司 高橋 弘喜
高校男子	新潟	大竹 紘一 安沢 武司 星野 義昭	北海道	中村 富光 松浦 潔 松本 直治	山梨	平田 勲 秋山 真男 早川 博
高校女子	山形	佐藤 弘子 小笠原 詔子 矢口 淳子	静岡	高木 紀子 天野 博江 影山 昭子	秋田	伊藤 美津子 横山 綾子 大門 モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野 忠男 富田 豊 井門 鎮雄	神奈川	遠藤 啓治 鈴木 敏勝 岡崎 恵三	愛知	北島 克英 小宮 好雄 長谷川 陽一
一般女子	香川	福本 和子 横井 文子 森 久子	富山	橘 美智子 酒井 美智子 栂野尾 桂子	秋田	木村 政子 横山 満子 高橋 奉子
教員男子	石川	北方 匡 河原山 晴夫 江尻 桂三	神奈川	杉田 博 秋山 捷彦 岡田 敬三郎	秋田	脇坂 安隆 鈴木 裕司 真崎 俊光
高校男子	新潟	本田 務 荒川 治男 阿野 善紀	東京	西野 一征 須田 孝夫 関 一誠	青森	奥谷 国昭 長谷川 勇 三上 義明
高校女子	富山	橘 妙子 室崎 光子 河村 和子	秋田	大塚 トシ 大門 サヨ子 間瀬 幸子	岡山	高塚 淳子 重政 百代 七村 泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮 好雄 板垣 善憲 稲熊 文隆	東京	井門 鎮雄 宮永 武司 堺 栄一	島根	星野 忠男 富田 豊 山崎 春茂
一般女子	秋田	横山 満子 高橋 奉子 長崎 文子	香川	田島 外茂子 横井 文子 森 久子	富山	栂野尾 桂子 酒井 美智子 室崎 光子
教員男子	石川	北方 匡 河原山 晴夫 江尻 桂三	神奈川	杉田 博 岡田 敬三郎 秋山 捷彦	大阪	大世古 吉弘 北野 敬四郎 片岡 輝明
高校男子	新潟	星野 義夫 裏田 光男 樋口 一春	東京	関 一誠 中村 安 古屋 和正	北海道	福島 智徳 林 守 久保田 和男
高校女子	栃木	前沢 和子 松本 昭子 小出 千代子	新潟	後藤 和子 茂沢 純子 竹内 泰子	北海道	高森 幸子 高田 裕子 村田 泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 松下力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟礼顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中嶋弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年一 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良秋	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美和子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高崎弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹中礼子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間享 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高崎弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤壮 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味蓼とも子 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤佶 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知	本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京	湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	香川	森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜	天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀	藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川	原栄一 長谷川進 和田修	山形	永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山	西村正美 梶川博之 上治雄	福島	寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良	池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪	高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形	堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知	松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京	石崎茂子 今田眞知子 柴山きよ子	香川	田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道	田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川	原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城	佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形	米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良	塚本良一 小倉久和 村田信博	福井	長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟	関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川	牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	大阪	植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山	河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城	渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川	川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山	石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良	吉岡伸浩 冨田章夫 田島裕司	石川	宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城	橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪	植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重	谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川	前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 河村博之 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田眞知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 梅野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斎藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 織本富之	神奈川	小島一平 高橋清 菅敏明	北海道	遠藤好男 木村敏男 久原正敏
	教員	石川	長谷川進 和田修 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	滋賀	藤原健二 藤上良信 脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	大阪	東海林文子 葛西明子 原口恵子	香川	平井佐代子 山田高子 前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二 村上英介 井上哲章	香川	岡野佳浩 小西太 竹田佳史	栃木	馬場良浩 小野口正 大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子 植田日出子 冨田美千代	新潟	藤井直子 遠藤えり子 富岡栄子	熊本	川添安代 高峯和子 陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 二上敏博	長谷川進 舛田吉光 堂谷内均	石川	小島一平 池田隆治 菅敏明	神奈川
成年女子	東京	端洋護 渡辺多喜子 高岸陽子	谷美津代 若村弥生 阪口典子	滋賀	小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子	愛知
少年男子	滋賀	山本裕幸 竹端英夫 松浦進二	大島正志 大堀円 戸村正樹	栃木	井上哲章 伊東幸男 福田和幸	熊本
少年女子	熊本	高峯和子 陣内貴美子 森山弘美	松田全代 新木千織 尾崎升美	大阪	野上満子 山内美子 山田登美子	新潟

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 林加永	佐藤光伸 須藤茂 村元英美	青森	今井勇司 秋庭克行 鏑木智博	群馬
成年女子	東京	湯木博恵 高岸陽子 月岡広美	谷美津代 西村美千代 磯野恵理子	滋賀	河村茂美 平久美子 葛西明子	大阪
少年男子	滋賀	松浦進二 片岡泰 辻田泰昌	松野修二 宮健次 宮康二	山梨	羽田義仁 村松博 宮本照啓	石川
少年女子	熊本	陣内貴美子 高峯尚子 森山弘美	山内佳子 佃貴子 永井明美	香川	山内美子 石崎咲知子 本田佳代子	新潟

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司 鏑木智博 秋庭克行	富山	今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道	遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山	河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪	河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡	山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀	西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川	山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉	長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪	松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本	森山弘美 高峯尚子 青木きよみ	栃木	三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	新潟	鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡	後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山	河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡	川島直子 白松千加子 原田純子	東京	枝美代子 月岡広美 高峯尚子
少年男子	熊本	川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫	佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良	見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪	鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本	上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟	原田真理恵 本田みどり 川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 江藤正治 権藤浩二	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	奈良	辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪	葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川	伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京	枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀	江藤裕樹 中川健 中川康	富山	平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉	松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪	新木貴子 今村薫 山田陽子	新潟	若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森	徳光由美子 谷地春子 西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一	群馬	今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知	坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	大阪	高峯和子 星　和枝 平山美恵子	山形	東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉	生井沢勝美 菊地　修 石橋　隆	石川	気谷篤人 山本明彦 中川　守	熊本	浜北和彦 中村徳祐 小本義久
少年女子	熊本	田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟	小池由扶子 青戸香織 棒　匡子	青森	横手智江美 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	山梨	山本裕幸 松野修二 宮　健次	大阪	森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	富山	今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨	高田幹子 野口英代 清藤　和
少年男子	熊本	久住　猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨	内田高史 輿石　努 岩佐延寿	富山	吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡	田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本	松尾知美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉	秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	岐阜	蘭　和真 木内広史 横尾宣幸	群馬	栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	富山	今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知	宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川	彼島佳子 小路和代 水本幸代
少年男子	滋賀	鈴木草麻生 平井　肇 小河原　崇	熊本	本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉	関根英勝 石井　隆 鈴木秀二
少年女子	熊本	中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪	南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟	棒　匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第４４回　平成元年　はまなす国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 篠原久子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上瀧賢二 片岡詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	中川　健 三重　常山兼二 山内一志	辻田泰昌 大阪　奥野勉 早戸敬雄	毛利達彦 石川　羽田義仁 崎田健一
成年女子	田児よし子 東京　都木弘美 立花久枝	青戸香織 神奈川　森真由美 加賀ゆかり	小泉陽子 石川　上浜陽子 中尾仁美
少年男子	太田慎二 千葉　石橋秀法 佐藤裕二	増田直樹 埼玉　高橋真 加賀谷洋	青木康 石川　竹鼻拓也 石本明男
少年女子	橋本淳子 宮城　山田裕美 貴田泉	高野八重 群馬　丹野恭子 田部井美奈	津田藍子 石川　安田香奈 丸山実支子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	辻田泰昌 大阪　今井彰宏 鈴木草麻生	西山博司 山形　渡辺清一 寺島剛志	角谷淳一 北海道　工藤忠和 古川英樹
成年女子	大堀麻紀 富山　佐々木忍 野々村美春	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	田児よし子 東京　岡山登紀子 立花久枝
少年男子	高橋幸治 群馬　横山秀之 坂入秀貴	成島瑞穂 茨城　樋渡順也 矢部正博	片岡直茂 熊本　花田政文 野田亮介
少年女子	大田貴子 大阪　水井泰子 川口桐香	小室恭子 埼玉　伊藤さおり 浅井康代	宮村亜貴子 熊本　村上直美 伊藤真由美

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	高橋英治 東京　峯岸康史 須賀隆弘	谷田尚嗣 大阪　植村昭彦 常山兼二	中川　健 三重　磯部昌弘 吉田義利
成年女子	西田美由紀 大阪　村上直美 大田貴子	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	中尾仁美 香川　川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	樋渡順也 茨城　矢部正博 大橋雅道	田中肇一 千葉　池田哲徳 小倉伸彦	井野嘉久 北海道　一宮孝一 馬木智一
少年女子	水井泰子 大阪　川口桐香 鬼池めぐみ	増茂孝枝 北海道　中山智香子 田村裕美	山田潤子 富山　進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山	気谷篤人 岩渕公一 本山秀昭
成年女子	東京	松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山	佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟	竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀	酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道	一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川	津田光一郎 奥森正志 舛田圭太
少年女子	大阪	福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡	長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬	中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	福島	柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山	気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪	常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島	棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪	中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山	佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀	松本徹 向裕樹 川口馨士	福島	渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川	徳坂渉 栄代正男 舛田圭太
少年女子	石川	中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山	山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡	吉富明子 大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本	霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道	村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山	河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟	竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島	福井奈美 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	石川	舛田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉	小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本	大東忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉	井川里美 岩脇史 李荔	熊本	杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪	吉岡知香 鄭有琁 安城美華

第５２回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 久保田雄三	大阪 松井峰生 常山兼二 植村昭彦 岸田明宏	福岡 森　裁美 清水文武 棟居秀行 五十嵐一智
成年女子	大阪 宮崎克巳 井田貴子 中山智香子 増茂孝枝	奈良 谷口　章 水井妃佐子 水井泰子 渡辺未奈子	富山 河合昭博 高野八重 河口奈緒美 市橋美紀
少年男子	大阪 和田泰寛 仲尾修一 永谷和也 福川和也	熊本 権藤浩二 二瓶　良 大東真也 中村寿史	石川 彼島重範 車　浩明 酒井忠相 茶谷徳靖
少年女子	福岡 樽野智子 森　かおり 中内景子 三好奈緒	石川 和田　修 田井美幸 舛田恵 田村恵理	大阪 西上正一 福永麻美 安城美華 速水永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 鈴木草麻生 今井紀夫 大山宏司	東京 兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 渡辺清一	大阪 松井峰生 岸田明宏 松井　充 川口馨土
成年女子	奈良 谷口　章 水井泰子 松田治子 市橋理恵	茨城 磯部和弘 米倉加奈子 大坂千尋 岩松絵理子	富山 河合昭博 高野八重 河口奈緒美 明石由美
少年男子	熊本 権藤浩二 大東真也 中村寿史 茂見祥平	埼玉 関根　務 橋村竜彦史 平山政史 川崎和宗	石川 彼島重範 酒井忠相 茶谷徳靖 山下　淳
少年女子	福岡 樽野智子 中内景子 藤本乃恵 松尾美穂子	大分 吉田信之 末綱聡子 赤尾美代 赤尾亜希	埼玉 加藤　勝 大熊倫子 山口絵美 謝　婷婷

第５４回　平成１１年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 石黒之武久 霜上和宏 花田政文 大東忠司	富山 今泉　勉 今井紀夫 大山宏司 吉川大助	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	大阪 宮崎克巳 鬼池めぐみ 森　かおり 関本祥子	茨城 大塚三佳 米倉加奈子 中島暁子 大坂千尋	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京 渋谷　実 安村康介 佐藤翔治 佐々木翔	熊本 権藤浩二 茂見祥平 池田礼緒奈 土田真義	香川 岡野佳浩 二宮和敬 前田丈博 木場　喬
少年女子	福岡 明神憲一 松尾美穂子 藤本乃恵 脇坂　郁	熊本 伊東幸雄 田上千晴 松本舞子 野口理加	埼玉 中島正敏 陳　暁娜 大下詩織 広岡まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 谷内貴昭 大山宏司	熊本 村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城 下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪 喜多努 関本祥子 田上千晴 西宏予	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京 渋谷実 佐藤翔治 佐々木翔 池田雄一	富山 山形英明 川口佳介 米隆夫 劉志遠	北海道 井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村純
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊藹琳	富山 麦谷正二幸 田村美幸 今井幸代 劉晶	長崎 春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 吉川大助 舛田圭太 大東忠司	熊本 村中陽介 古井博高 花田政文 田上良治	埼玉 中條彪 中村憲尚 福井剛士 加賀谷洋
成年女子	千葉 中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城 小島一夫 松浦裕子 正木真澄 梅津知恵	富山 河合昭博 山田潤子 田村美幸 佐伯知佳
少年男子	東京 渋谷実 山浦尚仁一 池田雄一 新開慎士	埼玉 大屋貴司 斉藤元伸 堤敦史 井上知也	青森 戸祭潤生 岩脇峰生 長原克博 鈕佳平
少年女子	青森 髙屋仁 楊藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山 中田庄二 佐伯美沙都 劉晶 今井幸代	大分 吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道 古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪 渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉 中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	東京 落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京 渋谷実 池田雄一 新開慎士 高木洋平	埼玉 大屋貴司 井上知也 秋山駿祐 新井克巳	滋賀 藤上良信 山口公洋 数野健太 早川賢一
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜 尾藤伸治 脇田侑 後藤舞 林裕佳	宮城 常田貴裕 田嶋朝美 平山優 松村咲希

第５８回　平成１５年　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 久保田雄三 片山卓哉 清水　裕	岡山 藤原道弘 松川大記 尾崎勝久 佐伯浩一	宮城 原田利雄 草井　篤 山下洋平 鈴木知道
成年女子	千葉 中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	熊本 今井彰宏 末綱聡子 中内景子 今井幸代
少年男子	滋賀 藤上良信 数野健太 早川賢一 早崎修平	東京 小林重徳 高木洋平 堀川善生 林　森	埼玉 大屋貴司 中尾祐介 黒田俊明 宗形俊克
少年女子	宮城 常田貴裕 平山　優 松村咲希 麻植まさよ	青森 髙屋　仁 小柳知子 藤澤美佑紀 今別府香里	熊本 工藤勇参 吉村征美 前田美順 岡　ひとみ

第５９回　平成１６年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉 中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	北海道 小倉隆司 松本　章 竹村　純 長原正博
成年女子	熊本 今井彰宏 末綱聡子 幡谷好美 前田美順	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 平山　優	東京 岩田良子 田井美幸 媚山映里 今別府靖代
少年男子	東京 渋谷実生 藤田真生 堀川善生 高階知也	埼玉 帰山好和 遠藤大由 山田和司 小松谷輝	滋賀 藤上良信 早川賢一 早崎修平 川下剛士
少年女子	青森 髙屋　仁 今別府香里 本間ちさと 藤井瑞希	埼玉 名倉康弘 高橋沙織 井上春奈 李　舒静	宮城 常田貴裕 松村咲希 麻植まさよ 大阪あや

第６０回　平成１７年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 荒木　純 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉 中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	東京 町田文彦 松本　徹 川口馨士 清水　裕
成年女子	岐阜 尾藤伸治 後藤　愛 脇田侑美 吉村征美	熊本 今井彰宏 末綱聡子 今井幸代 前田美順	大阪 谷内貴昭 脇坂　郁 多谷郁恵 今別府香里
少年男子	埼玉 大屋貴司 林　純司 三橋智希 上田拓馬	岡山 西崎文貴行 佐伯祐達也 三宅達樹 米元優樹	滋賀 藤上良信 早崎修平太 田中昭士 川下剛士
少年女子	青森 髙屋　仁 本間ちさと 藤井瑞希 垣岩令佳	埼玉 田部井秀郎 井上春奈 富永翔子 作山智美	石川 車　浩明 浜中麻亜子 樽野　恵 南出なつき

第６１回　平成１８年　のじぎく兵庫国体　兵庫県　宝塚市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 劉　志遠	埼玉	中條　彪 仲尾修一 井上知也 山田和司	秋田	鈴木理之 佐々木翔 西浦和広 鈕　佳平
成年女子	埼玉	小室恭子 岩脇史子 大熊倫香 広岡まり	熊本	今井彰宏 幡谷好美 今井幸代 岡　ひとみ	岐阜	尾藤伸治 後藤　愛 脇田侑 吉村征美
少年男子	埼玉	大屋貴司 上田拓馬 田児賢一 佐々木啓	福井	木戸口元 松川直弘 笹木里司 川村勝平	熊本	権藤浩二 武山修士 嘉村健士 園田啓悟
少年女子	石川	車　浩明 樽野恵 木村唯菜 南出さき	青森	藤田真人 藤井瑞希 佐々木理恵 垣岩令佳	埼玉	田部井秀郎 大森　舞 三木佑里子 中森理紗

第６２回　平成１９年　秋田わか杉国体　秋田県　美郷総合体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	秋田	鈴木理之 佐々木翔 菅野俊助 鈕　佳平	富山	今泉　勉 平田典靖 劉　志遠 菊田健一	滋賀	酒井良之 数野健太 早川賢一 早崎修平
成年女子	石川	和田　修 田井美幸 梅津知恵 樽野　恵	秋田	鈴木康修 三好奈緒 金上路子 下﨑　彩	神奈川	鶴見和彦 坂田雅美 伊東可奈 内藤真実
少年男子	埼玉	大屋貴司 松丸一輝 田児賢一 和田　周	熊本	権藤浩二 嘉村健士 園田啓悟 今給黎将之	福井	木戸口元 松浦正輝 千京尚将 坂井哲也
少年女子	青森	藤田真人 垣岩令佳 内井快枝 橋本由衣	石川	車　浩明 桜井みどり 村上　彩 三谷美菜津	福岡	明神憲一 栗原文音 植田　悠 古賀さやみ

第６３回　平成２０年　チャレンジ！おおいた国体　大分県　日田市総合体育館
（総合優勝　東京都・熊本県・富山県・青森県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木　純 平田典靖 劉　志遠 古財和輝	東京	笹林義春 早坂幸平 廣部好輝 岩脇峰生	埼玉	中西洋介 井上知也 上田拓馬 松丸一輝
成年女子	熊本	今井彰宏 幡谷好美 藤井瑞希 垣岩令佳	秋田	原田利雄 三好奈緒 金上路子 楠瀬由佳	東京	栂野尾昌一 今別府靖代 伊東可奈 野尻野匡世
少年男子	福岡	北島義浩 末松純二 北野拓 原田和憲	滋賀	藤上良信 矢部拓也 村上俊 宇野賢人	青森	戸祭　潤 北島翼 吉田尚弘 櫻庭弘貴
少年女子	宮城	田所光男 高橋礼華 佐藤冴香 松友美佐紀	青森	藤田真人 橋本由衣 米元小春 佐藤　楓	大阪	谷田尚嗣 西　友理 久後あすみ 福万尚子

第６４回　平成２１年　トキめき新潟国体　新潟県　五泉市総合会館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	笹林義春 廣部好輝 岩脇峰生 山田和司	熊本	村中陽介 武山修三 園田啓悟 嘉村健士	宮城	草井篤 菊田健一 佐藤黎 木戸道治
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛侑 脇田理恵 江藤理恵	秋田	原田利雄 金上路子緒 三好奈佳 楠瀬由佳	大阪	谷内貴昭 森かおり 今別府香里 関谷真由
少年男子	埼玉	大屋貴司 星野翔平 小林晃 長谷川達也	熊本	権藤浩二 嘉村昌俊 坂中賢太 平山涼介	東京	小林重徳 間瀬俊介 高岡透平 鄭圭介
少年女子	青森	藤田真人 佐藤楓 田中志穂 市丸美里	石川	車浩明 三谷美菜津 平野華梨 三納英莉佳	富山	麦谷正二 古西佳那子 高橋沙也加 中尾佳淑

第６５回　平成２２年　ゆめ半島千葉国体　千葉県　野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	千葉	野村和弘 佐藤翔治 山口公洋 川内崇士	東京	坂本修一 廣部好輝 池田雄一行 佐伯祐	富山	荒木純 古財和輝 橋本博且 黒瀬尊敏
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛侑 脇田理恵 江藤理恵	石川	和田修 田井美幸 樽野恵 伊東可奈	兵庫	酒井将之 木村早紀 小椋しのぶ 大迫晴加
少年男子	埼玉	大屋貴司 和田治久気 竹内宏憲 竹内義憲	福島	大堀均 桃田賢斗 松居圭一郎 小森洋佑	大阪	有田圭一 相和勇輝 小高拓也 佐野拓磨
少年女子	埼玉	大高史夫 中村梨沙 小橋霞 奥原希望	愛知	下込貞司 峰歩美 與猶くるみ 城口優里花	富山	麦谷正二 高橋沙也加 古西佳那子 中尾佳淑

第６６回　平成２３年　おいでませ！山口国体　山口県　光市総合体育館（総合優勝　埼玉県・東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	坂本修一 池田雄一 藤田真生 垰畑亮太	富山	荒木純 古財和樹 黒瀬尊敏 銭谷翔	山口	大東真也 山平直樹 松尾光平 米本優樹
成年女子	石川	毛利達彦 三谷美菜津 伊東可奈 桜井みどり	岐阜	尾藤伸治 脇田侑 梅津知恵 江藤理恵	秋田	原田利雄 楠瀬由佳 馬上愛実 下﨑彩
少年男子	福島	大堀均 齋藤太一 桃田賢斗 松居圭一郎	埼玉	大屋貴司 古賀輝 井上拓斗 金子祐樹	東京	小林重徳 関口直挙 森田努 吉川英太郎
少年女子	青森	藤田真人 福島由紀 篠谷菜留 窓場由加奈	埼玉	大高史夫 小橋霞 奥原希望 渡邉あかね	石川	車浩明 芝野真由 木村百花 星千智

第６７回　平成２４年　ぎふ清流国体　岐阜県　池田町総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	埼玉	中條　彪 山田和司 遠藤大由 上田拓馬	富山	荒木　純 園田啓悟 嘉村健士 武下利一	千葉	野村和弘 竹内宏気 大越　泉 松丸一輝
成年女子	岐阜	尾藤伸治 後藤　愛 脇田侑 江藤理恵	東京	岩田良子 今別府靖代 田村千秋 土井杏奈	石川	毛利達彦 伊東可奈 樽野恵 三谷美菜津
少年男子	埼玉	大屋貴司 井上拓斗 金子祐樹 西本拳太	福島	大堀均斗 桃田賢一郎 松居圭一 保木卓朗	滋賀	仲尾修一 河崎駿輔 三津川剛史 宮雄大
少年女子	埼玉	山田秀樹 奥原希望 渡邉あかね 中西貴映	青森	藤田真人 永田麗 中村恭子 宮浦玲奈	富山	松田高幸 山口ソヨカ 松田蒼 野上碧水

第６８回　平成２５年　スポーツ祭東京２０１３　東京都　町田市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木　純 佐々木翔 園田啓悟 嘉村健士	埼玉	中西洋介 遠藤大由 山田和司 和田周	東京	坂本修一 数野健太 上田拓馬 早川賢一
成年女子	東京	清水文武華 髙橋礼華 松友美佐紀 土井杏奈	熊本	吉冨桂子美 峰歩由紀 福島由紀 廣田彩花	岐阜	山田青子 脇田侑 江藤理恵 山本紗椰
少年男子	埼玉	大屋貴司 五十嵐優 中里裕貴 小野寺裕介	大阪	有田圭一 下農山走太 常山幹聖 疋田聖也	福岡	成富勝彦 成富勇太巳 原口拓生 馬場湧
少年女子	青森	藤田真人 宮浦玲奈 永田麗 永原和可那	埼玉	山田秀樹 中西貴映望 清水里 川島里羅	富山	越田芳成 松田蒼 金浦紗樹幸 中村

第６９回　平成２６年　長崎がんばらんば国体　長崎県　長崎市民会館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	石川	長谷川進 伊東克範 坂井一将 小林晃	北海道	小倉隆司 竹村純 佐々木翔 島田大輝	東京	坂本修一 数野健太 垰畑亮太 堀内研人
成年女子	熊本	今井彰宏奈 伊東可紀 福島由紀 廣田彩花	兵庫	酒井将之 大迫晴加 平野華梨 杉野文保	東京	内藤祐輔奈 土井杏子 鈴木温 板垣有紀
少年男子	大阪	有田圭一 下農走 小倉由嵩 常山幹太	埼玉	大屋貴司 玉手勝輝 中田政秀 渡邉航貴	福島	大堀均 古賀穂 渡辺勇大 三橋健也
少年女子	福島	本多裕樹 大堀彩 東野有紗 川上紗恵奈	青森	藤田真人 安田美空 園田絵里奈 荒木茜羽	埼玉	堂下智寛 川島里羅 尾﨑沙織 西口涼子



競技記録

種　　別 ：（ 成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子 ）
試合番号 ：

	県				県
種目	選　手　名	ス　コ　ア			選　手　名
複			ー ー ー		
単1			ー ー ー		
単2			ー ー ー		

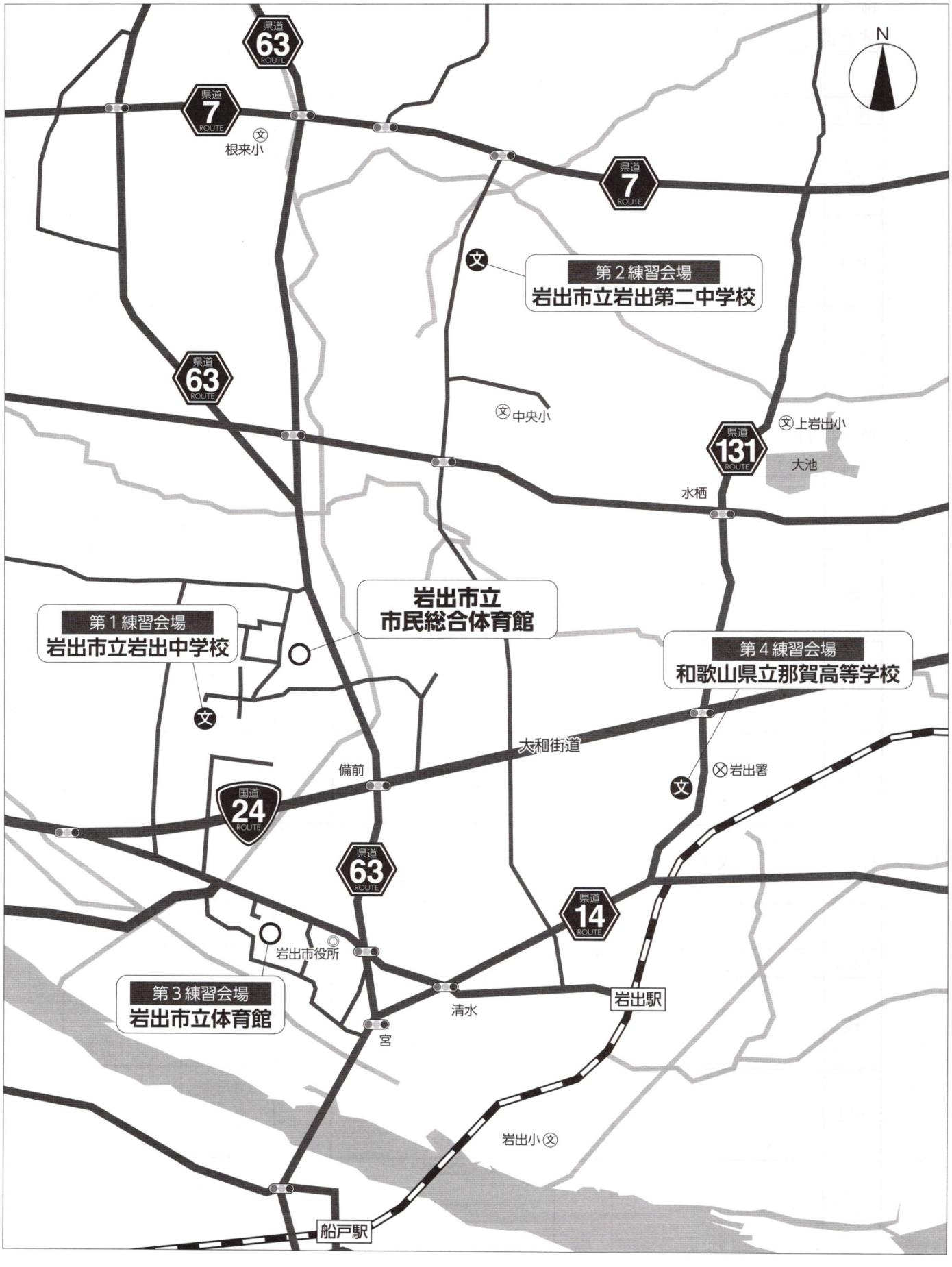
種　　別 ：（ 成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子 ）
試合番号 ：

	県				県
種目	選　手　名	ス　コ　ア			選　手　名
複			ー ー ー		
単1			ー ー ー		
単2			ー ー ー		

種　　別 ：（ 成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子 ）
試合番号 ：

	県				県
種目	選　手　名	ス　コ　ア			選　手　名
複			ー ー ー		
単1			ー ー ー		
単2			ー ー ー		

競技会場・練習会場案内図



会場図



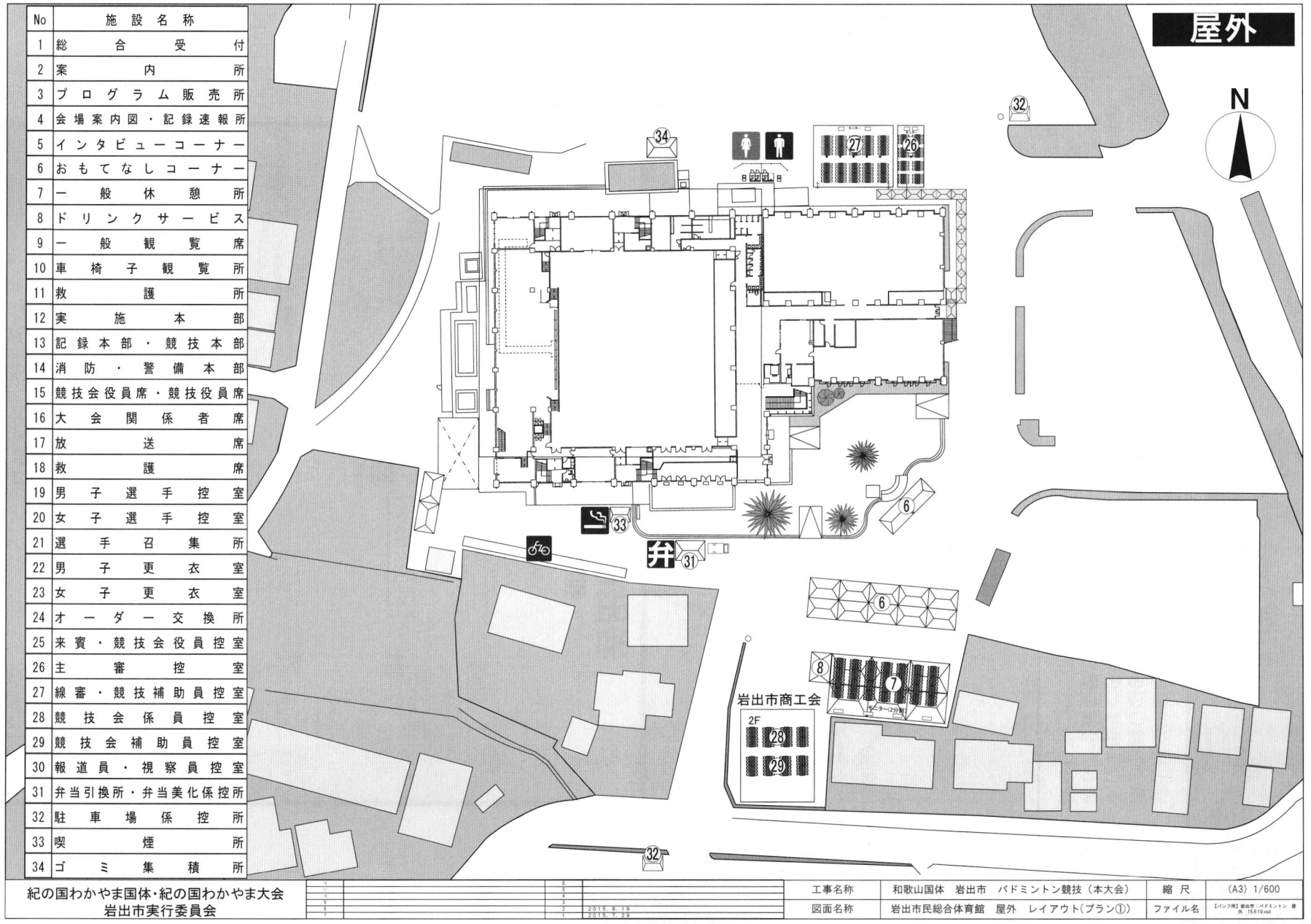
岩出市立市民総合体育館

和歌山県岩出市荊本63−2



競技会場配置図（屋外）

No	施設名称
1	総合受付
2	案内所
3	プログラム販売所
4	会場案内図・記録速報所
5	インタビューコーナー
6	おもてなしコーナー
7	一般休憩所
8	ドリンクサービス
9	一般観覧席
10	車椅子観覧所
11	救護所
12	実施本部
13	記録本部・競技本部
14	消防・警備本部
15	競技会役員席・競技役員席
16	大会関係者席
17	放送席
18	救護席
19	男子選手控室
20	女子選手控室
21	選手召集所
22	男子更衣室
23	女子更衣室
24	オーダー交換所
25	来賓・競技会役員控室
26	主審控室
27	線審・競技補助員控室
28	競技会係員控室
29	競技会補助員控室
30	報道員・視察員控室
31	弁当引換所・弁当美化係控所
32	駐車場係控所
33	喫煙所
34	ゴミ集積所

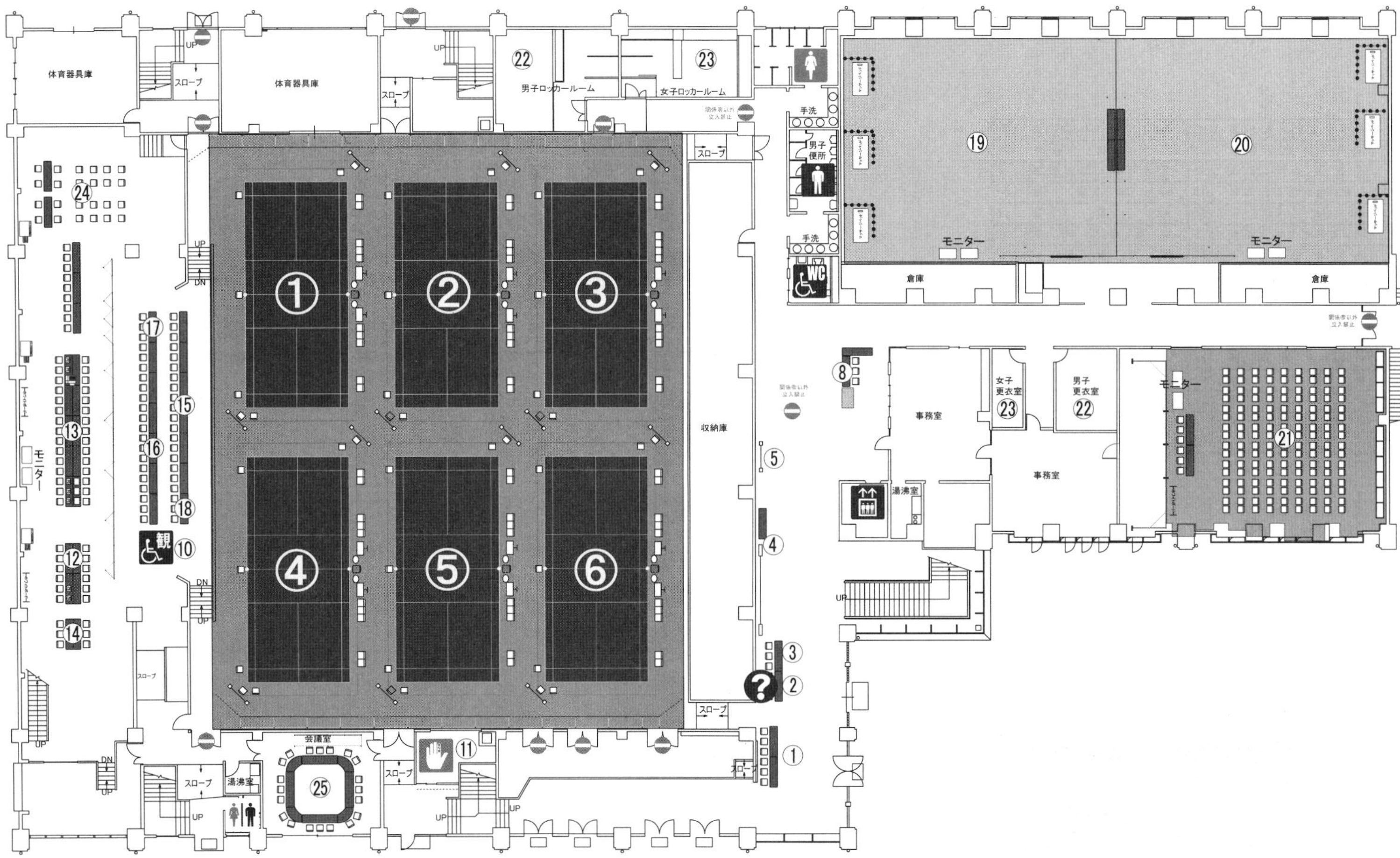


紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
岩出市実行委員会

工事名称	和歌山国体　岩出市　バドミントン競技（本大会）	縮尺	(A3) 1/600
図面名称	岩出市民総合体育館　屋外　レイアウト(プラン①)	ファイル名	【パンフ用】岩出市_バドミントン_屋外_150819.vwx

2015.8.19
2015.7.29

競技会場配置図（1F）



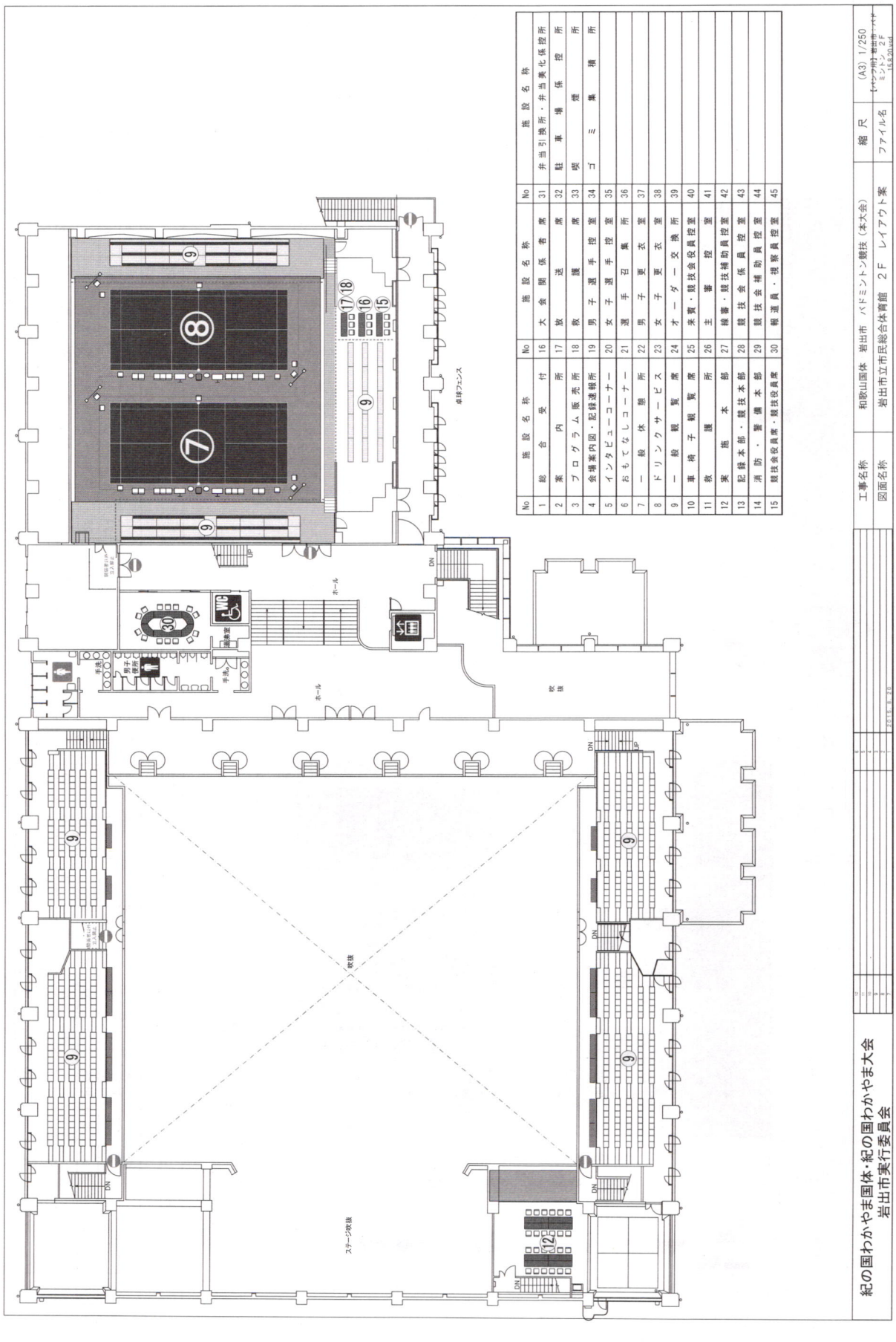
No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称	No	施設名称
1	総合受付	8	ドリンクサービス	15	競技会役員席・競技役員席	22	男子更衣室	29	競技会補助員控室
2	案内所	9	一般観覧席	16	大会関係者席	23	女子更衣室	30	報道員・視察員控室
3	プログラム販売所	10	車椅子観覧所	17	放送席	24	オーダー交換所	31	弁当引換所・弁当美化係控所
4	会場案内図・記録速報所	11	救護所	18	救護席	25	来賓・競技会役員控室	32	駐車場係控所
5	インタビューコーナー	12	実施本部	19	男子選手控室	26	審判員控室	33	喫煙所
6	おもてなしコーナー	13	記録本部・競技本部	20	女子選手控室	27	競技補助員控室	34	ゴミ集積所
7	一般休憩所	14	消防・警備本部	21	選手召集所	28	競技会係員控室	35	

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
岩出市実行委員会

工事名称	和歌山国体　岩出市　バドミントン競技（本大会）	縮尺	(A3) 1/250
図面名称	岩出市立市民総合体育館　1F　レイアウト案	ファイル名	【パンフ用】岩出市 バドミントン 1F 15.8.20.vsd

2015.8.20

競技会場配置図（2F）


No 施設名称
1 総合受付
2 案内所
3 プログラム販売所
4 会場案内図・記録速報所
5 インタビューコーナー
6 おもてなしコーナー
7 一般休憩所
8 ドリンクサービス
9 一般観覧席
10 車椅子観覧席
11 救護所
12 実施本部
13 記録本部・競技本部
14 消防・警備本部
15 競技会役員席・競技役員席
No 施設名称
16 大会関係者席
17 放送席
18 救護席
19 男子選手控室
20 女子選手控室
21 選手召集所
22 男子更衣室
23 女子更衣室
24 オーダー交換所
25 来賓・競技会役員控室
26 主審控室
27 検審・競技補助員控室
28 競技会係員控室
29 競技会補助員控室
30 報道員・境界員控室
No 施設名称
31 弁当引換所・弁当売店係控所
32 駐車場係控所
33 喫煙所
34 ゴミ集積所
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
ホール
吹抜
卓球アミ
ステージ吹抜
工事名称 和歌山国体 岩出市 バドミントン競技（本大会）
図面名称 岩出市立市民総合体育館 2F レイアウト案
縮尺 (A3) 1/250
ファイル名 【メンテ用】岩出市_バドミントン_2F_150220.vwx
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会
岩出市実行委員会



練習会場の使用について

1　練習会場一覧

会場番号	練習会場名	コート数	会場住所
第１練習会場	岩出中学校体育館	6	岩出市西野 65
第２練習会場	岩出第二中学校体育館	6	岩出市野上野 155
第３練習会場	岩出市立体育館	9	岩出市西野 264
第４練習会場	那賀高等学校体育館	8	岩出市高塚 115

2　練習会場使用方法

（１）練習会場の開設日時、チーム指定、ブロック指定、自由練習の詳細は、「練習会場使用日程表」をご確認ください。なお、電話による練習会場使用の事前予約は受付していません。大会期間中は、練習会場に行き受付をしてください。

（２）各練習会場には、受付を設けておりますので、受付後、係員の指示に従い練習を行ってください。

（３）練習時間は、チーム指定、ブロック指定、自由練習ともに原則として１チーム１コート１時間 30 分とします。ただし、空きコートの待ちチームがない場合は、練習終了後、再受付により引き続き使用できます。

チーム指定	各試合毎に練習会場、コート、時間が指定されています。指定チーム以外は、コートが空いていても練習はできません。（練習会場使用日程表表示例：Ｍ１→成年男子試合番号１）
ブロック指定	ブロック毎に練習会場が割り振られています。ブロック外のチームの練習はできません。（練習会場使用日程表表示例：○○ブロック）
自由練習	どのチームでも練習ができます。コートに空きがあれば、先着順で練習できます（練習会場使用日程表表示例：自由練習）

3　練習会場使用上の注意点

（１）各練習会場には、それぞれの会場の注意点がありますので、次ページ以降の概要図にあります「会場使用上の注意」をご確認の上、ご利用ください。練習会場は学校施設が多く、平日は通常通り授業が実施されておりますので、ご協力をお願いします。
（２）貴重品のほか個人及びチームの所有物は、各自及びチームで責任をもって保管してください。
（３）ゴミは各自でお持ち帰りください。

練習会場　使用日程表

期日・時間 ＼ 会場名		第1練習会場 岩出中学校						第2練習会場 岩出第二中学校体育館						第3練習会場 岩出市立体育館									第4練習会場 那賀高等学校体育館							
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8
9月30日(水)	13:00～14:30	東北・関東ブロック						近畿・九州ブロック						北海道・北信越・東海 中国・四国ブロック									閉鎖							
	14:30～16:00																													
	16:00～17:00																													
10月1日(木)	9:00～10:30	関東ブロック 和歌山少年男女						九州ブロック 和歌山成年男女						東北・北信越・中国 四国ブロック									北海道・東海・近畿ブロック							
	10:30～12:00																													
	12:00～13:30																													
10月2日(金)	7:30～ 8:30	W1	W1	W2	W2	W3	W3							W4	W4	W5	W5	W6	W6	W7	W7									
	8:30～ 10:00	W8	W8	W9	W9	W10	W10							W11	W11	W12	W12	W13	W13	W14	W14		W15	W15						
	10:00～11:30	B1	B1	B2	B2	B3	B3	東北、中国、九州 ブロック						B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7	東海ブロック	B8	B8	北海道・関東・北信越・ 近畿・四国ブロック					
	11:30～13:00	B9	B9	B10	B10	B11	B11							B12	B12	B13	B13	B14	B14	B15	B15		B16	B16						
	13:00～14:30	W16	W16	W17	W17	W18	W18							W19	W19	W20	W20	W21	W21	W22	W22		W23	W23						
	14:30～16:00	W24	W24	W25	W25	W26	W26							W27	W27	W28	W28	W29	W29	W30	W30		W31	W31						
10月3日(土)	7:30～ 8:30	G1	G1	G2	G2	G3	G3	閉鎖						G4	G4	G5	G5	G6	G6	G7	G7		G8	G8	自由練習					
	8:30～ 10:00	M1	M1	M2	M2	M3	M3							M4	M4	M5	M5	M6	M6	M7	M7		M8	M8						
	10:00～11:30	B17	B17	B18	B18	B19	B19							B20	B20	B21	B21	B22	B22	B23	B23		B24	B24						
	11:30～13:00	W32	W32	W33	W33	W34	W34							W35	W35	W36	W36	W37	W37	W38	W38		W39	W39						
	13:00～15:00	自由練習																												
10月4日(日)	7:30～ 8:30	G9	G9	G10	G10	G11	G11	閉鎖						G12	G12	M9	M9	M10	M10	M11	M11		M12	M12	自由練習					
	8:30～ 10:00	W40	W40	W41	W41	W42	W42							W43	W43	B25	B25	B26	B26	B27	B27		B28	B28						
	10:00～11:30	G13		G13	G14		G14							M13		M13		M14		M14										
	11:30～13:00	W44		W44	W45		W45							B29		B29		B30		B30										
10月5日(月)	7:30～ 8:30	W46		W46	B31		B31	閉鎖						M15		M15		G15		G15			閉鎖							
	8:30～ 10:00	W47		W47	B32		B32							M16		M16		G16		G16										

ブロック練習については、申込みが多い場合に1コマの時間を９０分から変更する場合があります。



第１練習会場【岩出市立岩出中学校】概要図

練習会場所在地　　和歌山県岩出市西野65

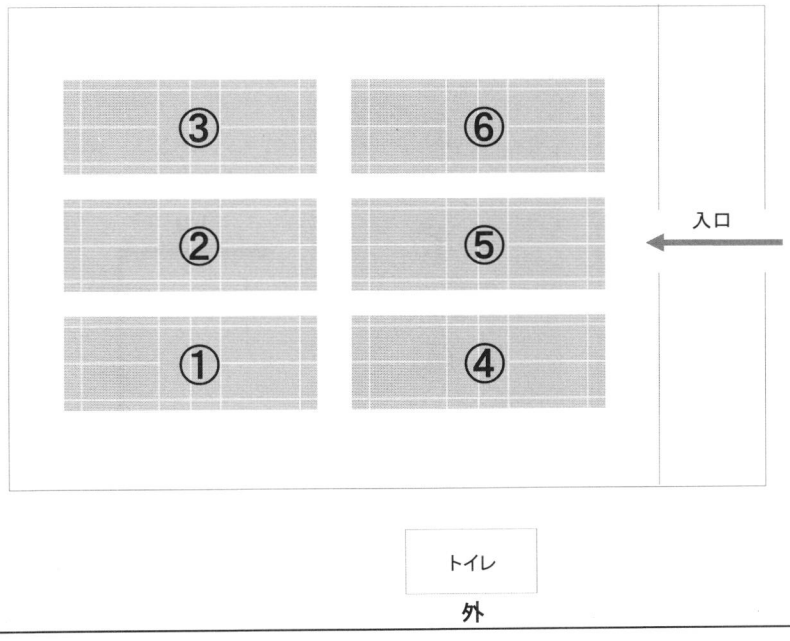
【会場使用上の注意】

駐　車　場	会場には駐車場はありません。競技会場から徒歩でお越しください。
喫　煙　場　所	学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	体育館内に更衣室・トイレはございません。体育館外のトイレを使用ください。
水分補給・食事	体育館内での食事は禁止です。体育館内は、フタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	体育館以外の施設利用者の利用の妨げとならないようご協力をお願いいたします。

【会場周辺図】



【体育館内配置図】



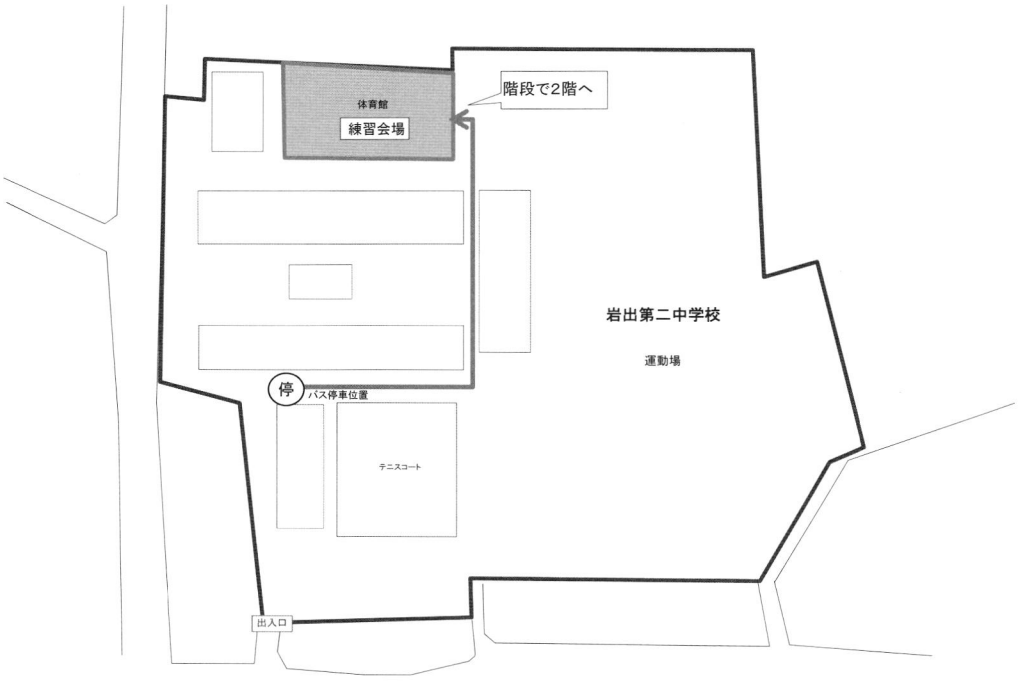
第２練習会場【岩出市立岩出第二中学校】概要図

練習会場所在地　　和歌山県岩出市野上野155

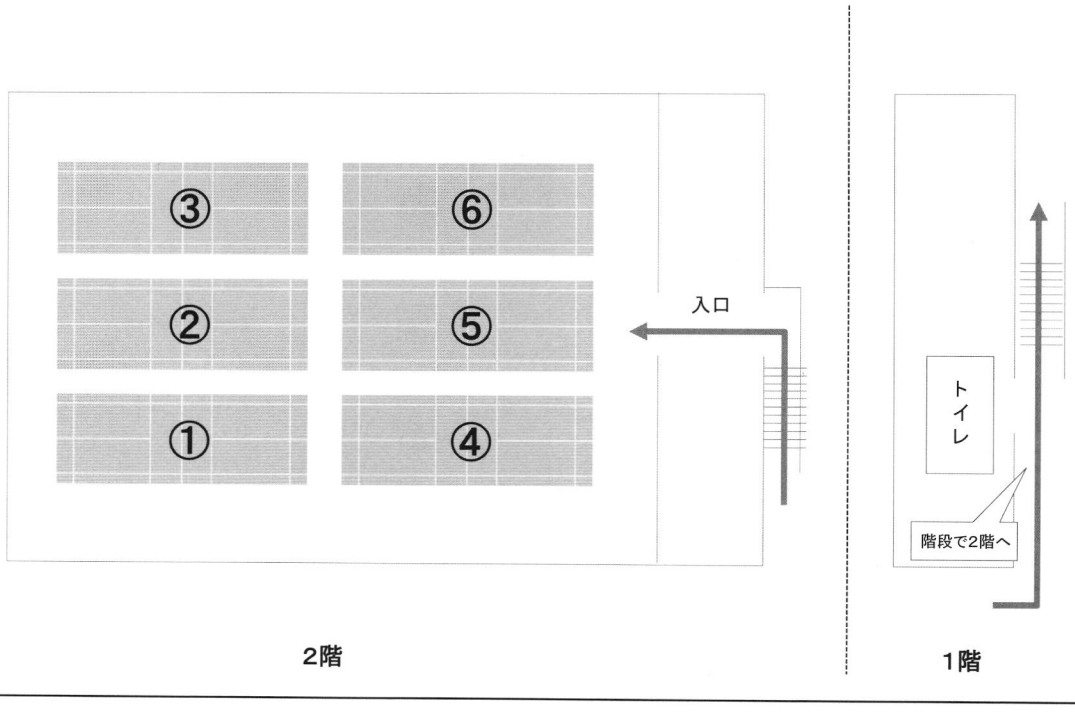
【会場使用上の注意】

駐車場	会場には駐車場はありません。計画輸送バスをご利用ください。
喫煙場所	学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
トイレ	体育館内に更衣室・トイレはございません。１Ｆトイレを使用ください。
水分補給・食事	体育館内での食事は禁止です。体育館内は、フタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	体育館以外の施設利用者の利用の妨げとならないようご協力をお願いいたします。

【会場周辺図】



【体育館内配置図】





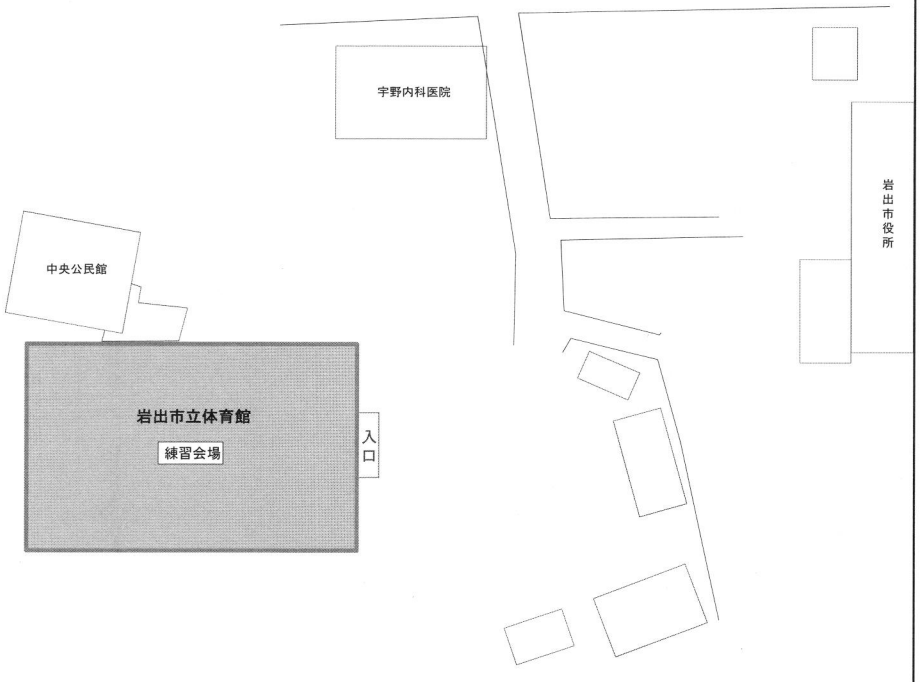
第３練習会場【岩出市立体育館】概要図

練習会場所在地　　和歌山県岩出市西野264

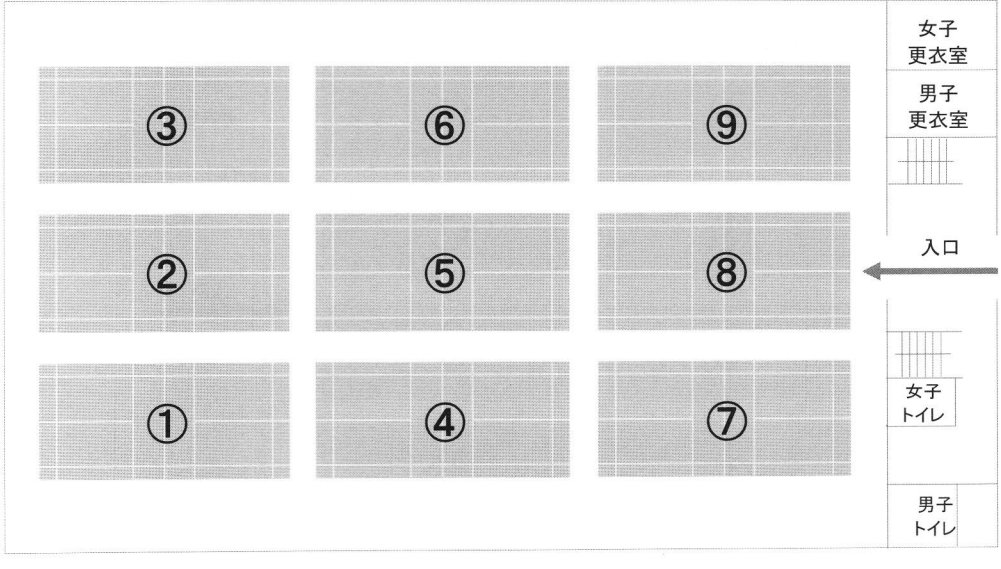
【会場使用上の注意】

駐　車　場	会場には駐車場はありません。計画輸送バスをご利用ください。
喫　煙　場　所	体育館内は全面禁煙です。喫煙は体育館外でお願いします。なお、吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
更衣室・トイレ	体育館内の更衣室・トイレを使用ください。
水分補給・食事	体育館内での食事は禁止です。体育館内は、フタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	体育館以外の施設利用者の利用の妨げとならないようご協力をお願いいたします。

【会場周辺図】



【体育館内配置図】



第４練習会場【和歌山県立那賀高等学校】概要図

練習会場所在地　　和歌山県岩出市高塚115

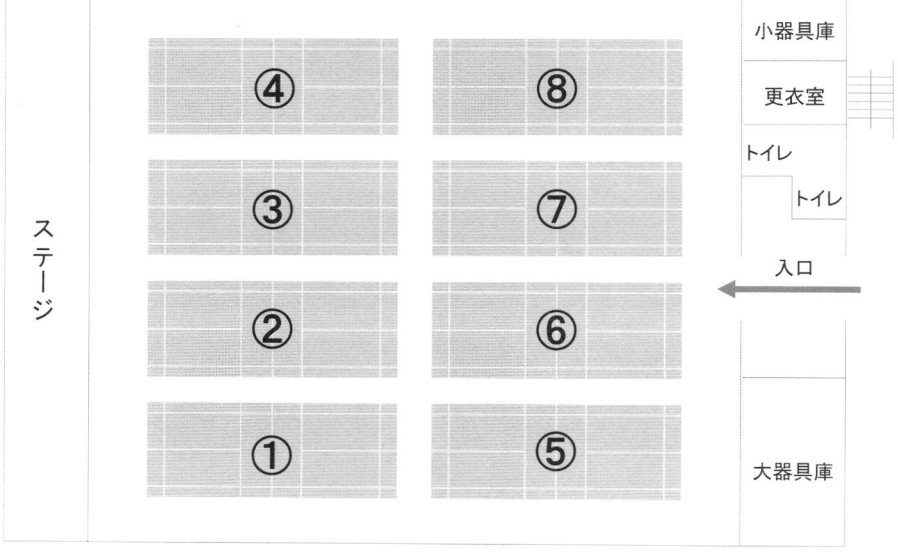
【会場使用上の注意】

駐車場	会場には駐車場はありません。計画輸送バスをご利用ください。
喫煙場所	学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	体育館内の更衣室・トイレを使用ください。
水分補給・食事	体育館内での食事は禁止です。体育館内は、フタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	体育館以外の施設利用者の利用の妨げとならないようご協力をお願いいたします。

【会場周辺図】



【体育館内配置図】





競技上の注意

1　本競技会は、公益財団法人日本バドミントン協会「平成２７年度　競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程」により実施します。

2　オーダー用紙は、当該対抗戦開始時刻４５分前までに、監督がオーダー交換所へ提出し、交換すること。

しかし、４５分前の時点で前の対抗戦が継続している場合は、試合終了後速やかに提出すること。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」と見なされる場合があります。

（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長・総務副部長の立ち合いのもと行います。

※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（２）オーダー用紙は、初戦対抗戦分を監督会議時に配布します。

（３）各対抗戦終了後、勝利チームに次試合用のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２試合先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は打ち切ります。

4　監督・選手は、対抗戦開始予定時刻２０分前迄に選手集合所に集合完了して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。

ただし、その時点で前の対抗戦が継続している監督・選手は試合が終了次第、ただちにオーダー用紙の交換を行い、選手集合所に集合して、招集委員の確認・指示を受けること。この場合、オーダー用紙を交換して２０分後に次の試合の入場を行う。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、試合ごとに、ダブルスはパートナー同士、シングルは対戦者同士により、２分以内の練習を認めます。

7　シャトルは、公益財団法人日本バドミントン協会「第１種検定合格のシャトル」を使用します。また、シャトルは試打してありますので、銘柄等の選択変更には応じられません。

※使用中のシャトルの交換については、主審の許可を得てください。

8　インターバルは、競技規則第１６条第２項によります。

インターバル中、コートに入れるのは当該プレーヤーのほか、ベンチ入り出来る２名までとするが、「２０秒」のコールがなされたら、当該プレーヤー以外は速やかにコートから離れてください。

なお、第１ゲームと第２ゲームの間及び第２ゲームと第３ゲームの間並びに第３ゲームのインターバルでは、プレーヤーがエンドを替えた後に入るようにしてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみを認めますが、その場合は必ず主審に申し出て、速やかにお願いします。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
※第２シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して１０分後に開始します。

11　試合の進行状況により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、競技役員長（レフェリー）または競技審判部長（デピュティレフェリー）が必要と認める医療役員・競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央（縦 15ｃｍ・横 30ｃｍ範囲以内）に、必ず都道府県名のみを明示（文字は、上衣の色と明確に区別できる文字色の漢字）してください。
また、試合前の公式練習を含め、ベンチに控えている際にもチーム名の表示のある上衣を着用すること。監督も競技にふさわしい着装で臨むこと。〔公認審判員規程第 3 条第 5 項（6）②〕。

14　水分の補給については、主審の指示に従ってください。
（１）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）ベンチ内の給水ボトルは必ずバック等に保管して置いてください。
※クーラーボックスの持ち込みはご遠慮ください。また、氷のうの使用はインターバル中のみ認めます。使用後は必ずバッグ等に保管してください。

15　各試合（ダブルス又は、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心掛けてください。

16　競技フロアでは、タブレット端末の使用及び携帯電話は使用を禁止いたします。携帯電話は電源を切るか、マナーモードにすること。

17　記録速報箱は１階体育館ロビーに設置しています。

18　ベンチからの写真撮影は禁止します。

19　選手の荷物等は、各自持参で入退場してください。

20　温度環境維持のため、空気調整装置（エアーコンディショナー）を使用する場合があります。

21　本競技会では、特段に「会場ルール」は定めていません。

22　その他、国民体育大会競技実施要項を遵守してください。



審判上の注意

1　審判員は、公益財団法人日本バドミントン協会「平成２７年度　競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程」にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第１３条（フォルト）、第１６条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えないインターバルを認める。また、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバルを認める。［競技規則第１６条第２項］

4　プレーヤーは、どんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。［競技規則第１６条第４項］
　ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、インプレー中以外は主審の許可を得て指示に従わなければならない。

5　マッチ（試合）中のシャトルがインプレーでない場合に限り、プレーヤーはアドバイスを受けることができる。［競技規則第１６条第５項(1)］
　監督・選手などが、インプレー中に当該プレーヤーに対して、アドバイスすることは認められない。

6　プレーヤーは、競技規則第１６条第２項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。［競技規則第１６条第５項(2)］
　マッチ（試合）中、プレーヤーは汗拭きやそれに伴う水分補給などにより、プレーが遅延したり、コートを離れる場合は、主審の許可を得なければならない。

7　プレーヤーが競技規則第１６条第４項（１）（プレーの遅延）・第５項（２）（アドバイスとコートを離れる事に関して）・第６項（プレーヤーの禁止行為）に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに「警告」（イエローカード）する。また、一度「警告」を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドに「フォルト」（レッドカード）する。一つのサイドによる二度目の「フォルト」は執拗な違反と見なす。また、一度「警告」受けた違反を再度行った場合も執拗な違反と見なす。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反、競技規則第１６条第２項（インターバル）の違反には、その違反したサイドを「フォルト」とし、直ちに競技役員長（レフェリー）に報告する。競技役員長（レフェリー）は違反したサイドをそのマッチ（試合）から失格させる事ができる。［競技規則第１６条第７項］

8　主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更することができる。［競技規則第１７条第５項］

9　審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することが認められる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。［大会運営規程第３６条］



昼食弁当の斡旋について

紀の国わかやま国体岩出市開催競技に参加される選手・監督の皆さんの昼食弁当を斡旋（あっせん）します。

お申込みについては、下記をご覧いただき、指定の申込み方法でお申込みください。

1　弁当料金

１個　９００円（消費税込/お茶、割り箸・爪楊枝、お手拭き付）

2　斡旋対象日

平成２７年１０月２日（金）～１０月５日（月）

3　弁当の申込み

【申込みについて】

競技２日目以降分の申込み方法（競技会場内の弁当引換所での申込み）

（１）弁当を必要とする日の前日に、競技会場の弁当引換所にて、弁当申込書に必要事項を記入のうえ、代金を添えて申込みをお願いいたします。（申込書は、弁当引換所にご用意しています。）なお、代金お支払い時にはつり銭の出ないようご用意願います。

（２）申込み後に、領収書を発行いたします。

（３）申込み受付時間は、午前１１時から当日の最終試合終了後３０分後までとします。

4　弁当の引換

（１）弁当の引換は、各競技会場の弁当引換所のみで行います。

（２）弁当引換所での引換時間は、１１：００～１３：３０までです。

（３）弁当は「弁当引換券」と交換します。再発行できませんので、紛失等にご注意ください。

（４）１３：３０を過ぎての引換は行いません。その場合、弁当料金の払い戻しも行いませんのでご注意ください。

（５）食後、弁当ガラは、１５：００までに弁当引換所までご持参ください。

【お願い】

（１）弁当の消費期限は１４：００ですが、引換後は消費期限にかかわらず、お早めにお召し上がりください。

（２）弁当の持ち帰りは、衛生上の問題のため、絶対にしないでください。



医療救護について

1　競技会場での対応

（1）　競技会場に救護所を設置します。救護所内には医薬品及びＡＥＤを配備します。

（2）　看護師を配置し、応急処置を行います。症状により必要と認めたときは、医療機関に救急搬送しますので、必ずチームの関係者が同行してください。

（3）　医療機関に救急搬送されて治療を受ける場合は、救護所で交付する「処置記録兼診療依頼書」及び「健康保険証」を医療機関の受付に提示してください。

※ 処置記録兼診療依頼書とは…患者の情報、症状や救護所での処置内容等を、岩出市実行委員会から搬送先医療機関に的確に伝達し、診療をお願いする書類です。

2　練習会場での対応

医療機関での治療が必要な場合は、上記１と同様に、必ずチームの関係者が同行してください。この際には、「処置記録兼診療依頼書」の交付はありません。

3　宿舎での対応

（1）　直接宿舎に申し出て医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急自動車の手配を依頼してください。なお、医療機関に搬送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

（2）　医療機関で治療を受ける場合は、「健康保険証」を提示してください。

4　医療費の負担について

救護所で行う応急処置及び救急自動車に要する費用は無料ですが、タクシー等を利用した場合の交通費は自己負担となります。

また、医療機関で治療を受けた費用は、受診者負担となりますので、必ず健康保険証を持参してください。

※「健康保険証」を提示しないで受診した場合の医療費は、全額が受診者の負担となりますのでご注意願います。



輸送について

1　輸送について

（1）輸送方法

宿泊地から競技会場及び各練習会場には計画輸送バスでの移動となります。

（2）輸送対象

「選手・監督」のみを輸送対象とします。

（3）輸送区間

ア　競技日及び公式練習日

「宿泊地」⇔「競技会場」⇔「練習会場」

イ　監督会議日

「宿泊地」⇔「監督会議会場」

「競技会場」⇒「監督会議会場」

2　駐車場について

（1）競技会場

来会調査時に持込車両を希望される選手・監督には「駐車許可証」を発行していますので指定の駐車場をご利用ください。

（2）練習会場

練習会場には、駐車場はありませんので、移動は競技会場からの計画輸送バスをご利用ください。持込車両（自家用車やレンタカー等）での移動はできません。

（3）監督会議会場

監督会議会場には、無料駐車場がありますのでご利用ください。

（4）宿舎

宿舎の駐車場の有無については、各宿舎によって異なりますので、宿泊先が決定後、必要に応じて宿泊先へお尋ねください。



関係機関連絡先一覧表

◎実行委員会事務局

名　称	所　在　地	電話番号
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 岩出市実行委員会（岩出市 市長公室 国体推進室）	〒649-6235 岩出市西野215番地	0736-62-2141

◎競技会場

名　称	所　在　地	電話番号
岩出市立市民総合体育館	岩出市荊本63番地の2	0736-62-0370

◎監督会議・審判会議会場

名　称	所　在　地	電話番号
岩出市総合保健福祉センター	岩出市金池92番地	0736-61-2400

◎土曜・休日急病診療（ケガ除く）

名　称	所　在　地	電話番号
那賀医師会休日急患診療所	紀の川市東大井350番地	0736-77-6410

◎近隣病院問い合わせ

名　称	所　在　地	電話番号
那賀消防組合消防本部	岩出市中迫154番地	0736-61-0119

◎警察・消防等

分　類	名　称	所　在　地	電話番号
警察	岩出警察署	岩出市高塚１９８番地の１	0736-63-0110
消防・救急	那賀消防組合消防本部	岩出市中迫１５４番地	0736-61-0119
保健所	岩出保健所	岩出市高塚２０９番地	0736-61-0020

◎タクシー案内

名　称	所　在　地	電話番号
岩出タクシー（有）	岩出市清水401番地の6	0736-62-2181
（有）根来タクシー	岩出市根来1266番地の5	0736-62-4351
船戸タクシー（株）	岩出市船戸177番地	0736-62-2248
和歌山第一交通（株）岩出営業所	岩出市清水468番地の6	0736-62-0961

岩出市観光情報

ようこそ 岩出市 へ

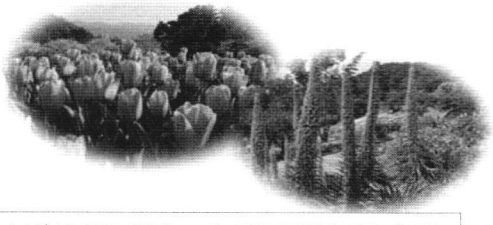
～Welcome to IWADE city～



根來寺

新義真言宗の総本山。
高野山の学僧でもあった覚鑁(かくばん)上人によって開創され、開山以来、約900年の伝統を誇り、山内には日本最大の木造の「大塔」のほか、大伝法堂には重要文化財の本尊大日如来・金剛薩埵・尊勝仏頂の三体が奉安されています。
およそ350万㎡の境内を有し、史蹟・根來寺境内は中世のたたずまいを残し四季折々、桜・新緑・紅葉が変化に富み多く参拝者の目を楽しませてくれます。

和歌山県植物公園
緑花センター



さまざまな草花で彩られ、一年中楽しめる植物公園。寄せ植え体験やクラフト体験などのイベントや、遊び場がたくさんあり、小さいお子様からお年寄りまで、幅広い方々に楽しんでいただける場所です。

旧県議会議事堂（通称 一乗閣）
ねごろ歴史資料館



明治時代に県議会議事堂として建てられ永らく根來寺境内で「一乗閣」として親しまれた和風建築の建物を、建築当時の姿に復原。
その隣には、埋蔵文化財出土品や絵図をもとに現在と最盛期の根來寺とを対比的に見せるガイダンス施設を建築中。
（平成28年4月オープン予定）



根来さくらの里

根来さくらの里では、農産物や山菜を直売しています。
朝採りの新鮮さ、作り手の顔が見える安心・安全な農産物の他、見た目にとらわれず、流通コスト抜きの低価格が魅力です。

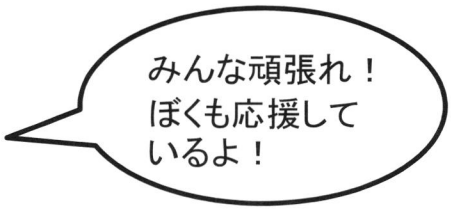
おいしい新米をご用意しています。ぜひご賞味ください。



肉厚で辛みが少ないジャンボな獅子唐。根來寺の「大塔」と“お値頃”をかけて中芝市長が命名しました。

岩出市 特産 ねごろ大唐





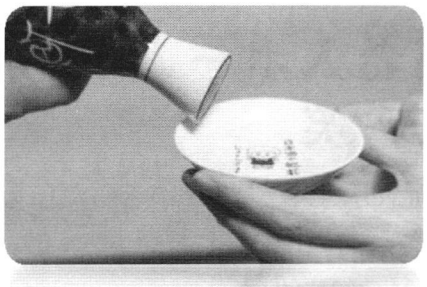
岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

岩出市のウェブサイトはこちらから！→

◆伝統の味や技も楽しめる！◆

日本酒で乾杯！

岩出市は、日本酒での乾杯を奨励しています。
緑豊かな自然や田園風景がひろがるまちで
日本酒を楽しんでください！



根来塗り

岩出市は、近代漆器のルーツといわれる根来塗りの
発祥の地です。是非、伝統文化に触れてみてください。



◆おしゃれなカフェやイタリアンが豊富！◆

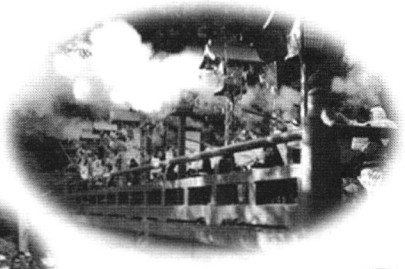
岩出市内には、カフェやイタリアンのお店がたくさんあります♪
地元の野菜を使った料理を提供してくれるお店や、外観や内装が素敵なお店など、
こだわりのお店が盛りだくさん。
ぜひ、市内を散策して、お気に入りのお店を見つけてください。



◆こんなイベントもあります！◆

かくばん祭り（11月）

根來寺の開祖である覚鑁(かくばん)上人に由来したお祭り。
紅葉に彩られた境内で、根来鉄砲隊の演武や根来の子守唄など
さまざまなイベントが行われます。



岩出マラソン（3月）

高低差の激しいコースで
あなたの挑戦をお待ちしております！





ぜひとも「岩出」を楽しんでください！

活魚料理　双苑

新鮮な活魚や旬の食材を様々なスタイルで！　新鮮活魚料理はもちろん、和食以外の創作料理やデザートも充実！
田園風景が窓いっぱいに広がる、のどかなロケーションに癒されるお店です！
150 席のゆったり個室のお座席や職人と語らうカウンターで美味しいお料理をどうぞ！！

〒643－0004　和歌山県有田郡湯浅町湯浅 2364－1　双苑ビル 2F　定休日　12 月 30、31、1 月 1 日
営業時間　平日 9：00～14：00、17：00～23：00　　土日祝 11：00～14：00、17：00～23：00

社会福祉法人　昭仁会双苑

特別養護老人ホーム　吉備苑

みかんに囲まれた自然豊かなロケーションで、楽しい生活の場を提供いたします。

〒643－0022　和歌山県有田郡有田川町大字奥 222－1
TEL：0737－53－2251　FAX：0737－53－2252

地域密着型 特別養護老人ホーム
ハートケア　万笑

豊かな緑に包まれた景観とゆったりした空間は、身も心も癒し生活に潤いをもたらします。

〒643－0022　和歌山県有田郡有田川町大字奥 1026－1
TEL：0737－23－7423　FAX：0737－23－7424

特別養護老人ホーム　しみず園

清らかな川の流れと澄んだ空気。自然に囲まれた癒しの空間で身も心もリラックス。

〒643－0366　和歌山県有田郡有田川町大字粟生 710－4
TEL：0737－23－0839　FAX：0737－23－9050

介護職員、准・正看護師募集。寮あり。詳しくはお問い合わせください。

㈲双苑　高齢者専用住宅

安心ハウス　きのくに館

お部屋は２タイプ。
すっきりワンルーム（シャワー、トイレ別）と、余裕ある 1LDK があります。

〒643－0022　和歌山県有田郡有田川町大字奥 466－1
TEL：0737－52－8411　FAX：0737－52－8611

祝　わかやま国体　皆様のご健闘をお祈りします。

毎週 火曜・土曜は、バドミントンの日!!

サンデー　バドミントン　クラブ　検索

ワイワイ、ガヤガヤ 楽しく練習してまーす!!
初めての方も、経験者の方もお越しください。

◉練習日時：毎週 火・土曜 PM7:30～9:30
◉練習場所：湯浅町 湯浅中学校体育館
◎お問い合わせ… w.sunday.club@gmail.com にご連絡ください。

躍動と歓喜、そして絆

祝

2015紀の国わかやま国体
2015紀の国わかやま大会

輝く栄冠を目指して頑張れ！

選手の皆様のご活躍を
心よりお祈りいたします。



岩出市バドミントンスポーツ少年団
代表　鳥羽孝幸

祝　第70回国民体育大会

2015 紀の国 わかやま国体

躍動と歓喜、そして絆





ようこそ和歌山へ

皆様の御健闘をお祈りします

和歌山県レディースバドミントン連盟

会　長　北畑達哉

つくし	サンデー
友愛	加太
キララ	ミント
あしべ	三田

可能性、はぐくむ

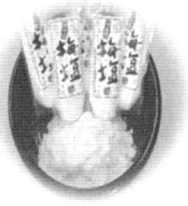
和歌山県福祉事業団

和歌山県福祉事業団の生産品のご紹介

和歌山県福祉事業団の各事業所では、事業所を利用されている方の日中活動の一環として
さまざまな商品の生産・販売を行っています。



梅干し　500g　1200円
　　300g　750円
　　100g　250円



梅塩　250g　280円
　　120g　150円



お米　2kg　900円

※季節限定商品です



クッキー　100円



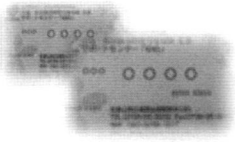
かき餅　80g　320円
　　35g　150円



芋かりんとう　各種
　　400円～



キイジョウロホトトギス
　　700円（3年物）
花苗　1ポット　60円



名刺　20枚　500円～



陶芸品　100円～

ご予算・用途に応じて贈答用のセットもご用意いたします。

和

和歌山県福祉事業団
Wakayama Social Welfare Corporation

〒649-2102　和歌山県西牟婁郡上富田町岩田 2456 - 1

TEL：0739-47-6640　FAX：0739-47-6645

Mail：info@wfj.or.jp　HP：http://www.wfj.or.jp

オンラインストア
「は～とまるしぇ」

「2015紀の国わかやま国体」を応援します







医療法人 爽神堂

七山病院

診療科目　精神科・心療内科・内科・歯科

受付時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	○	○	○	○	○

グループホーム 「ハンモック」「色えんぴつ」
訪問看護ステーション 「あーん」

熊取町七山2-2-1　http://www.7yama.or.jp/
TEL452-1231(代) FAX453-5066

医療法人 爽神堂

介護老人保健施設

アルカディア

介護老人保健施設
・入所サービス・ショートステイ
・通所リハビリテーション

居宅介護支援事業所
アルカディアケアプランセンター

熊取町七山2-2-1　http://arc.soshindo.jp/
TEL452-2430(代) FAX452-7939


表裏異形状
フォアにはフォアの
バックにはバックの
それぞれのカタチ
フォア面／ボックス形状／パワースマッシュ
バック面／エアロ形状／スピードドライブ
DUORA10
NEW | デュオラ10 ／ ¥26,000+税 日本製
YONEX
yonex.co.jp
YONEXBadmintonJapan

選ぶなら、がんの治療に幅広く対応した がん保険。

アフラックは がん保険 契約件数 No.1
平成26年版「インシュアランス生命保険統計号」



はじめてダック

選ぶポイント

1 通院保障
入院はもちろん、
通院※も日数無制限で保障。
※①三大治療のための通院 日数無制限保障
②退院後365日以内の通院 日数無制限保障

2 三大治療保障
がんの主な治療法である
手術・放射線・抗がん剤の
三大治療をしっかり保障。

3 がん専門相談サービス
納得した治療法を
選択するために、
専門家に相談できます。
がん専門相談サービス「プレミアサポート」は㈱法研が提供しているサービスです。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
新 生きるための がん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い
新 生きるための がん保険 レディース Days

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）
ノイエス株式会社
本 社
〒640-8227 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2階
TEL.073-425-0001 FAX.073-428-2650

0120-13-8400

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。
Aflac
アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
和歌山支社
〒640-8342 和歌山市友田町4丁目123番地 紀陽第和歌山ビル5階
【当社商品に関するお問い合わせ・各種お手続き TEL.073-422-6136】

AF広宣課-2014-0028-1507034 8月25日

祝

第７０回　国民体育大会

バドミントン競技会

（紀の国わかやま国体）

出場選手の熱戦を応援します

型枠工事　井手組

〒640-8404 和歌山市湊 1-11-4
TEL : 073(455)1386
FAX : 073(453)1386
H P : 090(3260)1752

井　手　康　滋

Yasushige Ide

歓迎

選手の皆さんの熱戦を期待します

賞状・宛名・フォント(北原行書)・美文字講座

株式会社　美麗書院

代表取締役　北原美麗

〒641-0054　和歌山市塩屋４丁目６－５８

ＴＥＬ／ＦＡＸ　073（445）9583

https://www.facebook.com/birei.kitahara

瞬息攻打

和歌山県選手団の活躍を応援します

和歌山 jr バドミントンクラブ　北原克洋

バドミントンクラブＣｒｏｗｎ　北原惇史

歓迎

第70回国民体育大会

選手の皆様のご健闘をお祈りします

WBA

和歌山県バドミントン協会



2015 紀の国 わかやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年10月2日(金)～10月5日(月)

和歌山県バドミントン協会

会　長	石田　真敏	副会長	津田　充啓
副会長	荒尾　寛	副会長	宇治田文彦
副会長	北畑　達哉	理事長	岩西　壯行

祝　第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）

株式会社

吉村秀雄商店

清酒　日本城　　清酒　車坂　　清酒　亀の歩み

焼酎　黒潮　　焼酎　じゃばら酒　　焼酎　梅酒

〒649-6244　和歌山県岩出市畑毛72番地
電話 0736-62-2121　FAX 0736-62-4457
http://www.nihonsyu-nihonjyou.co.jp

SHIKITEN

株式会社

和歌山式典

貴志川ホール
〒649－6112
紀の川市桃山町調月 2079
☎0736-64-6543

岩出ホール
〒649－6235
岩出市西野 131－1
☎0736-62-8701

0120 FreeDial **0120-976-224**

ホームページ
和歌山葬儀　検索
E-mail:sikiten@if-n.ne.jp

ご宿泊、ご宴会にご利用下さい。

Hotel Itoh

ホテル いとう

〒649-6226　和歌山県岩出市宮８３
TEL.0736-63-0600㈹
FAX.0736-63-0646

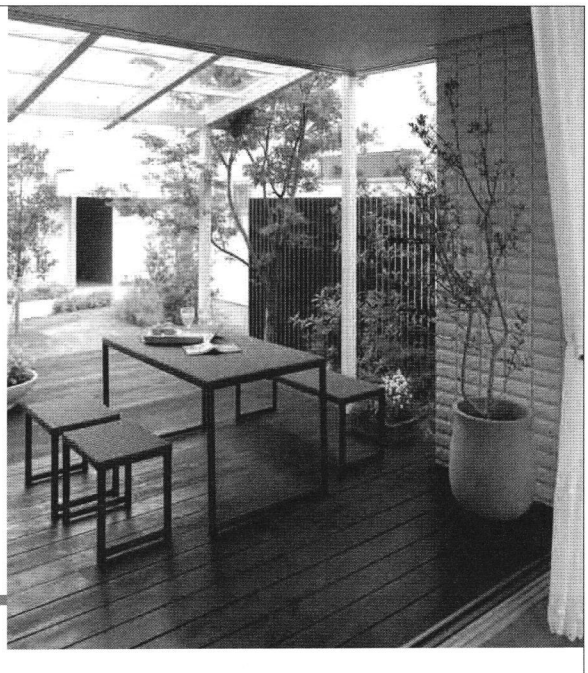
URL:http://www.hotelitoh.jp

TAKASHO

やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。

わたしたち、タカショーグループは
グローバルに「ガーデニング文化創造企業」として
発展しつづけています。



株式会社タカショー

本社：〒642-0017 和歌山県海南市南赤20-1　TEL.073-482-4129
東京本部：〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-14　TEL.03-3238-0532
他、国内15支店・営業所　海外7支店

〈タカショーグループ22社〉
◆国内11社（タカショー含む）　◆海外11社
タカショーグループ22社が私たちの仲間です。

インターネットホームページ
http://takasho.co.jp
JASDAQ
(証券コード7590)

（取り扱いメーカー）

YONEX GOSEN prince Wilson

MIZUNO asics ellesse

バドミントン & テニス専門店

Tenner MiKi SPORTS

営業時間

平　日／ AM10:00～PM8:00
日・祝日／ AM10:00～PM7:00
定休日／毎週火曜

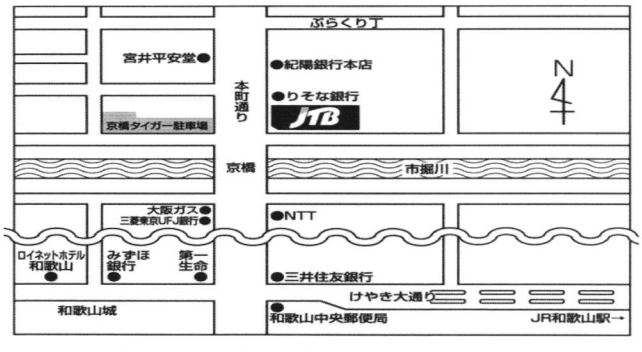
〒640-8024
和歌山市元寺町４－１１
TEL 073-428-3741
FAX 073-428-3743



こんにちは！ＪＴＢ和歌山支店です！

JTB
感動のそばに、いつも。

土曜・日曜も営業しています！



温泉・東京ディズニーリゾートから、
ハワイ・ヨーロッパ・クルーズ旅行まで
「旅」のことなら何でもそろう
ＪＴＢ和歌山支店まで、
ぜひお気軽にご相談ください！



住　所：和歌山市本町1丁目43　　和歌山京橋ビル1Ｆ（交差点の角です）

ＴＥＬ：073-432-5860（個人旅行）10:00～18:00（休業日　木・祝・12/30～1/3）
073-432-1261（団体旅行）9:30～17:30（休業日　土・日・祝・12/30～1/3）

【駐車場のご案内】
①当ビル（南東側）立体駐車場（無料）（車高1.55、幅1.7、長さ5.05m以下のお車のみとなります。）
②支店向かい　京橋・本町タイガーパーキング（有料）
（ご宿泊を伴う3万円以上のご旅行をお申し込みの場合1時間分、乗車券類2万円以上をご購入いただくと半時間分の駐車サービス券をお渡しします。）

9時～15時まで
スタッフがお手伝いします。

スタッフ常駐の
ふわふわかん
コインランドリー

快適
係員が常駐
大型駐車場完備

清潔
抗菌効果で
いつでも清潔

便利
コンビニ感覚で
使えて便利



水栖店　岩出市水栖86-1
TEL. 0736-60-1931

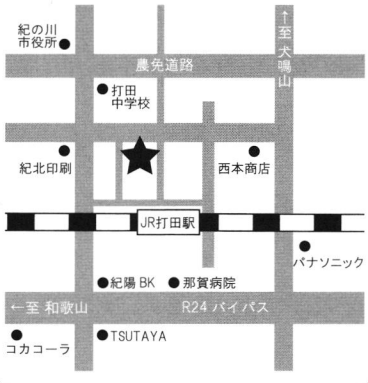


年中無休
営業時間　6：00 ～ 22：00
スタッフ常駐時間　9：00 ～ 15：00

抗菌効果&電解水を使用
プロが使う抗菌剤入り液体洗剤
（洗剤の持込みは不要！！）
湯洗い&ふんわり乾燥

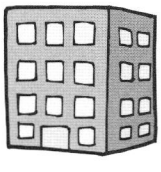


打田駅前店　紀の川市久留壁21
TEL. 0736-60-4028

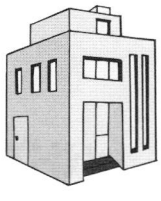


祝

第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）



不動産の賃貸管理等
有限会社 いわにし





岩出市西野340番地
電話　0736－62－3646

祝

第70回国民体育大会
（紀の国わかやま国体）

ボーリング用品（ボール・シューズ・バッグ）
カップ・トリフィ・メダル・バッジ・盾・旗・記念品

トーダ商会

〒641-0002 和歌山市新中島83-4
TEL(073)472-8318
FAX(073)472-8318

祝

第70回国民体育大会
（紀の国わかやま国体）

バドミントン競技に出場される選手の皆様最後の最後まで
あきらめることなく頑張ってください。私達応援してるよ！
（三田バドミントンクラブ）

徳田牧子　尾宇江明子　中嶋誠子　堺千代子
井上美幸　薗﨑豊子　木下由子

120th

とびこえる。



紀陽銀行イメージキャラクター
日本体育大学
児童スポーツ教育学部助教
田中 理恵

わたしたちは、
お客さまの期待を、こえてゆきたい。

わたしたちは、
地域の壁を、こえてゆきたい。

わたしたちは、
銀行という枠を、こえてゆきたい。

銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

AUTOBACS
GROUP

クルマのことなら オートバックス

■スーパーオートバックス岩出	岩出市西野３０	tel. 0736-62-7650
■オートバックスわかやま北	和歌山市狐島２６２－２	tel. 073-451-5656
■オートバックスわかやま南	和歌山市小雑賀西浜畑６６９－１	tel. 073-427-2525
■オートバックス田辺	田辺市新庄町田鶴１６８５－３	tel. 0739-81-2323
■オートバックス新宮佐野	新宮市佐野３丁目１１番１９号	tel. 0735-31-2525
■オートバックス橋本高野口	橋本市伏原１８０－１	tel. 0736-43-0606

ホームページ http://www.autobacs.com

Rotary
岩出ロータリークラブ

国際ロータリー第 2640 地区　岩出ロータリークラブ
〒649-6232　和歌山県岩出市荊本 77-3 商工会館 3 階
Tel & Fax　0736-62-0838
e-mail･iwade-rc@naxnet.or.jp
http://www.naxnet.or.jp/~iwade-rc
例　会　場･岩出市商工会館 2F
例会･毎週木曜日　PM0:30～1:30

会社案内・パンフレット・チラシ・冊子・ポスター・シール
看板・のぼり・懸垂幕・各種印鑑・うちわ・名刺・封筒　等

何でもご用命下さい。

DAISHIN
大伸印刷紙工有限会社

代表取締役　木下 和弘

〒640－0422　和歌山県紀の川市貴志川町岸小野 593 番地 1
TEL（0736）64-2512（代）　FAX（0736）64-6410
E-mail:daishin@sirius.ocn.ne.jp

祝

第70回国民体育大会
（紀の国わかやま国体）

和歌山県小学生バドミントン連盟
会　長　鳥羽　孝幸
理事長　寺村　博之

祝

第70回国民体育大会
（紀の国わかやま国体）

和歌山県中学生バドミントン連盟





紀の川市の名刹『粉河寺』（西国三番札所）



粉河寺本堂（重要文化財）と庭園（国指定名勝）

〒649－6531
和歌山県紀の川市粉河2787

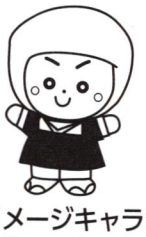
TEL　0736－73－4830
HP　http://www.kokawadera.org/

祝

第70回国民体育大会
（紀の国わかやま国体2015）

スクウェアー





岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

祝



第70回国民体育大会

（紀の国わかやま国体2015）

森本会計事務所

税理士・行政書士　森本芳宣

〒640-8341　和歌山市黒田105-5

電話:073-474-4992　FAX:073-474-4996

E-mail:morimoto.aco@nifty.com

MORIMOTO

選手の皆様の
ご健闘をお祈りします

時計・宝石・メガネ

つだ

和歌山県岩出市清水２５９

TEL 0736−62−9610

ライオンズクラブ国際協 335-B地区 9R2Z

岩出ライオンズクラブ

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体です。
世界の国々、全国、地元に密着した奉仕活動を行っています。『白い杖』はライオンズの奉仕の産物です。
仲間と手を取りあい、奉仕のネットワークを世界へ！

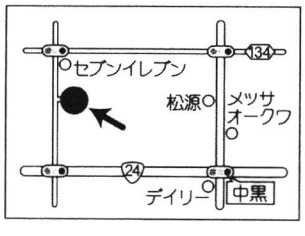
岩出市高瀬 142
TEL　0736-62-2116
FAX　0736-62-9920
Iwade-lion@jupiter.ocn.ne.jp

祝　第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）

行政書士 西山悦雄
建設業許可・県市指名願
各種申請書類代行全般
〒640-8392　和歌山市中之島1371番地
TEL(073)426-3498番
FAX(073)426-0614番

KiHARU
定休日　水曜日
TEL 0736-72-0512

マサキ AUTO グループ



〒649-6246　和歌山県岩出市吉田249-1
カフェ KiHARU　0736－72－0512
スタジオ きはる　0736－72－0502
エステ・ネイル 紀春　0736－61－6736

祝　第７０回国民体育大会（紀の国わかやま国体）

フォーユープランニング有限会社
FOR YOU PLANNING CORPORATION.

保険の事なら何でもご相談下さい！（生命保険、損害保険、各種）
毎月５名様限定、ファイナンシャルプランナーによる無料保険診断実施中！

〒642-0002　海南市日方１１３０番地８
Tel 073-482-3048 Fax 073-483-6633　Email foryou@gaia.eonet.ne.jp

「スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン」

～ 暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆 ～

スポーツ界における暴力行為根絶宣言

【はじめに】

本宣言は、スポーツ界における暴力行為が大きな社会問題となっている今日、スポーツの意義や価値を再確認するとともに、我が国におけるスポーツ界から暴力行為を根絶するという強固な意志を表明するものである。

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化である。それは自発的な運動の楽しみを基調とし、障がいの有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深めることを可能にする。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育むとともに、他者への思いやりや協同精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成する。

殴る、蹴る、突き飛ばすなどの身体的制裁、言葉や態度による人格の否定、脅迫、威圧、いじめや嫌がらせ、さらに、セクシュアルハラスメントなど、これらの暴力行為は、スポーツの価値を否定し、私たちのスポーツそのものを危機にさらす。フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツの価値とそれらを否定する暴力とは、互いに相いれないものである。暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものであり、スポーツのあらゆる場から根絶されなければならない。

しかしながら、極めて残念なことではあるが、我が国のスポーツ界においては、暴力行為が根絶されているとは言い難い現実がある。女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が顕在化し、また、学校における運動部活動の場でも、指導者によって暴力行為を受けた高校生が自ら命を絶つという痛ましい事件が起こった。勝利を追求し過ぎる余り、暴力行為を厳しい指導として正当化するような誤った考えは、自発的かつ主体的な営みであるスポーツとその価値に相反するものである。

今こそ、スポーツ界は、スポーツの本質的な意義や価値に立ち返り、スポーツの品位とスポーツ界への信頼を回復するため、ここに、あらゆる暴力行為の根絶に向けた決意を表明する。

【宣言】

現代社会において、スポーツは「する」、「みる」、「支える」などの観点から、多くの人々に親しまれている。さらに21世紀のスポーツは、一層重要な使命を担っている。それは、人と人との絆を培うスポーツが、人種や思想、信条などの異なる人々が暮らす地域において、公正で豊かな生活の創造に貢献することである。また、身体活動の経験を通して共感の能力を育み、環境や他者への理解を深める機会を提供するスポーツは、環境と共生の時代を生きる現代社会において、私たちのライフスタイルの創造に大きく貢献することができる。さらに、フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツは、何よりも平和と友好に満ちた世界を築くことに強い力を発揮することができる。

しかしながら、我が国のスポーツ界においては、スポーツの価値を著しく冒瀆し、スポーツの使命を破壊する暴力行為が顕在化している現実がある。暴力行為がスポーツを行う者の人権を侵害し、スポーツ愛好者を減少させ、さらにはスポーツの透明性、公正さや公平をむしばむことは自明である。スポーツにおける暴力行為は、人間の尊厳を否定し、指導者とスポーツを行う者、スポーツを行う者相互の信頼関係を根こそぎ崩壊させ、スポーツそのものの存立を否定する、誠に恥ずべき行為である。

私たちの愛するスポーツを守り、これからのスポーツのあるべき姿を構築していくためには、スポーツ界における暴力行為を根絶しなければならない。指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織は、スポーツの価値を守り、21世紀のスポーツの使命を果たすために、暴力行為根絶に対する大きな責務を負っている。このことに鑑み、スポーツ界における暴力行為根絶を以下のように宣言する。

一．指導者

- ○ 指導者は、スポーツが人間にとって貴重な文化であることを認識するとともに、暴力行為がスポーツの価値と相反し、人権の侵害であり、全ての人々の基本的権利であるスポーツを行う機会自体を奪うことを自覚する。
- ○ 指導者は、暴力行為による強制と服従では、優れた競技者や強いチームの育成が図れないことを認識し、暴力行為が指導における必要悪という誤った考えを捨て去る。
- ○ 指導者は、スポーツを行う者のニーズや資質を考慮し、スポーツを行う者自らが考え、判断することのできる能力の育成に努力し、信頼関係の下、常にスポーツを行う者とのコミュニケーションを図ることに努める。
- ○ 指導者は、スポーツを行う者の競技力向上のみならず、全人的な発育・発達を支え、21世紀におけるスポーツの使命を担う、フェアプレーの精神を備えたスポーツパーソンの育成に努める。

二．スポーツを行う者

- ○ スポーツを行う者、とりわけアスリートは、スポーツの価値を自覚し、それを尊重し、表現することによって、人々に喜びや夢、感動を届ける自立的な存在であり、自らがスポーツという世界共通の人類の文化を体現する者であることを自覚する。
- ○ スポーツを行う者は、いかなる暴力行為も行わず、また黙認せず、自己の尊厳を相手の尊重に委ねるフェアプレーの精神でスポーツ活動の場から暴力行為の根絶に努める。

三．スポーツ団体及び組織

○ スポーツ団体及び組織は、スポーツの文化的価値や使命を認識し、スポーツを行う者の権利・利益の保護、さらには、心身の健全育成及び安全の確保に配慮しつつ、スポーツの推進に主体的に取り組む責務がある。そのため、スポーツにおける暴力行為が、スポーツを行う者の権利・利益の侵害であることを自覚する。

○ スポーツ団体及び組織は、運営の透明性を確保し、ガバナンス強化に取り組むことによって暴力行為の根絶に努める。そのため、スポーツ団体や組織における暴力行為の実態把握や原因分析を行い、組織運営の在り方や暴力行為を根絶するためのガイドライン及び教育プログラム等の策定、相談窓口の設置などの体制を整備する。

スポーツは、青少年の教育、人々の心身の健康の保持増進や生きがいの創出、さらには地域の交流の促進など、人々が健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。また、オリンピック・パラリンピックに代表される世界的な競技大会の隆盛は、スポーツを通した国際平和や人々の交流の可能性を示している。さらに、オリンピック憲章では、スポーツを行うことは人権の一つであり、フェアプレーの精神に基づく相互理解を通して、いかなる暴力も認めないことが宣言されている。

しかしながら、我が国では、これまでスポーツ活動の場において、暴力行為が存在していた。時と場合によっては、暴力行為が暗黙裏に容認される傾向が存在していたことも否定できない。これまでのスポーツ指導で、ともすれば厳しい指導の下暴力行為が行われていたという事実を真摯に受け止め、指導者はスポーツを行う者の主体的な活動を後押しする重要性を認識し、提示したトレーニング方法が、どのような目的を持ち、どのような効果をもたらすのかについて十分に説明し、スポーツを行う者が自主的にスポーツに取り組めるよう努めなければならない。

したがって、本宣言を通して、我が国の指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織が一体となって、改めて、暴力行為根絶に向けて取り組む必要がある。

スポーツの未来を担うのは、現代を生きる私たちである。こうした自覚の下にスポーツに携わる者は、スポーツの持つ価値を著しく侵害する暴力行為を根絶し、世界共通の人類の文化であるスポーツの伝道者となることが求められる。

【おわりに】

これまで、我が国のスポーツ界において、暴力行為を根絶しようとする取組が行われなかったわけではない。しかし、それらの取組が十分であったとは言い難い。本宣言は、これまでの強い反省に立ち、我が国のスポーツ界が抱えてきた暴力行為の事実を直視し、強固な意志を持って、いかなる暴力行為とも決別する決意を示すものである。

本宣言は、これまで、あらゆるスポーツ活動の場において、暴力行為からスポーツを行う者を守り、スポーツ界の充実・発展に尽力してきた全てのスポーツ関係者に心より敬意を表するとともに、それらのスポーツ関係者と共に、スポーツを愛し、豊かに育んでいこうとするスポーツへの熱い思いを受け継ぐものである。そして、スポーツを愛する多くの人々とともに、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟は、暴力行為の根絶が、スポーツを愛し、その価値を享受する者が担うべき重要な責務であることを認識し、スポーツ界におけるあらゆる暴力行為の根絶に取り組むことをここに宣言した。

この決意を実現するためには、本宣言をスポーツに関係する諸団体及び組織はもとより、広くスポーツ愛好者に周知するとともに、スポーツ諸団体及び組織は、暴力行為根絶の達成に向けた具体的な計画を早期に策定し、継続的な実行に努めなければならない。

また、今後、国際オリンピック委員会をはじめ世界の関係諸団体及び組織とも連携協力し、グローバルな広がりを展望しつつ、スポーツ界における暴力行為根絶の達成に努めることが求められる。

さらに、こうした努力が継続され、結実されるためには、我が国の政府及び公的諸機関等が、これまでの取組の上に、本宣言の喫緊性、重要性を理解し、スポーツ界における暴力行為根絶に向けて、一層積極的に協力、支援することが望まれる。

最後に、スポーツ活動の場で起きた数々の痛ましい事件を今一度想起するとともに、スポーツ界における暴力行為を許さない強固な意志を示し、あらゆる暴力行為の根絶を通して、スポーツをあまねく人々に共有される文化として発展させていくことをここに誓う。

平成25年4月25日

公益財団法人日本体育協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本障害者スポーツ協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟
公益財団法人日本中学校体育連盟

宣言しよう、フェアプレイ。

宣言しよう。
全力をつくし、挑戦し、
楽しむことを。

宣言しよう。
仲間を信じ、思いやることを。

宣言しよう。
約束を守り、応援してくれる人への
感謝を忘れないことを。

その誓いは、スポーツを
もっと楽しいものにしてくれる。
日々の生活を
もっとすがすがしいものにしてくれる。

そして多くの人々を活気づけ、
今の日本を元気にするチカラにも
なってくれる。

さあ、あなたも手を胸に。
フェアプレイの誓いを。

公益財団法人
日本体育協会



国体パートナー
わたしたちは、2015紀の国わかやま国体を応援しています。

asics　大塚製薬　Mizuno　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP　LAWSON　SUNTORY



“PLAY TRUE”とは、チームワーク、楽しみ、喜び、フェアプレーなど
スポーツの様々な価値をつなぎ合わせ、尊重する精神。
PLAY TRUE精神のもとに、アンチ・ドーピング活動が推進されています。

2015紀の国わかやま国体
2015紀の国わかやま大会 は、PLAY TRUE を推進します

アンチ・ドーピングとは、競技力を高めるために、禁止された物質や方法を使用せず、
公正で公平なスポーツに参加するアスリートの権利を守り、スポーツの価値を護り、育む活動です。
アスリートだけでなく全ての人が関わり、推進していく活動です。

JADA Japan Anti-Doping Agency　アンチ・ドーピングに関する大切なお知らせ
JADA

global DRO　使用可能薬の検索 アスリート自身で確認！
Global DRO

SPORTS PHARMACIST　薬の正しい使い方を薬の専門家に相談！
スポーツファーマシスト

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 国立スポーツ科学センター内

文部科学省委託事業



MEMO



東日本大震災復興支援

2015 紀の国わかやま国体

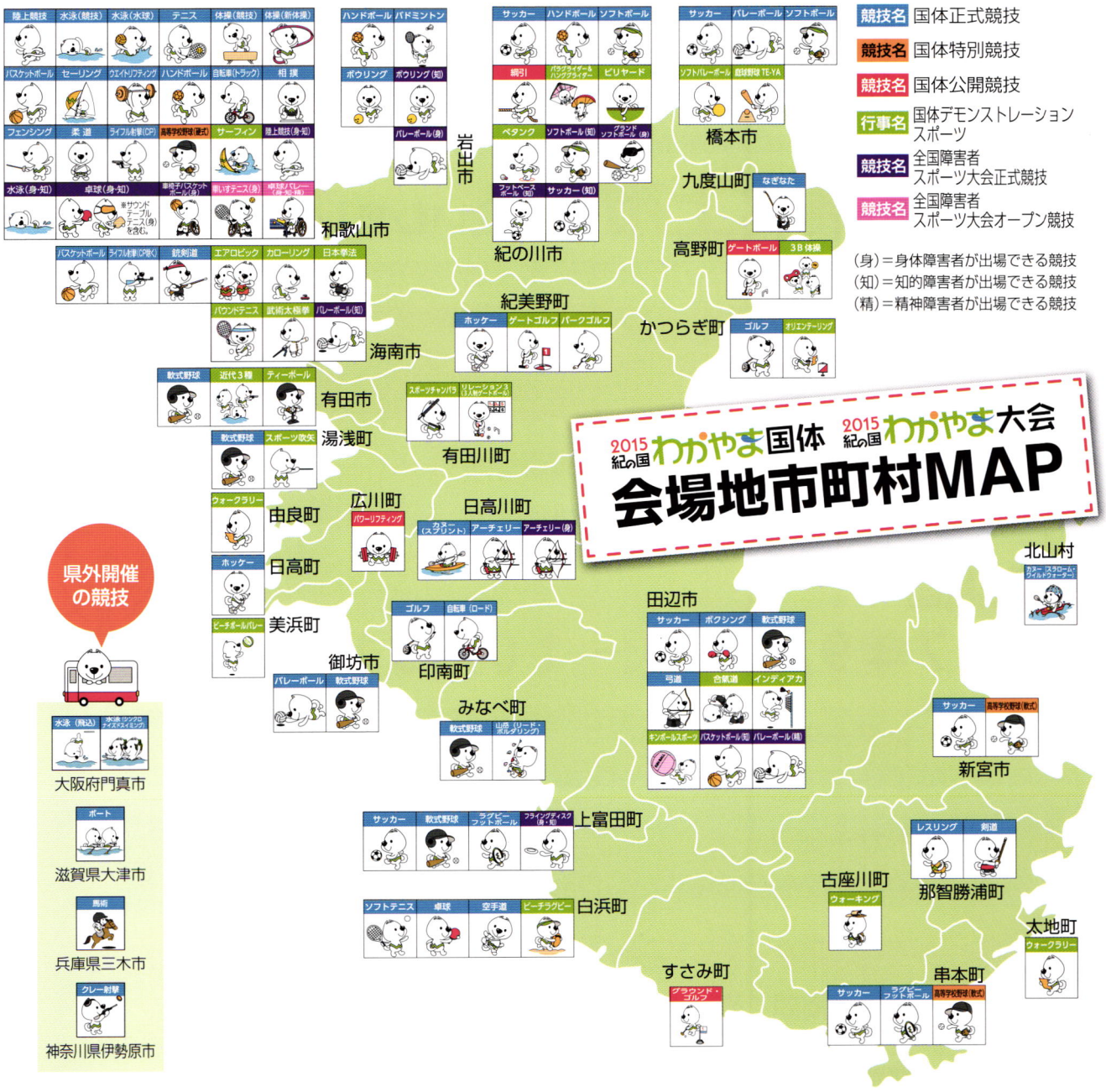
第70回国民体育大会　平成27年 9月26日(土) ▶ 10月6日(火)

2015 紀の国わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会　平成27年 10月24日(土) ▶ 10月26日(月)

躍動と歓喜、そして絆

会場地市町村別競技一覧





2015 紀の国わかやま国体

第70回国民体育大会　躍動と歓喜、そして絆



来年は **岩手県北上市** でお会いしましょう！

競技記録結果



第70回国民体育大会の正式競技、
特別競技の競技記録結果を掲載しています。

掲載期間
平成２７年９月１日㈫～１０月３１日㈯

▶インターネット
http://www.kirokukensaku.com/kokutai

▶携帯サービス
http://www.keitai.kyogikekka.com/kokutai

『紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会コールセンター』

●設置期間：平成 27 年 10 月 31 日㈯まで
●電話番号：073－403－2277（紀の国わかやま国体）
　　：073－403－2288（紀の国わかやま大会）
●運営時間：９時～１８時